

令和7年度松江市男女共同参画に関する  
市民意識調査報告書（案）

松江市

## 目 次

第1章 調査概要.....	1
第2章 総括分析.....	3
第3章 調査結果.....	8
■回答者の属性.....	8
■男女の地位の平等感について.....	11
■性別役割分担意識について.....	39
■女性の社会参画について.....	56
■女性と仕事について.....	63
■仕事、家庭生活、地域・個人の生活について.....	71
■ドメスティック・バイオレンス(DV)、セクシュアル・ハラスメントについて...	85
■男女共同参画に関する用語等について.....	102
■男女共同参画に関する行政への要望について.....	109

# 第1章 調査概要

## 1 目的

松江市では、市民一人ひとりが性別にかかわらず、互いの人権を尊重し合い、個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現をめざし、平成13年に「松江市男女共同参画計画」を定めた。男女共同参画に関する具体的な取り組みを適時推し進めるため、平成28年には第2次計画を策定し、以降おおむね5年を目途に新たな計画を策定してきた。令和8年度には「第4次松江市男女共同参画計画」を策定する予定としており、男女共同参画に関する市民意識の現状を把握し、計画の方向性、目標値を定めるにあたっての基礎資料とするために本調査を実施する。

## 2 調査対象

松江市内に在住する満18歳以上の市民から層化二段無作為抽出により2,000人を抽出

## 3 調査期間

令和7年7月25日(金)～令和7年8月31日(日)

## 4 調査の方法

配布：郵送

回収：郵送又はインターネット回答

## 5 回収結果

回収数：724件（総回収率36.2%）

## 6 報告書の見方

- (1) nは回答者数を表す。
- (2) 回答は少数点第2位を四捨五入したため、構成比の合計が100%にはならない場合がある。また、選択肢の合計構成比を示している設問では、四捨五入前の値を足しているため、グラフ内の構成比の合計と異なる場合がある。
- (3) 「全体」には無回答等を含むため性別・年代別の合計とは一致しない場合がある。

(4) 本報告書で引用する他の調査結果は下表のとおり。

引用する調査	本報告書における表記
平成27年度に松江市が実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」	H27松江市調査
令和2年度に松江市が実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」	R2松江市調査
令和6年度に内閣府で実施された「男女共同参画社会に関する世論調査」	R6内閣府調査
令和7年度に島根県で実施された「男女共同参画に関する県民の意識・実態調査」	R7島根県調査

## 第2章 総括分析

### 【男女の地位の平等感について】（問1、問1-2） P11 - P38

#### 〈問1〉 P11~

- ・ 男女の地位の平等感について、「平等」と回答した割合が最も高い分野は「(3) 学校教育の場で」（男女計 65.3%）で、以下「(1)家庭生活で」（計 43.9%）、「(8) 自治会やPTAなどの地域活動の場で」（計 41.2%）の順となっている。一方、「平等」と回答した割合が低い分野は、「(6)社会通念・慣習・しきたりなどで」（計 12.8%）、「(4)政治の場で」（計 18.0%）となっている。
- ・ 回答項目の8つの分野すべてで「男性のほうが優遇されている」と回答した割合が高く、特に男女でこの差が大きい分野は、「(5)法律や制度上で」（女性計 53.9%、男性計 35.3%、18.6ポイント差）、「(1)家庭生活で」（女性計 54.5%、男性計 38.8%、15.7ポイント差）、「(8)自治会やPTAなどの地域活動で」（女性計 53.4%、男性計 40.3%、13.1ポイント差）である。
- ・ R2 松江市調査と今回調査を比較し、「平等」と回答した割合が低くなり、「男性のほうが優遇されている」と回答した割合が高くなった分野は、「(5)法律や制度上で」（4.0ポイント減）、「(6)社会通念・慣習・しきたりなどで」（3.7ポイント減）であった。

#### 〈問1-2〉 P35~

- ・ 社会全体で男女の地位は平等になっていると思うかたずねたところ、「男性のほうが優遇されている」が計 74.0%と7割以上が男性の優遇を感じている。過去の松江市調査と比較すると、H27 松江市調査（計 79.7%）より 5.7ポイント、R2 松江市調査（計 75.2%）より 1.2ポイント減少している。

### 【性別役割分担意識について】（問2） P39 - P55

- ・ 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてたずねたところ、否定的な意見は計 75.0%で、R2 松江市調査 74.7%から 0.3ポイント高くなった。性・年代別で見ると、70歳代以下では否定的な意見が約7割以上を占めているが、80歳以上は女性 46.2%、男性 57.1%と大きく下がり、年代によって意識に差が生じている。
- ・ 「男性も育児休業や介護休業を取得すべきだ」という考え方についてたずねたところ、肯定的な意見が計 87.4%となった。R2 松江市調査 82.8%と比較すると 4.6ポイント増加しており、育児・介護に対する男女共同参画意識の浸透がうかがえる。

## 【女性の社会参画について】（問3、問3-2） P56 - P62

### 〈問3〉 P56~

- ・市の政策について女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思うかたずねたところ、「反映されている」と回答した割合は計59.4%と約6割が女性の意見が市政に反映されていると感じている。「反映されていない」と回答した割合は計30.5%と約3割が女性の意見が市政に反映されていないと感じている。特に50歳代の女性が反映されていないと感じている。

### 〈問3-2〉 P60~

- ・「反映されていない」と思う理由で回答割合が高かったのは、「政策・方針決定の場に女性が少ない」（36.2%）、「女性の意見や考え方に対して市議会や行政機関側の関心が薄い」（25.8%）であった。

## 【女性と仕事について】（問4、問5、問5-2） P63 - P70

### 〈問4〉 P63~

- ・過去の松江市調査と比較してみると、「こどもができてもずっと仕事を続けるほうがよい（就労継続型）」の回答割合は44.9%（H27）→51.2%（R2）→55.5%（R7）と調査実施ごとに高くなっている。一方、「こどもができたなら仕事を辞め、大きくなったら再び仕事に就くほうがよい（中断・再就労型）」の回答割合は33.7%→25.5%→16.9%と調査実施ごとに低くなっており、「就労継続型」と「中断・再就労型」の回答割合の差は広がり続けている。それ以外の「こどもができるまでは、仕事を続けたほうがよい（出産退職型）」（5.9%→4.7%→5.7%）、「結婚するまでは、仕事を続けたほうがよい（結婚退職型）」（1.6%→1.7%→1.7%）、「女性は仕事に就かないほうがよい（不就労型）」（0.1%→0.2%→0.6%）の回答割合はいずれも低水準で推移している。

### 〈問5〉 P65~

- ・女性が働き続けていく状況について、「働き続けにくい」（「どちらかと言えば働き続けにくい」、「働き続けにくい」の計）と回答した割合は計56.6%と5割以上が働き続けにくいと感じている。

### 〈問5-2〉 P68~

- ・働き続けにくいと回答した理由についてたずねたところ、回答割合が高かったものは「育児施設が十分でない」（58.8%）、「不安定な雇用形態が多い」（53.2%）、「長時間労働や残業がある」（43.2%）であった。

## 【仕事、家庭生活、地域・個人の生活について】

(問6、問6(2)、問7、問8、問9) P71 - P84

### 〈問6、問6(2)〉 P71~

- ・生活の中での優先度について、希望としては女性、男性ともに「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と回答した割合(女性33.6%、男性31.3%)が最も高いが、現実では女性は「家庭生活」を優先している」と回答した割合(36.1%)が最も高く、男性は「仕事」を優先している」と回答した割合(21.6%)が最も高くなっており、希望と現実との間に乖離がある。また、希望としては「仕事」を優先したい」と回答した割合は、性別にかかわらず低く(女性1.5%、男性3.4%)なっているものの、現実には「仕事」を優先している」と回答した割合は女性、男性ともに2割前後(女性17.6%、男性21.6%)となっており、こちらも希望と現実との間に乖離がある。

### 〈問7〉 P78~

- ・配偶者(パートナー)との家庭の中での仕事の役割分担についてたずねたところ、主に家事・育児に関する(1)~(6)の6項目全てにおいて、「女性がすることが多い」と回答した割合が最も高くなっており、以下「食事のしたく」(74.7%)、「食事のかたづけ」(61.6%)、「掃除」(61.2%)、「日常の買い物」(55.8%)。「小さいこどもの世話」(33.8%)、「介護の必要な高齢者・病人の世話」(22.1%)となっている。一方、「男性がすることが多い」と回答した割合が高い項目は、「ゴミだし」(42.3%)、「地域活動への参加」(41.8%)、「家庭における重大な事柄の決定」(39.1%)となっている。
- ・家事・育児に関する(1)~(6)の項目に対する女性の回答をR2松江市調査と比較すると、「自分がすることが多い」と回答した割合について、「食事のしたく」(85.7%(R2)→74.3%(R7)、11.4ポイント減)、「食事のかたづけ」(78.2%→69.7%、8.5ポイント減)、「掃除」(73.5%→66.5%、7.0ポイント減)、「日常の買い物」(73.5%→59.5%、14.0ポイント減)、「小さいこどもの世話」(43.3%→36.6%、6.7ポイント減)、「介護の必要な高齢者・病人の世話」(30.8%→26.1%、4.7ポイント減)と6項目全てで減少している。

### 〈問8〉 P81~

- ・男性の家事・育児・介護の時間が短い理由についてたずねたところ、女性、男性ともに「男性が長時間労働や休暇が取りづらい働き方をしているから」(女性56.3%、男性48.6%)の回答割合が最も高く、次いで「男性側に家事・育児・介護は女性がするものという意識があるから」(女性50.4%、男性32.4%)、「男は仕事、女は家庭」という社会的風潮があるから」(女性38.0%、男性30.3%)の順となっている。

## 〈問 9〉 P84

- ・男性の家事・育児・介護参画を進めるために行政が取り組むべきことについて、回答割合が最も高かった項目は、女性、男性ともに「勤務先の働き方改革の推進」（女性 65.6%、男性 59.1%）であった。他には「育児休業の義務化など制度の整備」（女性 44.3%、男性 46.3%）、「男性の家事・育児・介護のスキルアップ支援」（女性 45.0%、男性 34.7%）が高くなっている。

## 【ドメスティック・バイオレンス（DV）、セクシュアル・ハラスメントについて】

（問 10、問 11、問 12、問 13） P85 - P101

### 〈問 10〉 P85~

- ・ドメスティック・バイオレンス（以下 DV と標記）による被害を経験したり見聞きしたりしたことがあるかをたずねたところ、「直接経験したことがある」と回答した割合は 7.9% で R2 松江市調査（6.7%）より高くなっている。これに「直接経験したことはないが自分のまわりに経験した（している）人がいる」（15.7%）を加えた「自分や身近な人が経験した（している）」の割合は 23.6% で、R2 松江市調査（19.3%）よりも高くなっている。
- ・DV 被害を「直接経験したことがある」と回答した割合は、R2 松江市調査と同様、女性（28.2%）のほうが男性（18.1%）よりも高くなっている。性別で R2 松江市調査と比較すると、女性は 6.0 ポイント、男性は 1.9 ポイント高くなった。
- ・DV の認知度（「自分や身近な人が経験した（している）」、「一般的な知識として知っている」、「言葉は聞いたことがある」の計）は女性 92.1%、男性 88.4% となり、女性は向上したのに対して男性は低下した（女性 90.1%（R2）、2.0 ポイント増、男性 90.9%（R2）、2.5 ポイント減）。

### 〈問 10、問 11〉 P85~P89

- ・DV の認知度 90.1% に対して、デート DV の認知度は 75.0% と認知度に差がある。また、いずれの言葉も女性（DV 認知度 92.1%、デート DV 認知度 78.1%）のほうが男性（DV 認知度 78.1%、デート DV 認知度 72.5%）よりも認知度が高くなっている。

### 〈問 11〉 P88~

- ・デート DV 被害を「直接経験したことがある」と回答した割合は、女性（5.3%）のほうが男性（3.1%）よりも高く、男女差は 2.2 ポイントとなった。これに「直接経験したことはないが自分のまわりに経験した（している）人がいる」を加えた「自分や身近な人が経験した（している）」の割合は女性 14.5%、男性 8.1% となった。
- ・デート DV の認知度（「自分や身近な人が経験した（している）」、「一般的な知識として知

っている」、「言葉は聞いたことがある」の計)は女性 78.1%、男性 72.5%となった。

#### 〈問 1 2〉 P90~

- ・DVに関する相談窓口では「警察」(43.6%)が最も高く、次いで「島根女性相談センター」(25.0%)となっている。

#### 〈問 1 3〉 P96~

- ・セクシュアル・ハラスメント(以下セクハラと標記)による被害を経験したり見聞きしたりしたことがあるかをたずねたところ、「直接経験したことがある」と回答した割合は11.2%で、R2 松江市調査(8.5%)より高くなっている。これに「直接経験したことはないが自分のまわりに経験した(している)人がいる」(13.5%)を加えた「自分や身近な人が経験した(している)」の割合は24.7%で、R2 松江市調査(22.3%)よりも増加している。
- ・セクハラ被害を「直接経験したことがある」と回答した割合は、R2 松江市調査と同様、女性(16.8%)のほうが男性(3.2%)よりも高かった。性別でR2 松江市調査と比較すると、女性は3.9ポイント、男性は1.5ポイント増加した。

#### 【男女共同参画に関する用語等について】(問 1 4) P102 - P108

- ・「男女共同参画」について「認知している(認知度がある)」「内容をよく知っている」、「内容について少しは知っている」、「聞いたことはある」の計)と回答した方の割合は84.9%と第3次松江市男女共同参画計画の数値目標(90%)に未達である。
- ・「DV防止法」について「認知している(認知度がある)」と回答した割合は79.6%と7割以上が認知しているが、「知っている」(「内容をよく知っている」、「内容について少しは知っている」の計)と回答した方の割合は41.3%と第3次松江市男女共同参画計画の数値目標(70%)に未達である。

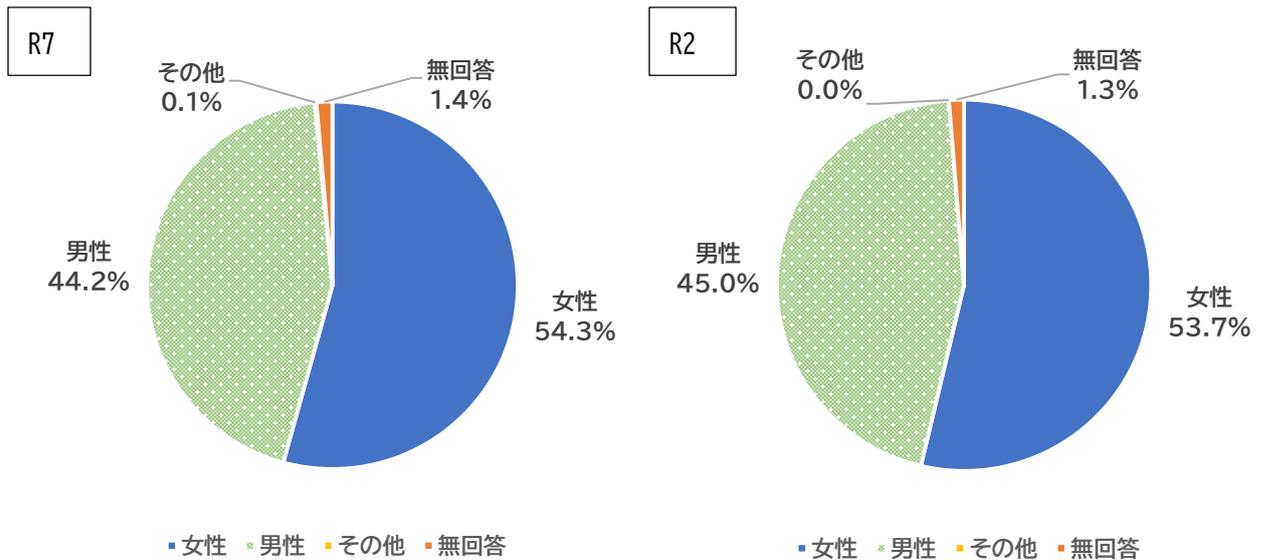
#### 【男女共同参画に関する行政への要望】(問 1 5) P109 - P111

- ・男女共同参画に関する行政への要望をたずねたところ、「介護サービスの充実」が58.0%と最も高く、以下「育児休業制度の充実・労働環境の整備」が54.7%、「子育てに関する施設やサービスの充実」53.5%、「子育てで仕事を退職した人の再就職支援」50.8%の順に高くなっている。回答割合が高かった上位6項目は、いずれも育児・介護に関するものである。

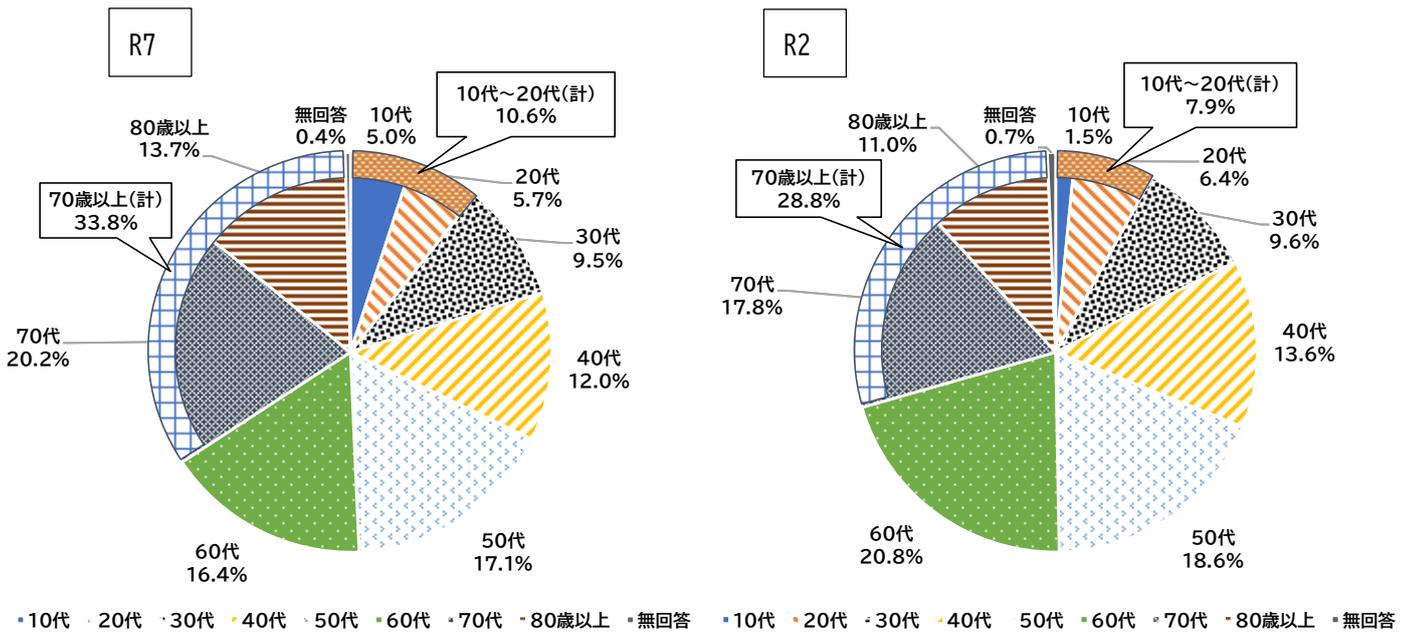
# 第3章 調査結果

## ■回答者の属性

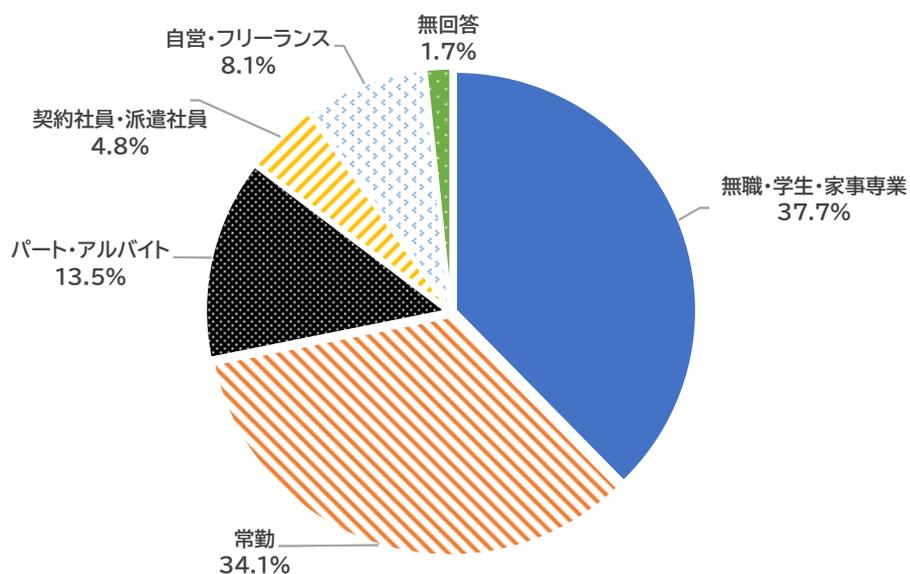
### 【性別】



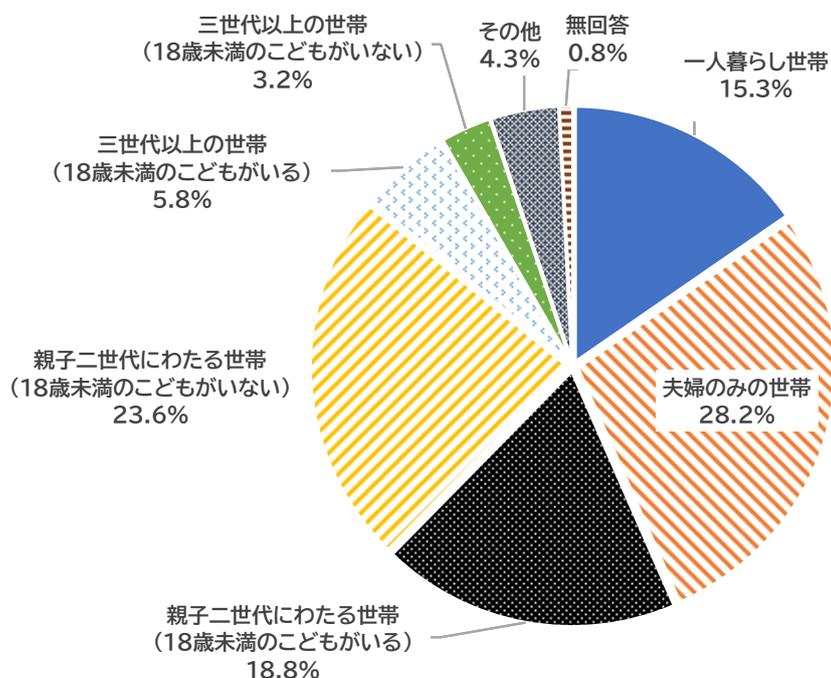
### 【年齢別】



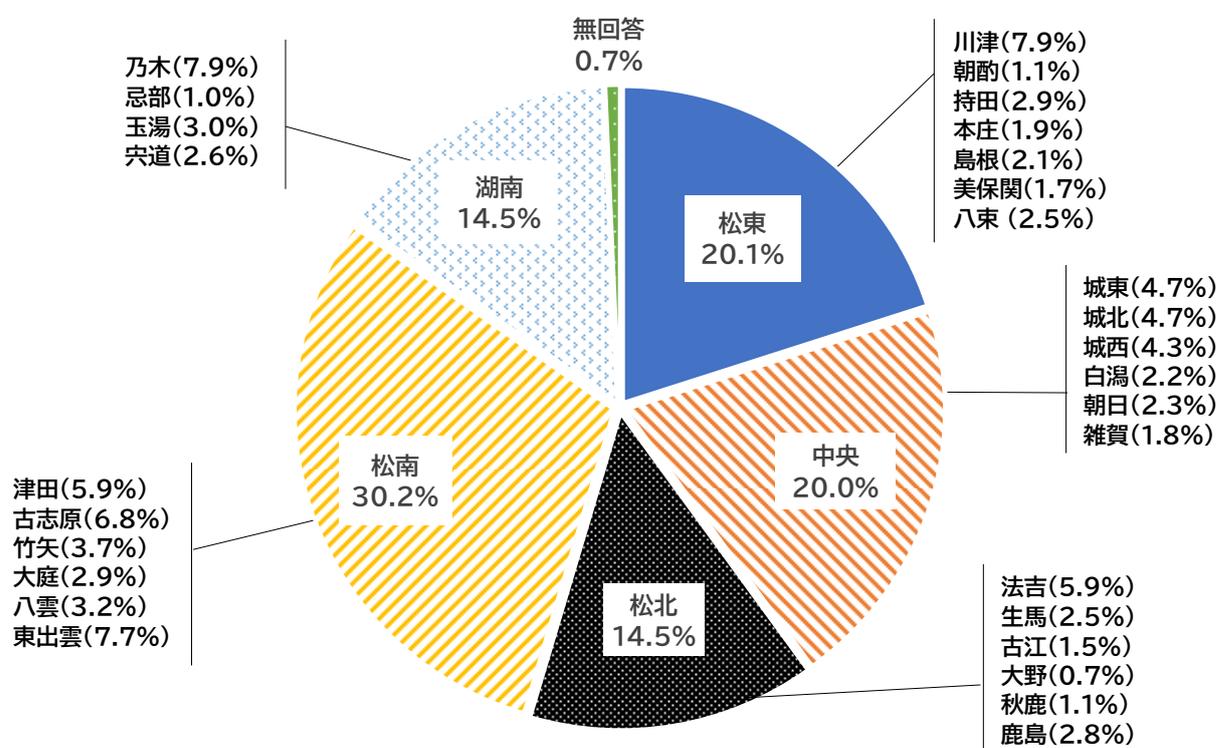
【職業別】（勤務者の内訳までグラフ化したものを採用）



【世帯状況別】



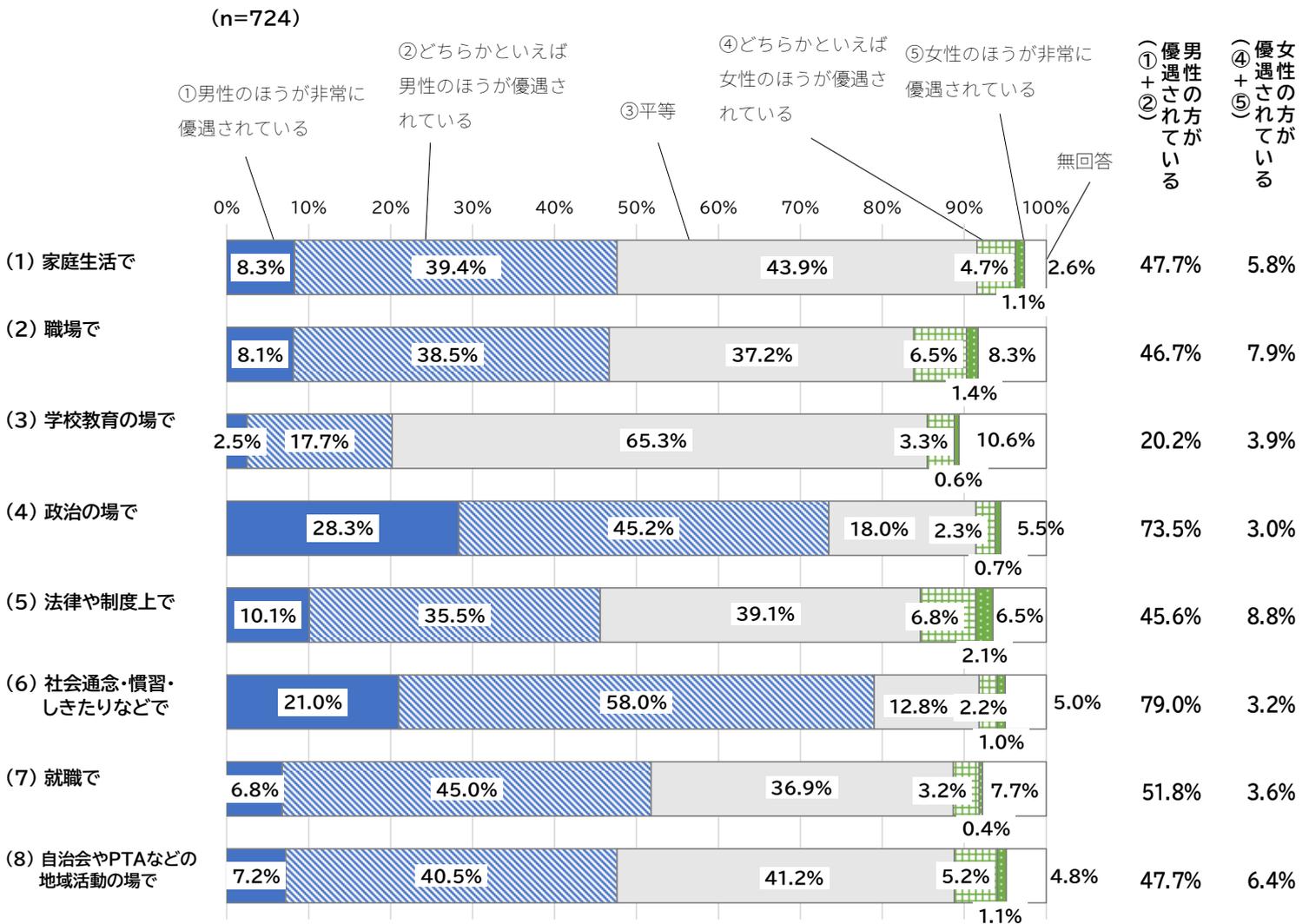
【地区別】



■男女の地位の平等感について

問1 次のような分野では、男女の地位は平等になっていると思いますか

・男女の地位の平等感について、「平等」と回答した割合が最も高い分野は「(3)学校教育の場で」(計65.3%)で、以下「(1)家庭生活上で」(計43.9%)、「(8)自治会やPTAなどの地域活動の場で」(計41.2%)の順となっている。  
 ・「男性のほうが優遇されている」(「非常に優遇されている」、「どちらかといえば優遇されている」の計)と回答した割合が高い分野は、「(6)社会通念・慣習・しきたりなどで」(計79.0%)、「(4)政治の場で」(計73.5%)、「(7)就職で」(計51.8%)となっている。



(1) 家庭生活で

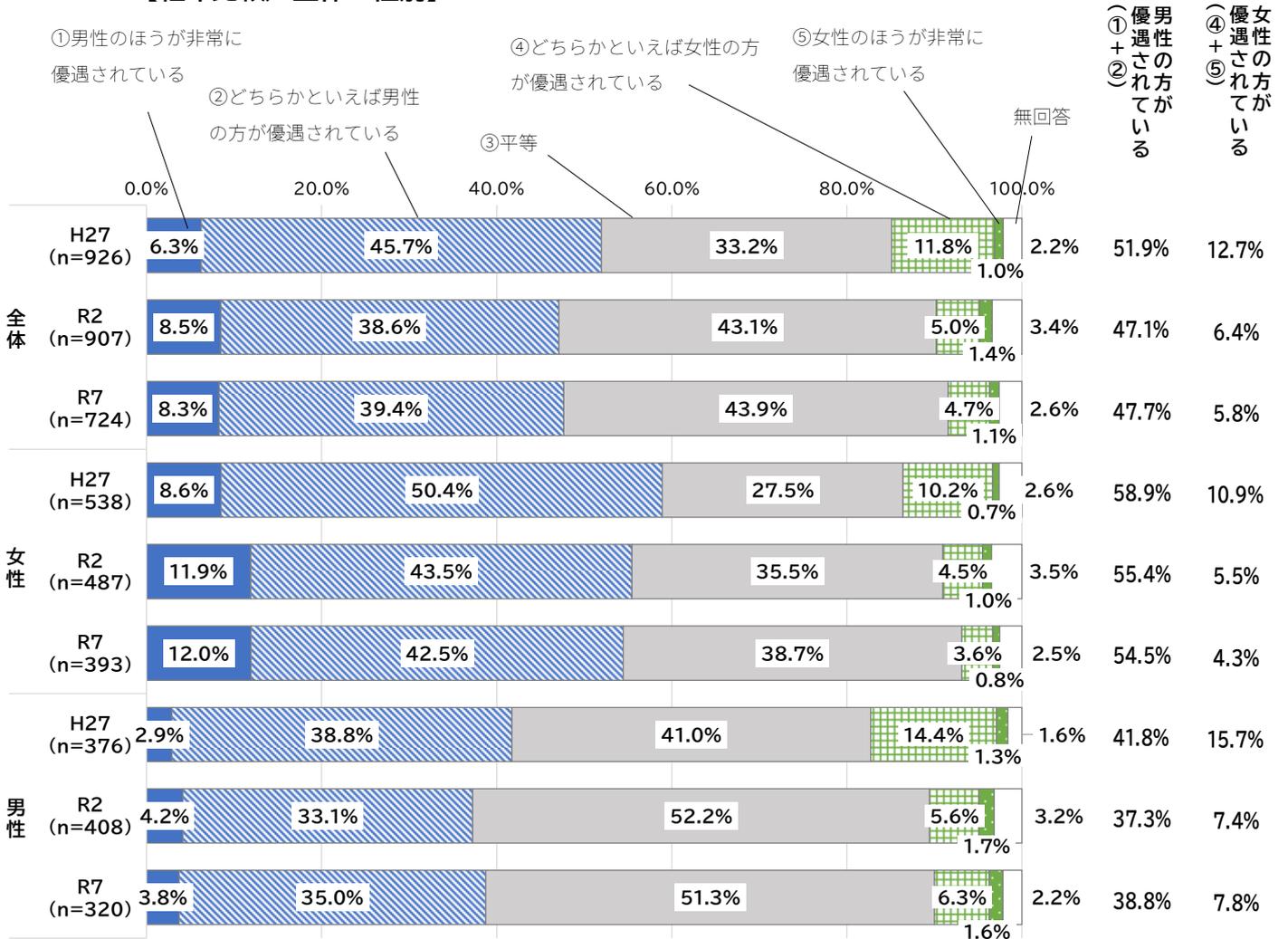
●「平等」と回答した方 (43.9%) について

- ・性別で比較すると、女性 (38.7%) に対して男性 (51.3%) と女性のほうが 12.6 ポイント低い。H27 松江市調査 (女性 27.5%、男性 41.0%)、R2 松江市調査 (女性 35.5%、男性 52.2%) においても、女性のほうが男性より低い。
- ・性別・年代別で比較すると、男女ともに 20 歳代で「平等」と回答した割合が高くなっている。(女性 71.4%、男性 84.6%)
- ・年代別の男女差については、50 歳代の意識の差 (30.9 ポイント) が最も大きくなっている。(女性 26.8%、男性 57.7%)

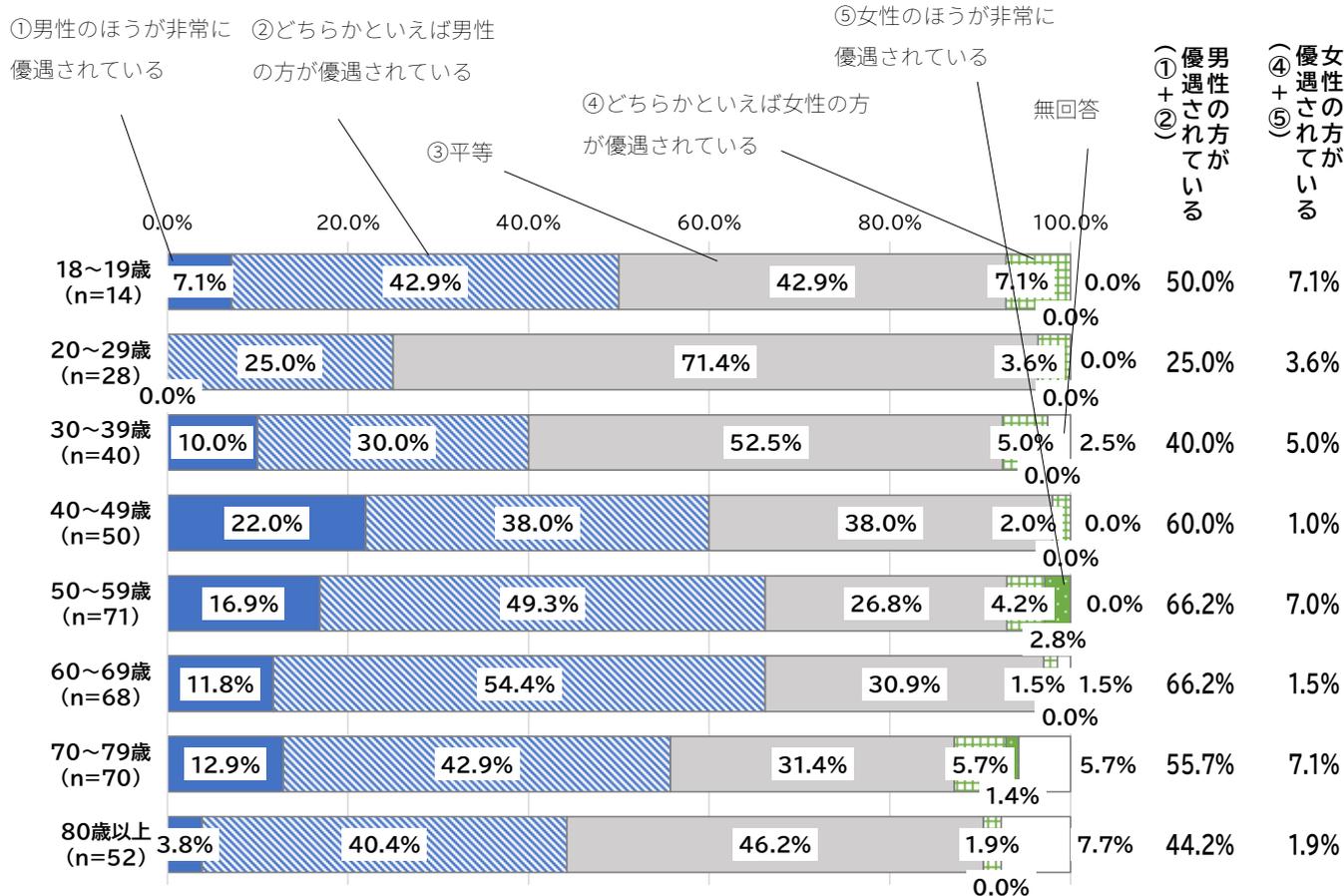
●「男性のほうが優遇されている」と回答した方 (計 47.7%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 54.5%) に対して男性 (計 38.8%) と女性のほうが 15.7 ポイント高い。
- ・R2 松江市調査と比較すると、女性の回答割合は 0.9 ポイント低下した (55.4%→54.5%) のに対して、男性の回答割合は 1.5 ポイント高く (37.3%→38.8%) なっている。
- ・性別・年代別でみると、女性は 50 歳代、60 歳代で 66.2% と最も高く、次いで 40 歳代で 60.0% となっている。

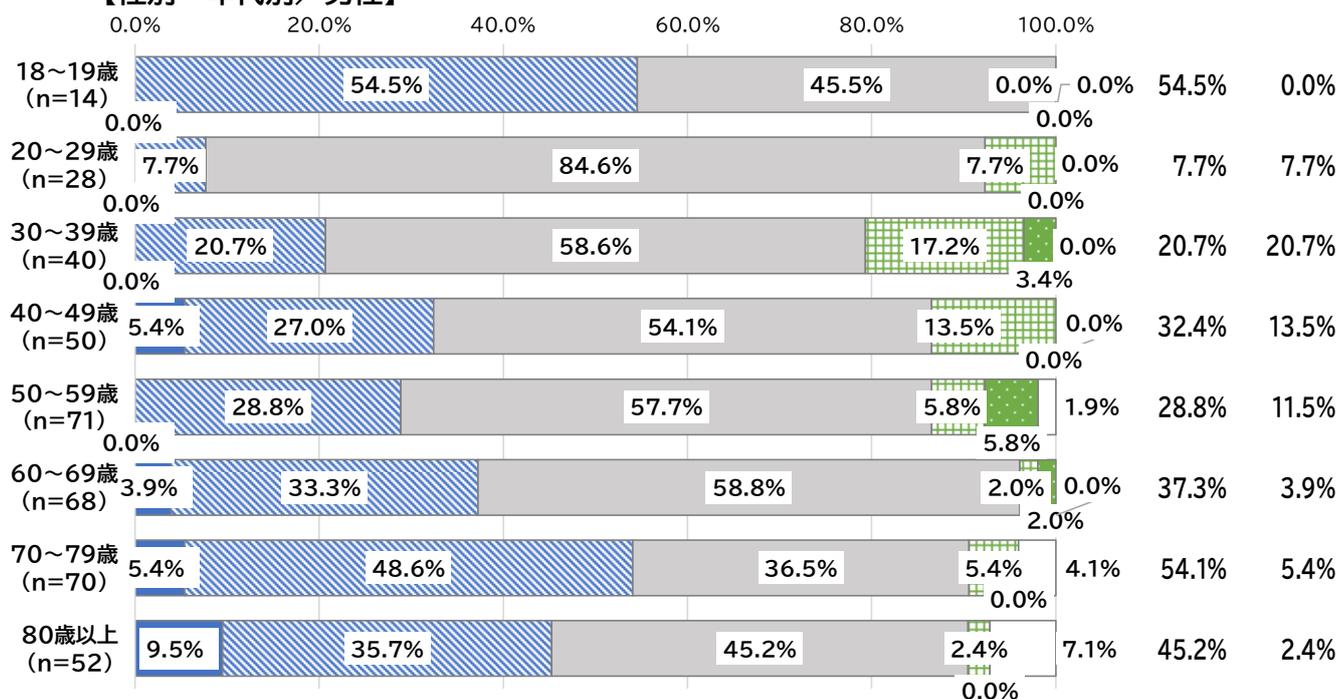
【経年比較／全体・性別】



### 【性別・年代別／女性】



### 【性別・年代別／男性】



## (2) 職場で

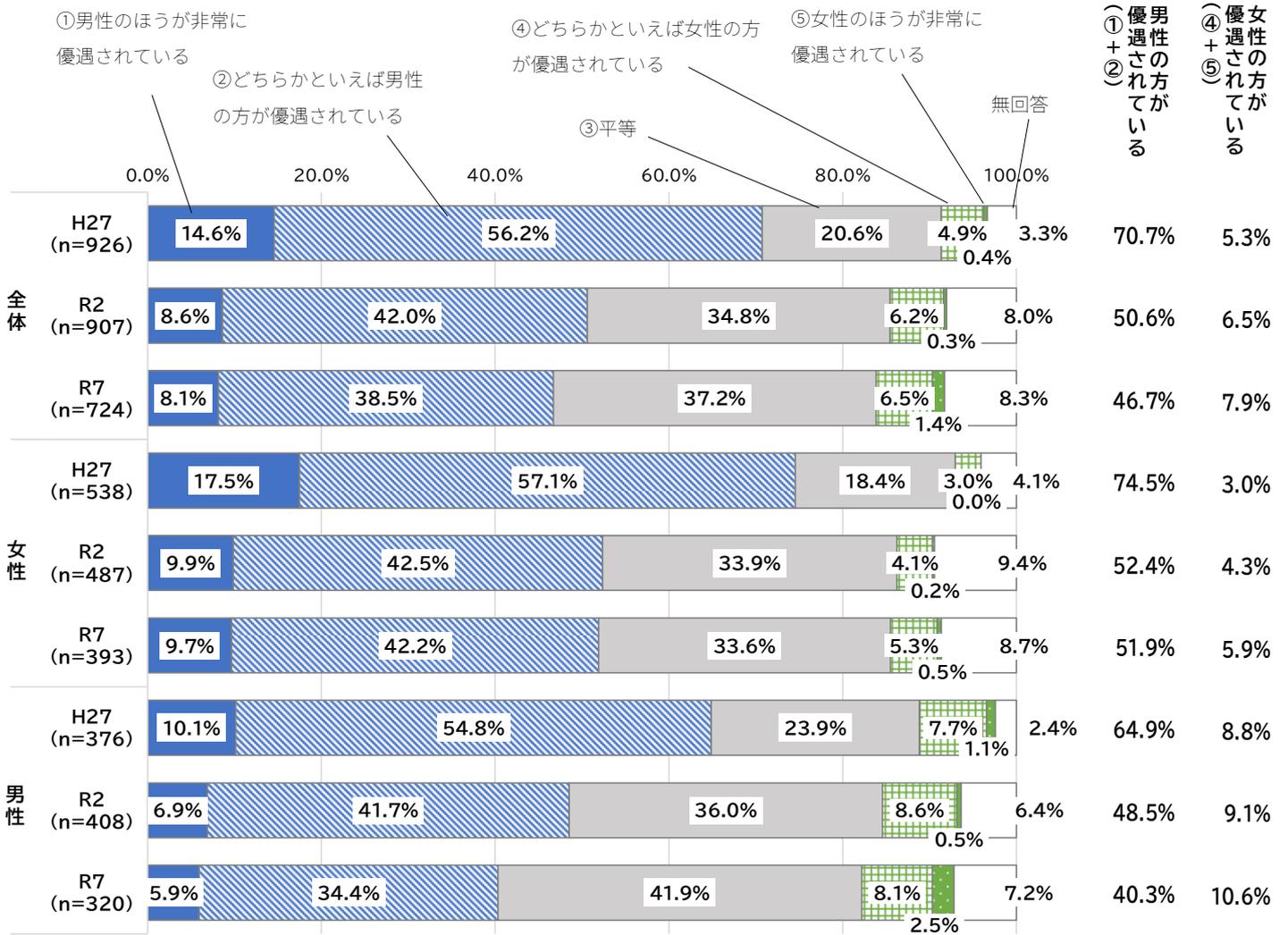
### ●「平等」と回答した方 (37.2%) について

- ・性別で比較すると、女性 (33.6%) に対して男性 (41.9%) と女性のほうが 8.3 ポイント低い。
- ・R2 松江市調査 (女性 33.9%、男性 36.0%) と比較すると、女性は 0.3 ポイント減少したのに対し、男性は 5.9 ポイント増加しており、男女で意識の差がある。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 10 歳代 (50.0%) で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで 30 歳代 (45.0%) となっており、男性は 20 歳代 (61.5%) で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで 40 歳代 (56.8%) となっている。
- ・「平等」と回答した割合が低いのは、女性は 80 歳以上 (21.2%)、男性は 30 歳代 (31.0%) である。
- ・年代別の男女差については、20 歳代の意識の差 (29.4 ポイント) が最も大きくなっている。(女性 32.1%、男性 61.5%)

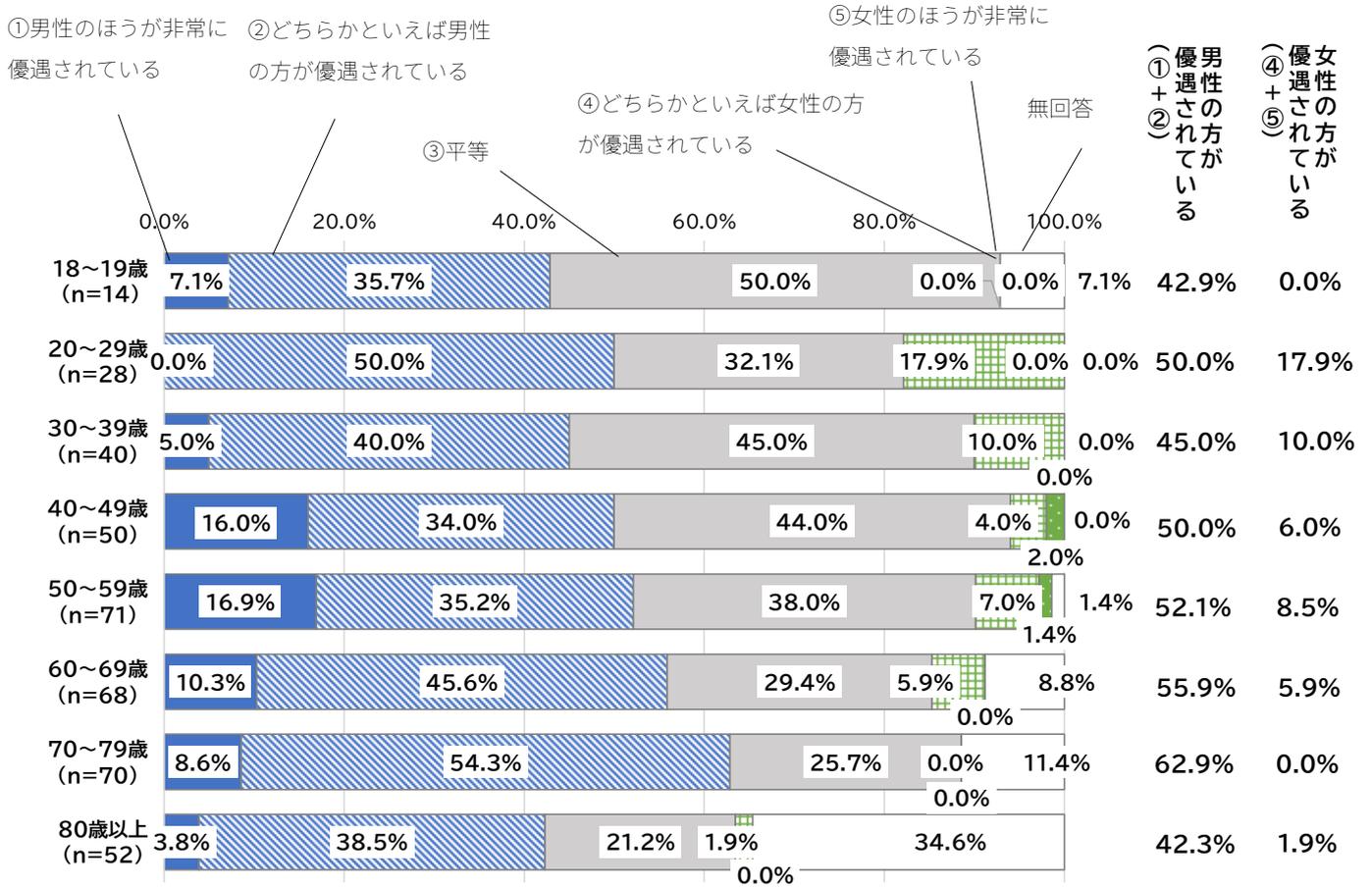
### ●「男性の方が優遇されている」と回答した方 (計 46.7%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 51.9%) に対して男性 (計 40.3%) と女性のほうが 11.6 ポイント高い。
- ・H27 松江市調査 (計 70.7%) より 24.0 ポイント、R2 松江市調査 (計 50.6%) より 3.9 ポイント減少している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 70 歳代 (計 62.9%) で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで 60 歳代 (計 55.9%) となっている。男性は 10 歳代 (計 54.5%) で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで 70 歳代 (計 51.4%) となっている。
- ・「男性の方が優遇されている」と回答した割合が低いのは、女性 80 歳以上 (計 42.3%)、男性 20 歳代 (計 23.1%) である。
- ・年代別の男女差については、20 歳代の意識の差 (26.9 ポイント) が最も大きくなっている。(女性計 50.0%、男性計 23.1%)

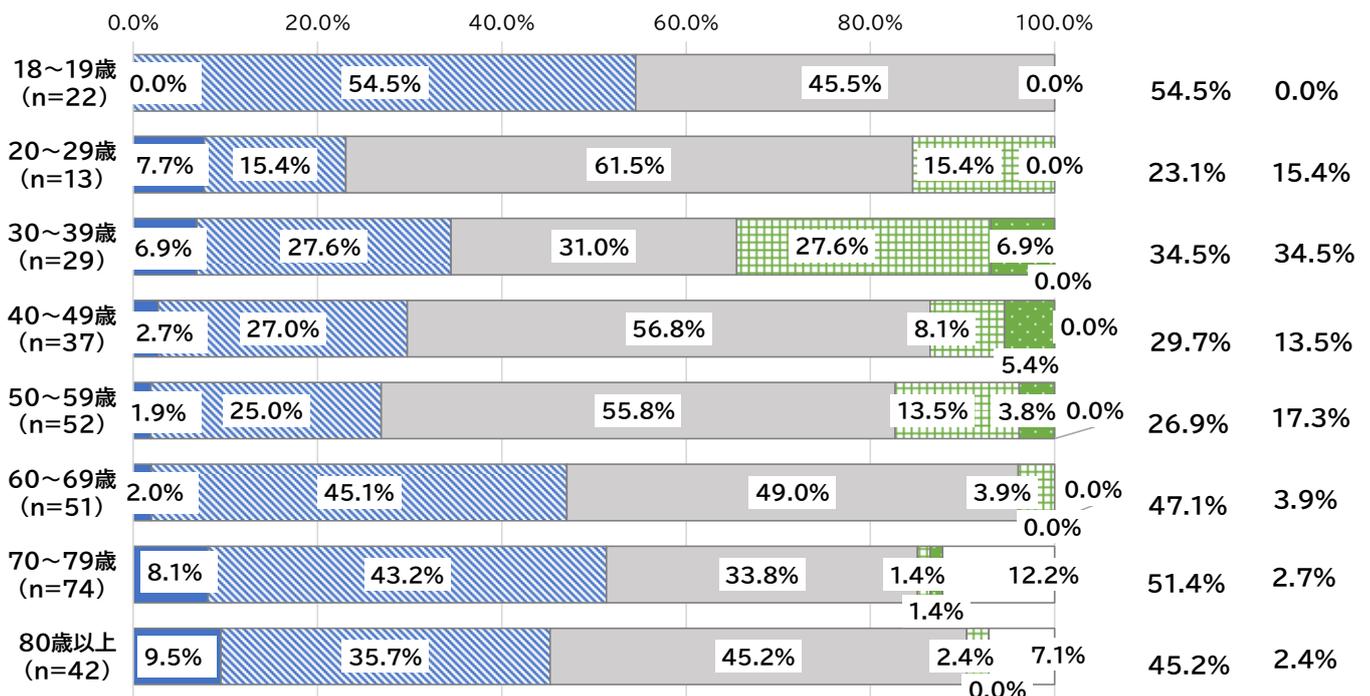
### 【経年比較／全体・性別】



### 【性別・年代別／女性】



### 【性別・年代別／男性】



### (3) 学校教育の場で

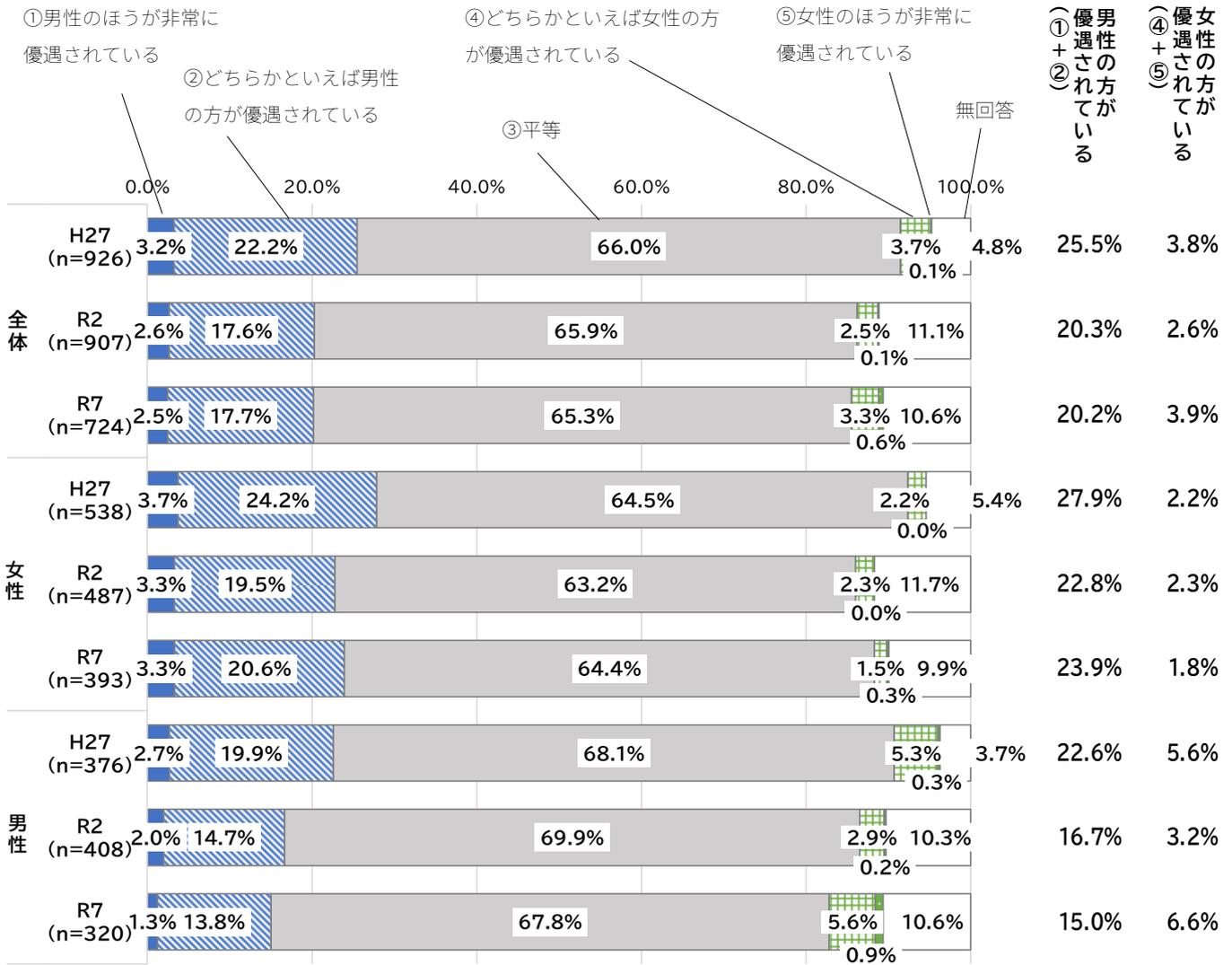
#### ●「平等」と回答した方(65.3%)について

- ・男女ともに「平等」とした回答が最も多く、女性 64.4%、男性 67.8%といずれも 6 割を超えている。女性のほうが 3.4 ポイント低い。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 30 歳代(82.5%)で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで 10 歳代(78.6%)となっており、男性は 50 歳代(82.7%)で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで 10 歳代(81.8%)となっている。
- ・「平等」と回答した割合が低いのは、男女ともに 80 歳以上(男女とも 50.0%)である。
- ・年代別の男女差については、50 歳代の意識の差(17.9 ポイント)が最も大きくなっている。(女性 64.8%、男性 82.7%)

#### ●「男性の方が優遇されている」と回答した方(計 20.2%)について

- ・性別で比較すると、女性(計 23.9%)に対して男性(計 15.0%)と女性のほうが 8.9 ポイント高い。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 60 歳代(計 32.4%)で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで 50 歳代(計 29.6%)となっている。男性は 70 歳代(計 18.9%)で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで 60 歳代(計 17.6%)となっている。
- ・「男性の方が優遇されている」と回答した割合が低いのは、女性は 30 歳代(計 12.5%)、男性は 20 歳代、50 歳代(ともに計 7.7%)である。
- ・年代別の男女差については、50 歳代の意識の差(21.9 ポイント)が最も大きくなっている。(女性計 29.6%、男性計 7.7%)

### 【経年比較／全体・性別】



### 【性別・年代別／女性】

①男性のほうが非常に  
優遇されている

②どちらかといえば男性  
の方が優遇されている

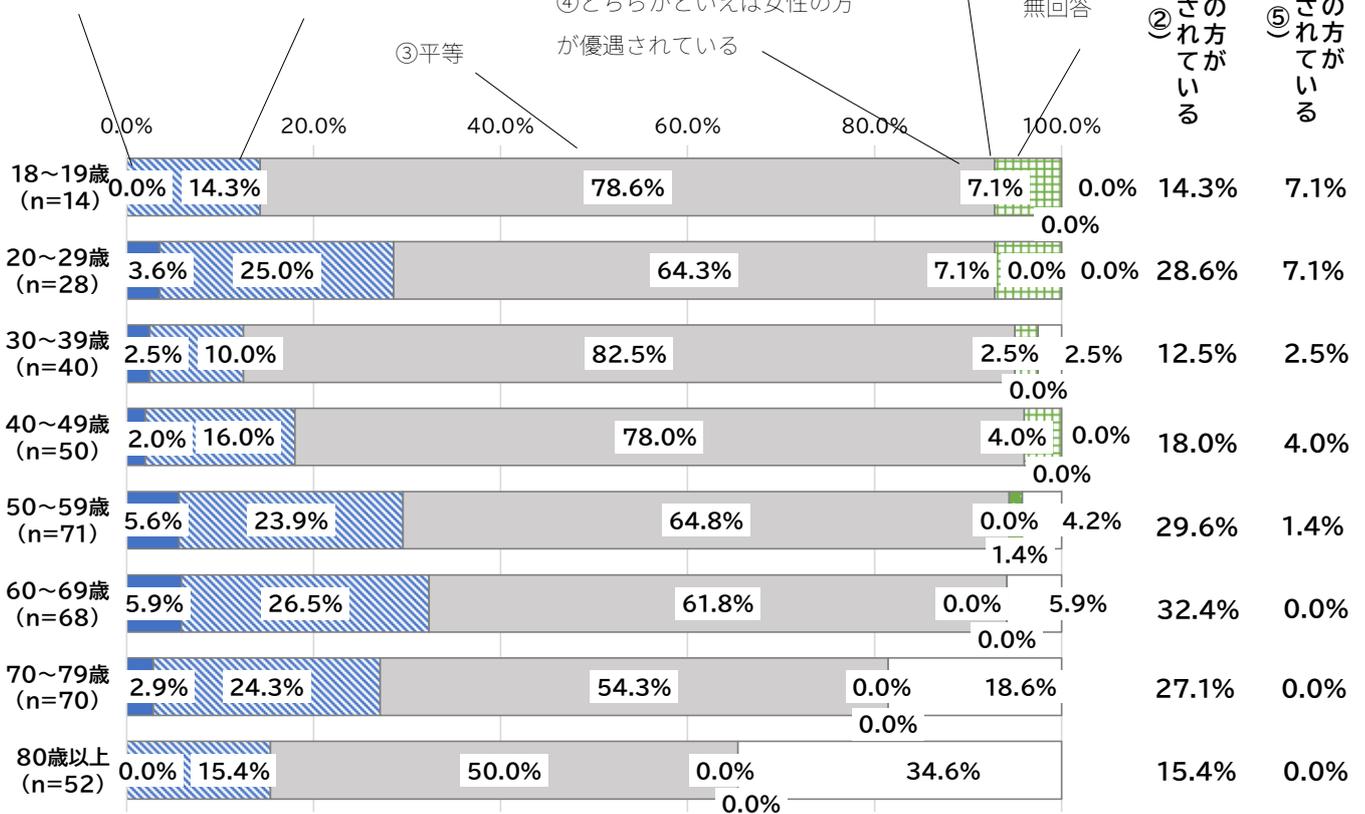
⑤女性のほうが非常に  
優遇されている

(①  
+  
②)

優  
男  
性  
の  
方  
が  
優  
遇  
さ  
れ  
て  
い  
る

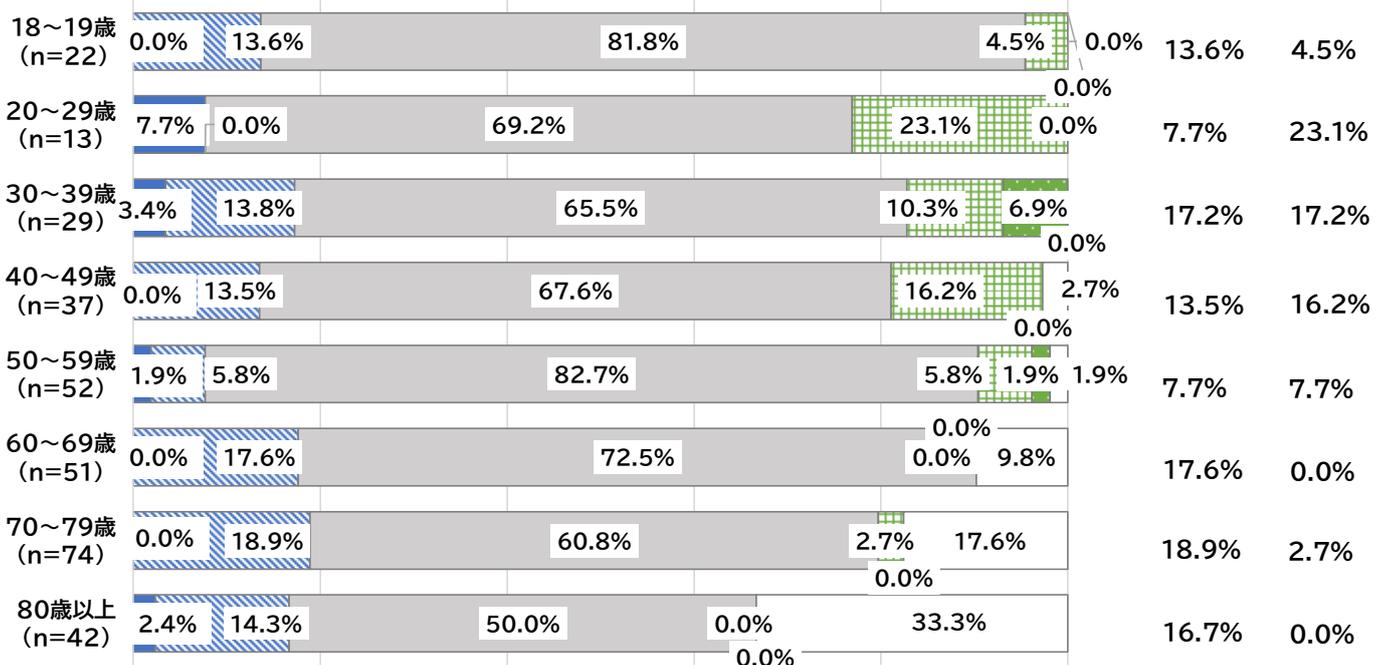
(④  
+  
⑤)

優  
女  
性  
の  
方  
が  
優  
遇  
さ  
れ  
て  
い  
る



### 【性別・年代別／男性】

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%



#### (4) 政治の場で

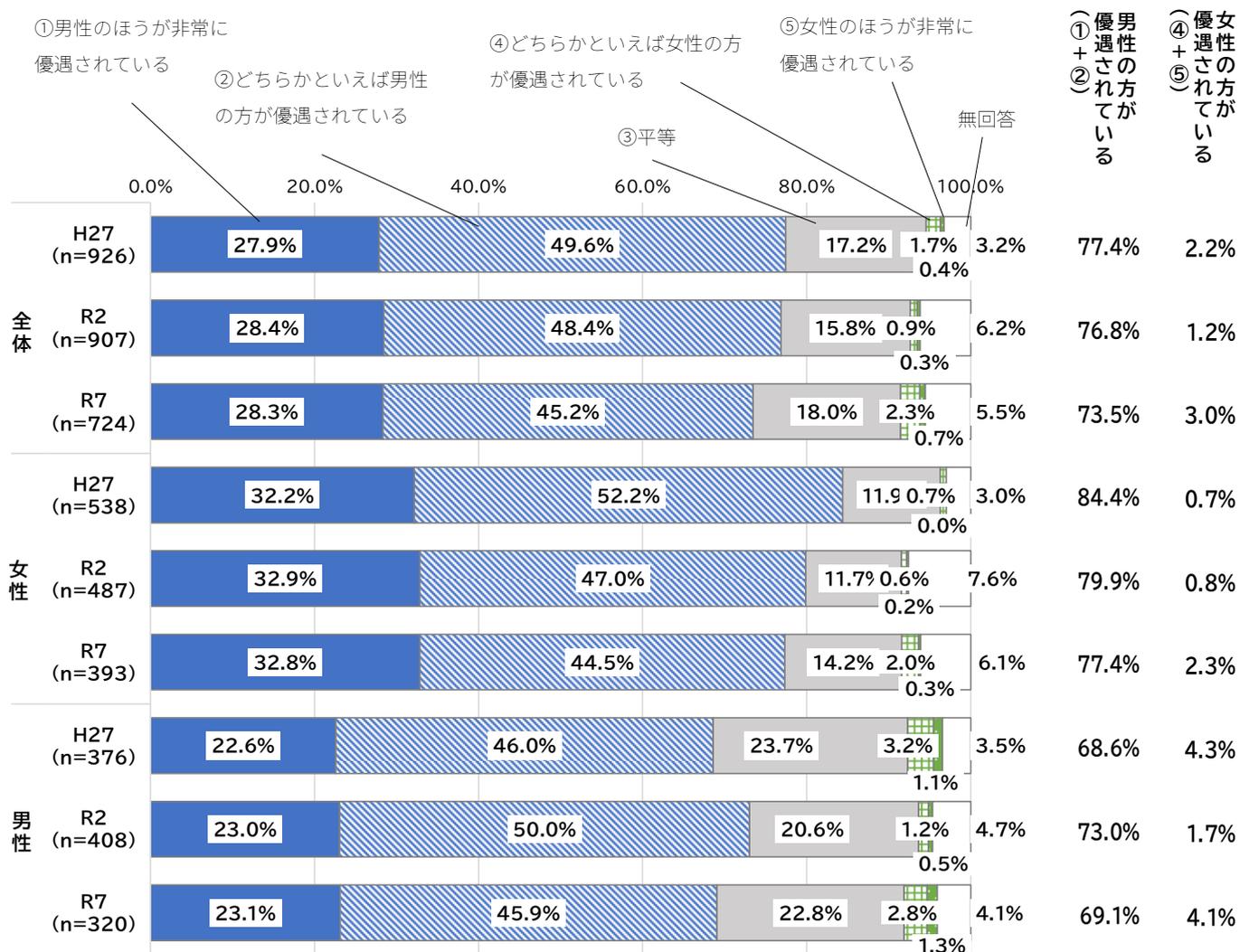
##### ●「平等」と回答した方 (18.0%) について

- ・性別で比較すると、女性 (14.2%) に対して男性 (22.8%) と女性のほうが 8.6 ポイント低い。
- ・H27 松江市調査 (17.2%) より 0.8 ポイント、R2 松江市調査 (15.8%) より 2.2 ポイント増加している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 80 歳以上 (25.0%) で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで 60 歳代 (23.5%) となっており、男性は 80 歳以上 (35.7%) で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで 40 歳代 (29.7%) となっている。
- ・「平等」と回答した割合が低いのは、女性は 50 歳代 (7.0%)、10 歳代 (7.1%)、30 歳代 (7.5%)、男性は 60 歳代 (15.7%) である。
- ・年代別の男女差については、10 歳代の意識の差 (20.2 ポイント) が最も大きくなっている。(女性 7.1%、男性 29.7%)

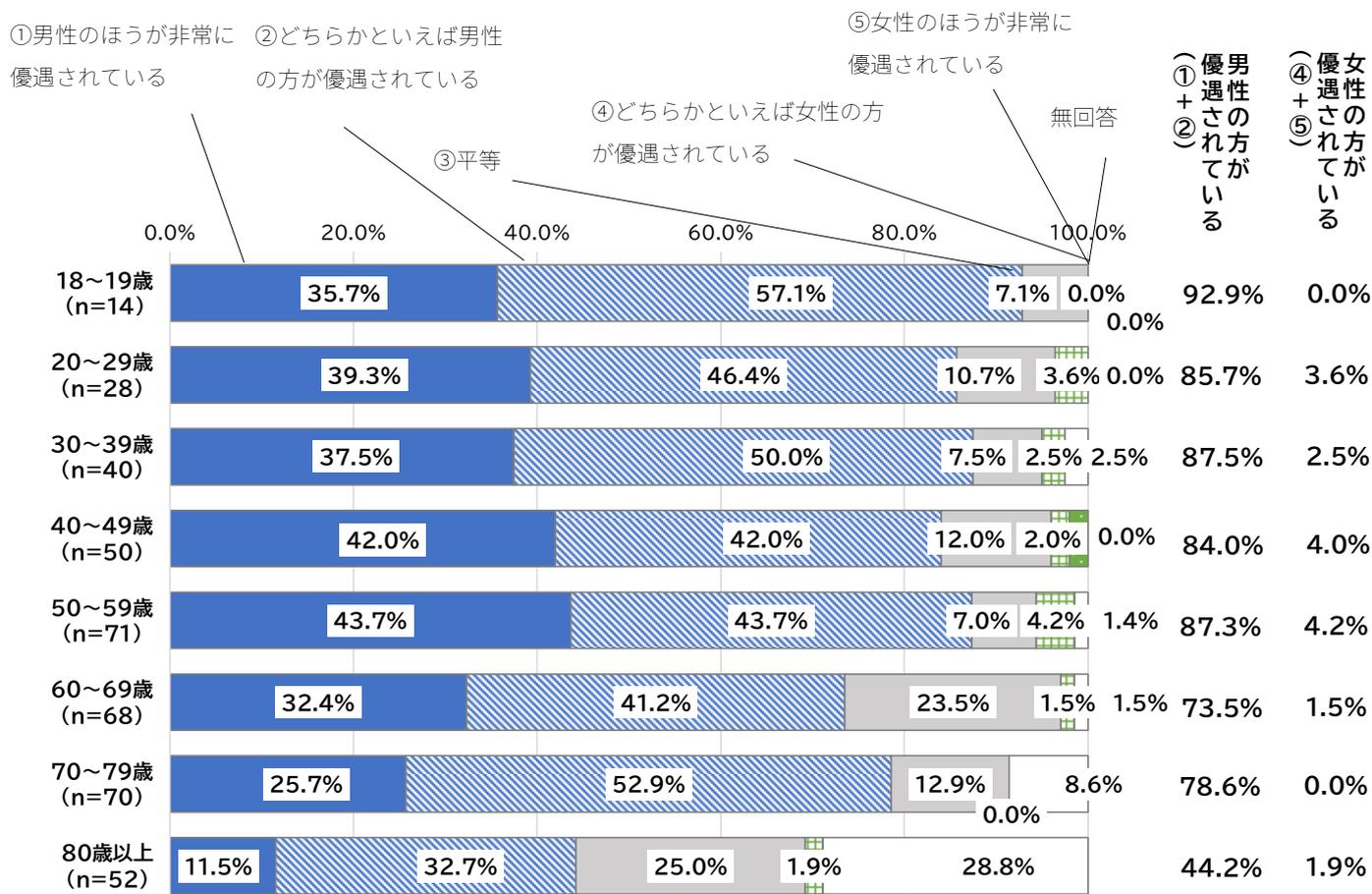
##### ●「男性の方が優遇されている」と回答した方 (計 73.5%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 77.4%) に対して男性 (計 69.1%) と女性のほうが 8.3 ポイント高い。
- ・H27 松江市調査 (計 77.4%) より 3.9 ポイント、R2 松江市調査 (計 76.8%) より 3.3 ポイント減少している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 10 歳代 (計 92.9%) で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで 30 歳代 (計 87.5%) となっている。男性は 60 歳代 (計 80.4%) で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで 30 歳代 (計 75.9%) となっている。
- ・「男性の方が優遇されている」と回答した割合が低いのは、男女ともに 80 歳以上 (女性計 44.2%、男性計 50.0%) である。
- ・年代別の男女差については、10 歳代の意識の差 (29.3 ポイント) が最も大きくなっている。(女性計 92.9%、男性計 63.6%)

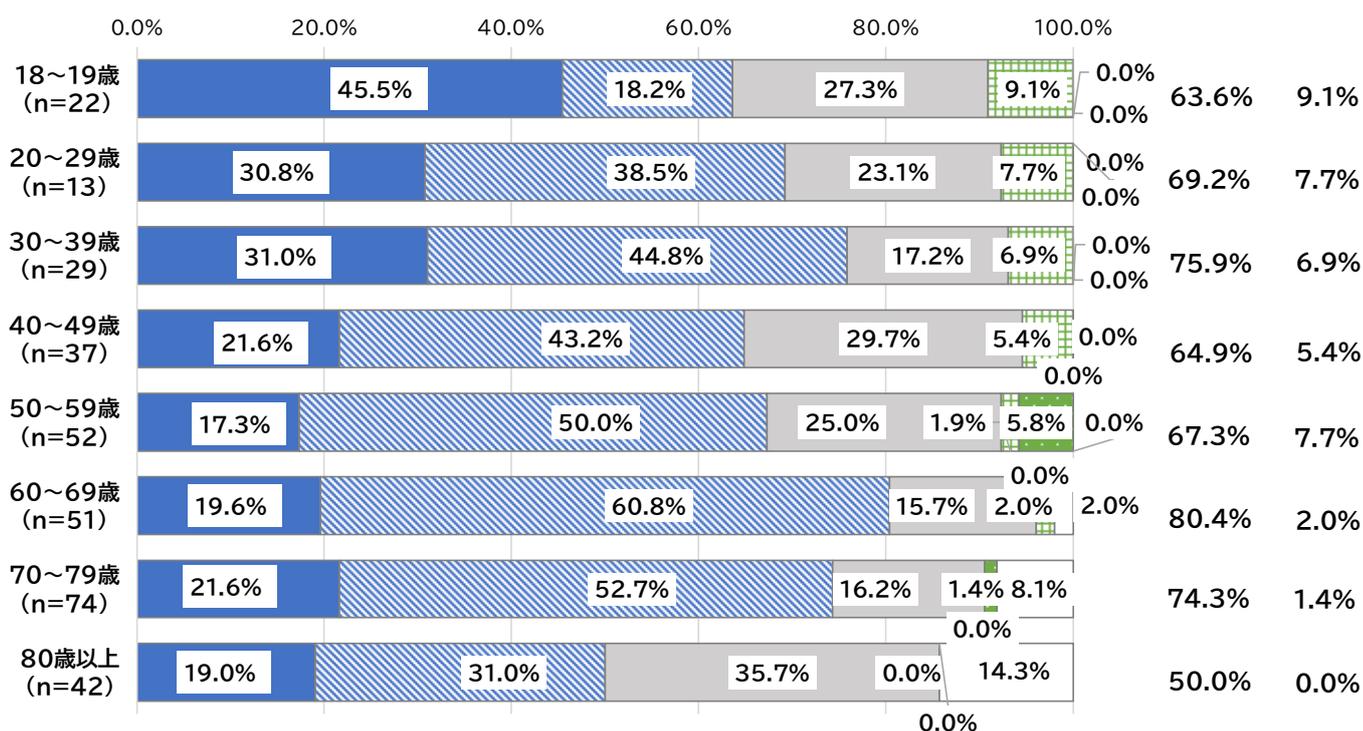
### 【経年比較／全体・性別】



### 【性別・年代別／女性】



### 【性別・年代別／男性】



## (5) 法律や制度上で

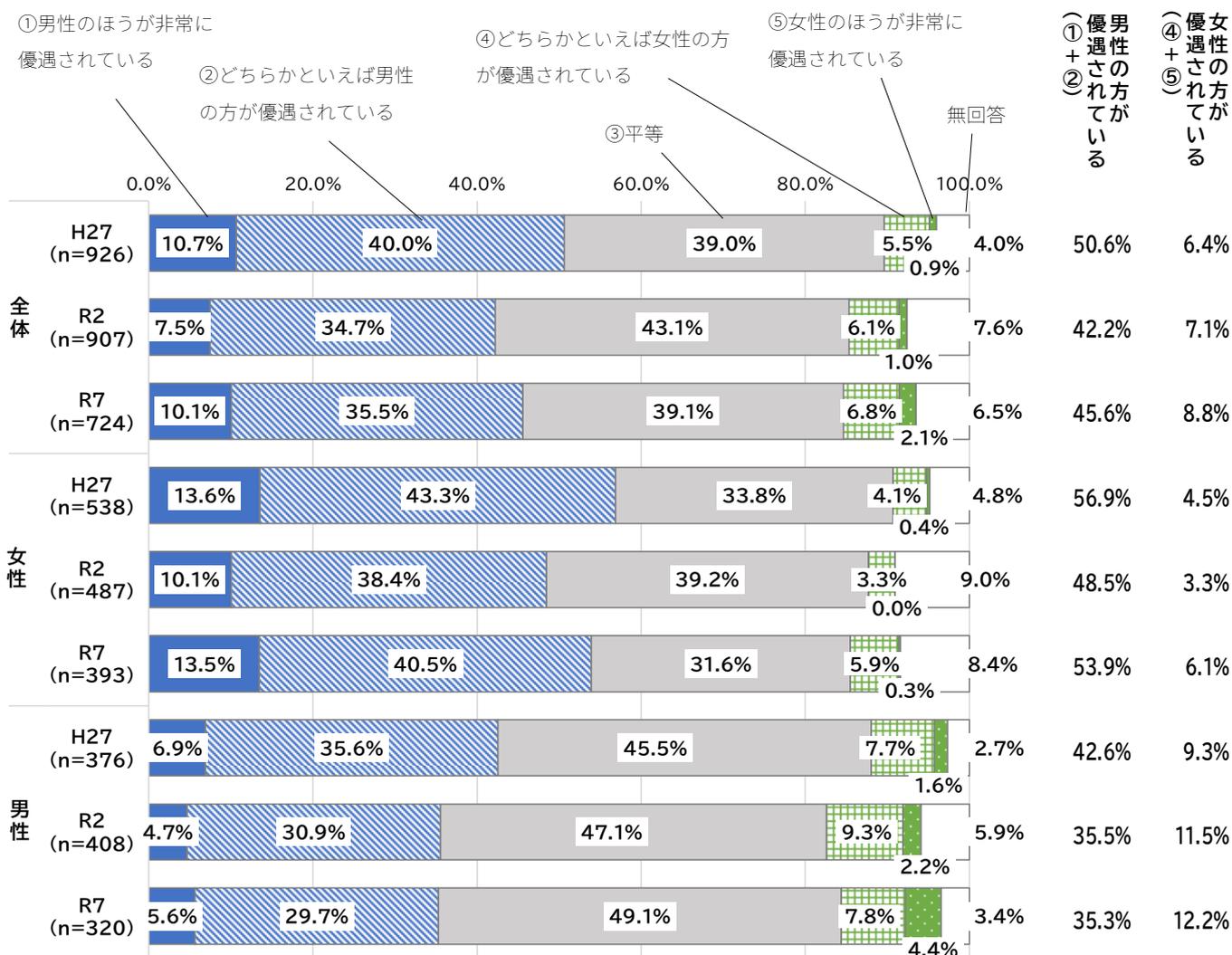
### ●「平等」と回答した方 (39.1%) について

- ・回答項目の8つの分野の中で、男女の意識の差が最も顕著に表れた分野(女性31.6%、男性49.1%)であり、女性は男性よりも17.5ポイント低い。
- ・女性はR2松江市調査(39.2%)より7.6ポイント減少しているのに対して、男性はR2松江市調査(47.1%)より2.0ポイント増加しており、男女で意識の変化に差がある。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は10歳代、20歳代(50.0%)で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで30歳代(35.0%)となっており、男性は80歳以上(59.5%)で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで60歳代(52.9%)となっている。
- ・「平等」と回答した割合が低いのは、女性は50歳代(23.9%)、男性は30歳代(27.6%)である。
- ・年代別の男女差については、80歳以上の意識の差(26.8ポイント)が最も大きくなっている。(女性32.7%、男性59.5%)

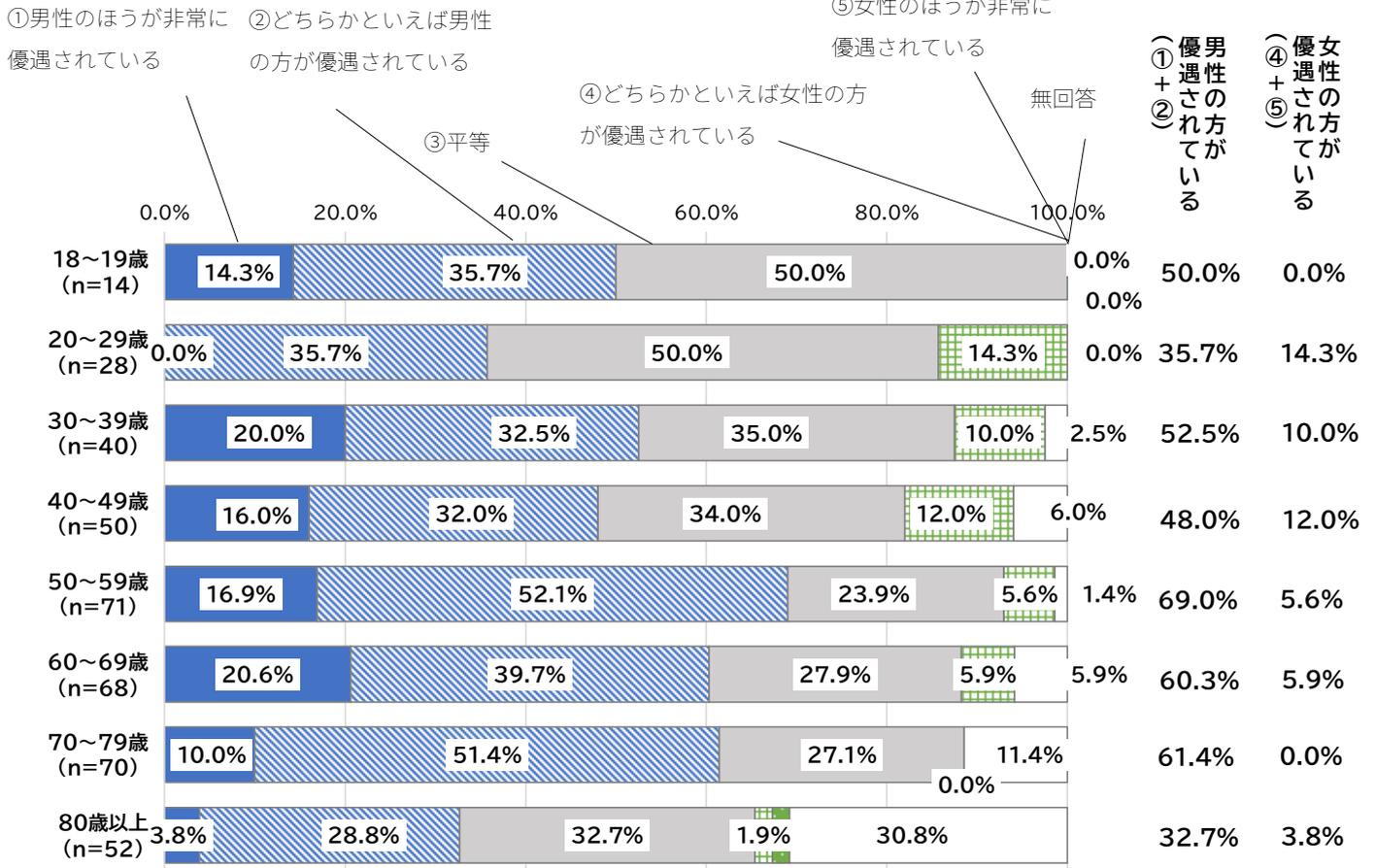
### ●「男性の方が優遇されている」と回答した(計45.6%)について

- ・性別で比較すると、女性(計53.9%)に対して男性(計35.3%)と女性のほうが18.6ポイント高い。
- ・女性はR2松江市調査(計48.5%)より5.4ポイント増加しているのに対して、男性はR2松江市調査(計35.5%)より0.2ポイント減少しており、男女で意識の変化に差がある。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は50歳代(計69.0%)で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで70歳代(計61.4%)となっている。男性は60歳代(計45.1%)で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで30歳代(計44.8%)となっている。
- ・「男性の方が優遇されている」と回答した割合が低いのは、女性は80歳以上(計32.7%)、男性は20歳代(計23.1%)である。
- ・年代別の男女差については、50歳代の意識の差(44.0ポイント)が最も大きくなっている。(女性計69.0%、男性25.0%)

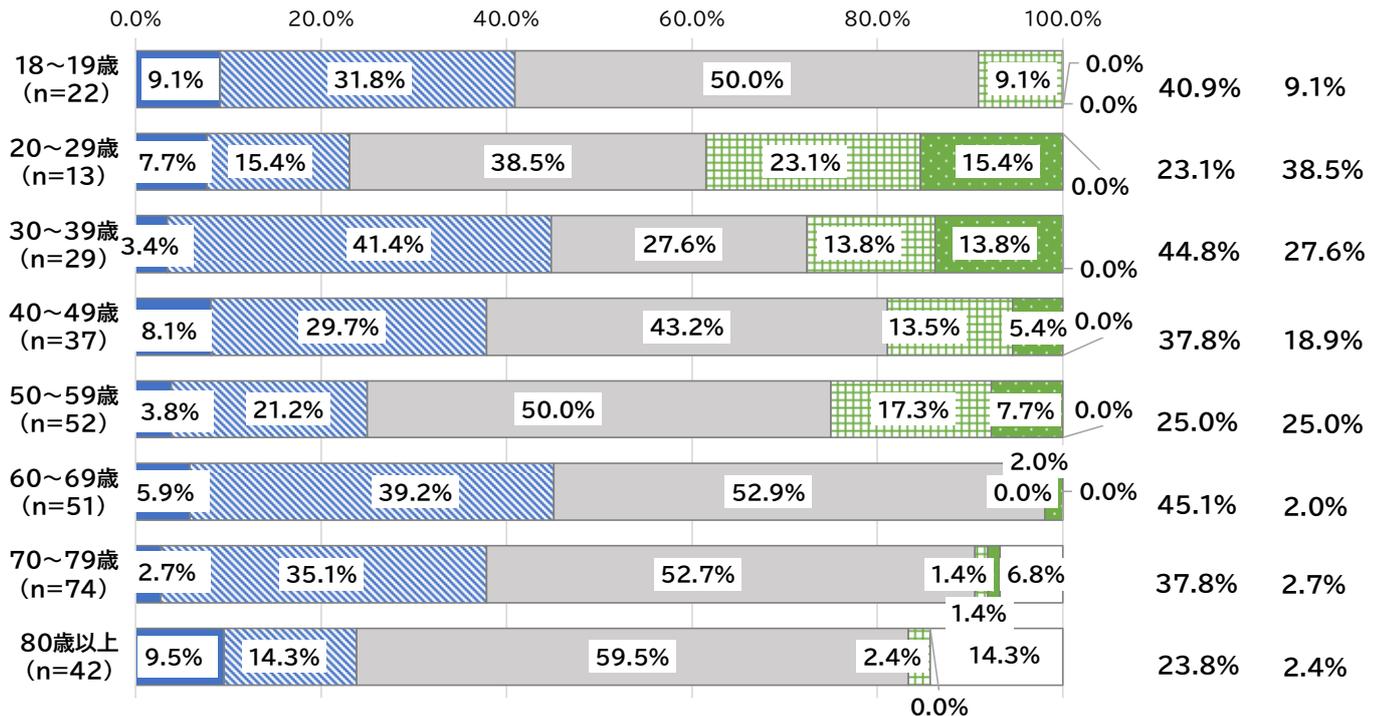
### 【経年比較／全体・性別】



**【性別・年代別／女性】**



**【性別・年代別／男性】**



## (6) 社会通念・慣習・しきたりなどで

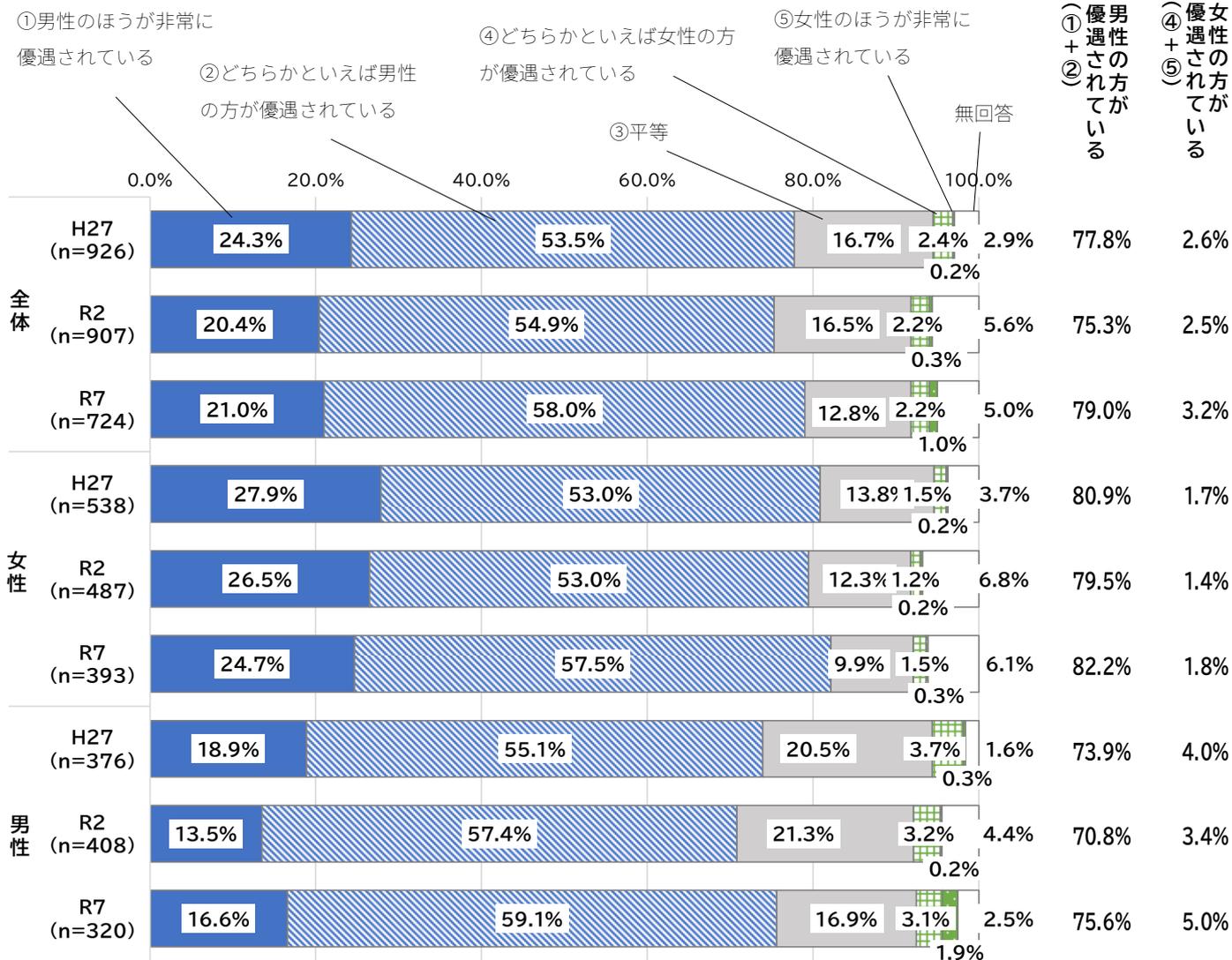
### ●「平等」と回答した方 (12.8%) について

- ・性別で比較すると、女性 (9.9%) に対して男性 (16.9%) と女性のほうが 7.0 ポイント低い。
- ・H27 松江市調査 (16.7%) より 3.9 ポイント、R2 松江市調査 (16.5%) より 3.7 ポイント減少している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 30 歳代 (15.0%) で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで 20 歳代 (14.3%) となっており、男性は 50 歳代 (28.8%) で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで 40 歳代 (24.3%) となっている。
- ・「平等」と回答した割合が低いのは、女性は 10 歳代 (0.0%)、男性は 70 歳代 (9.5%) である。
- ・年代別の男女差については、50 歳代の意識の差 (20.3 ポイント) が最も大きくなっている。(女性 8.5%、男性 28.8%)

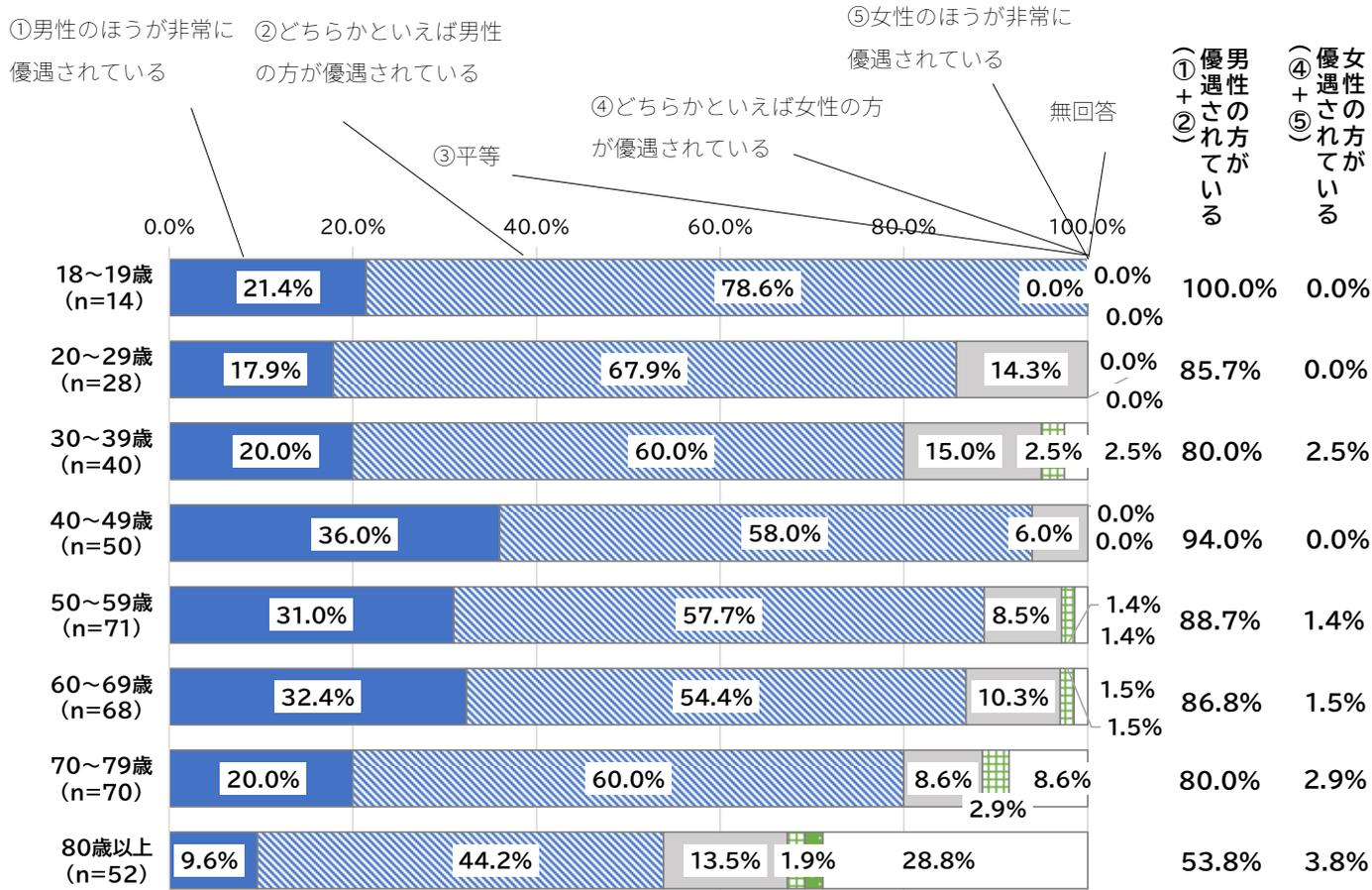
### ●「男性の方が優遇されている」と回答した方 (計 79.0%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 82.2%) に対して男性 (計 75.6%) と女性のほうが 6.6 ポイント高い。
- ・女性は R2 松江市調査 (計 79.5%) より 2.7 ポイント、男性は R2 松江市調査 (計 70.8%) より 4.8 ポイント増加している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 10 歳代 (計 100.0%) で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで 40 歳代 (計 94.0%) となっている。男性は 20 歳代 (計 84.6%) で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで 60 歳代 (計 84.3%) となっている。
- ・「男性の方が優遇されている」と回答した割合が低いのは、女性は 80 歳以上 (計 53.8%)、男性は 40 歳代 (計 56.8%) である。
- ・年代別の男女差については、40 歳代の意識の差 (37.2 ポイント) が最も大きくなっている。(女性計 94.0%、男性計 56.8%)

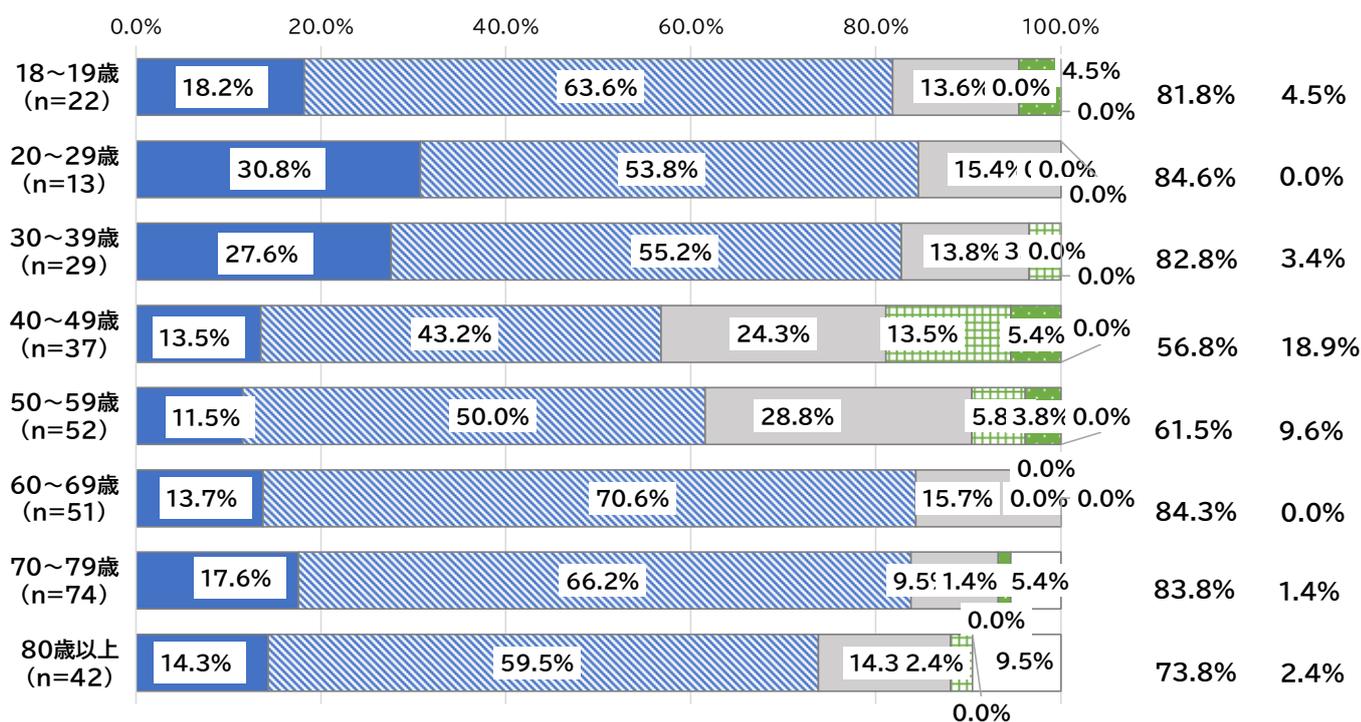
### 【経年比較／全体・性別】



### 【性別・年代別／女性】



### 【性別・年代別／男性】



## (7) 就職で

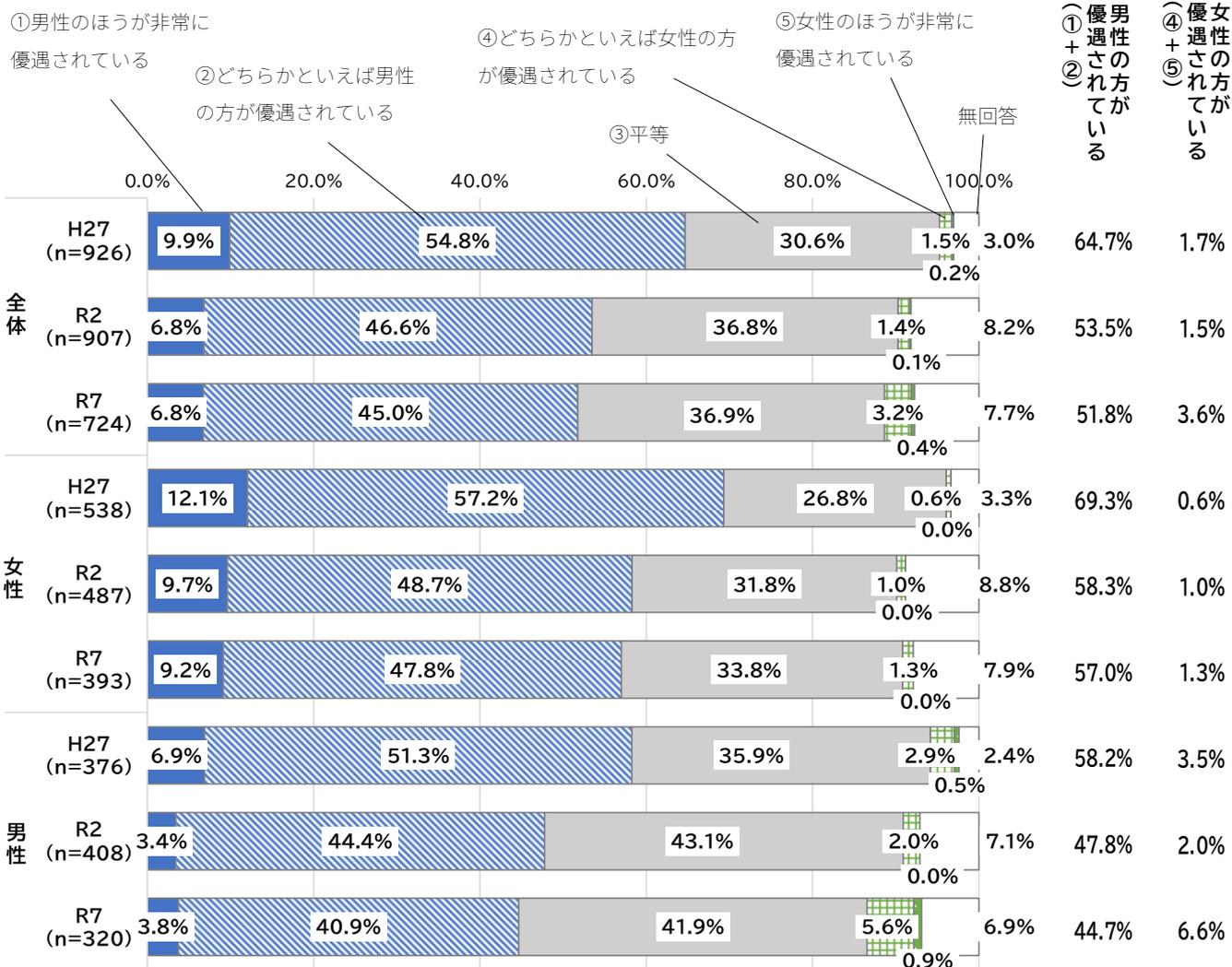
### ●「平等」と回答した方 (36.9%) について

- ・性別で比較すると、女性 (33.8%) に対して男性 (41.9%) と女性のほうが 8.1 ポイント低い。
- ・H27 松江市調査 (30.6%) より 6.3 ポイント、R2 松江市調査より (36.8%) より 0.1 ポイント増加している。
- ・女性は R2 松江市調査 (計 31.8%) より 2.0 ポイント増加したが、男性は R2 松江市調査 (計 43.1%) より 1.2 ポイント減少している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 10 歳代 (42.9%) で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで 40 歳代 (38.0%) となっており、男性は 50 歳代 (55.8%) で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで 60 歳代 (51.0%) となっている。
- ・「平等」と回答した割合が低いのは、男女とも 80 歳以上 (女性 30.8%、男性 23.8%) である。
- ・年代別の男女差については、50 歳代の意識の差 (22.0 ポイント) が最も大きくなっている。(女性 33.8%、男性 55.8%)

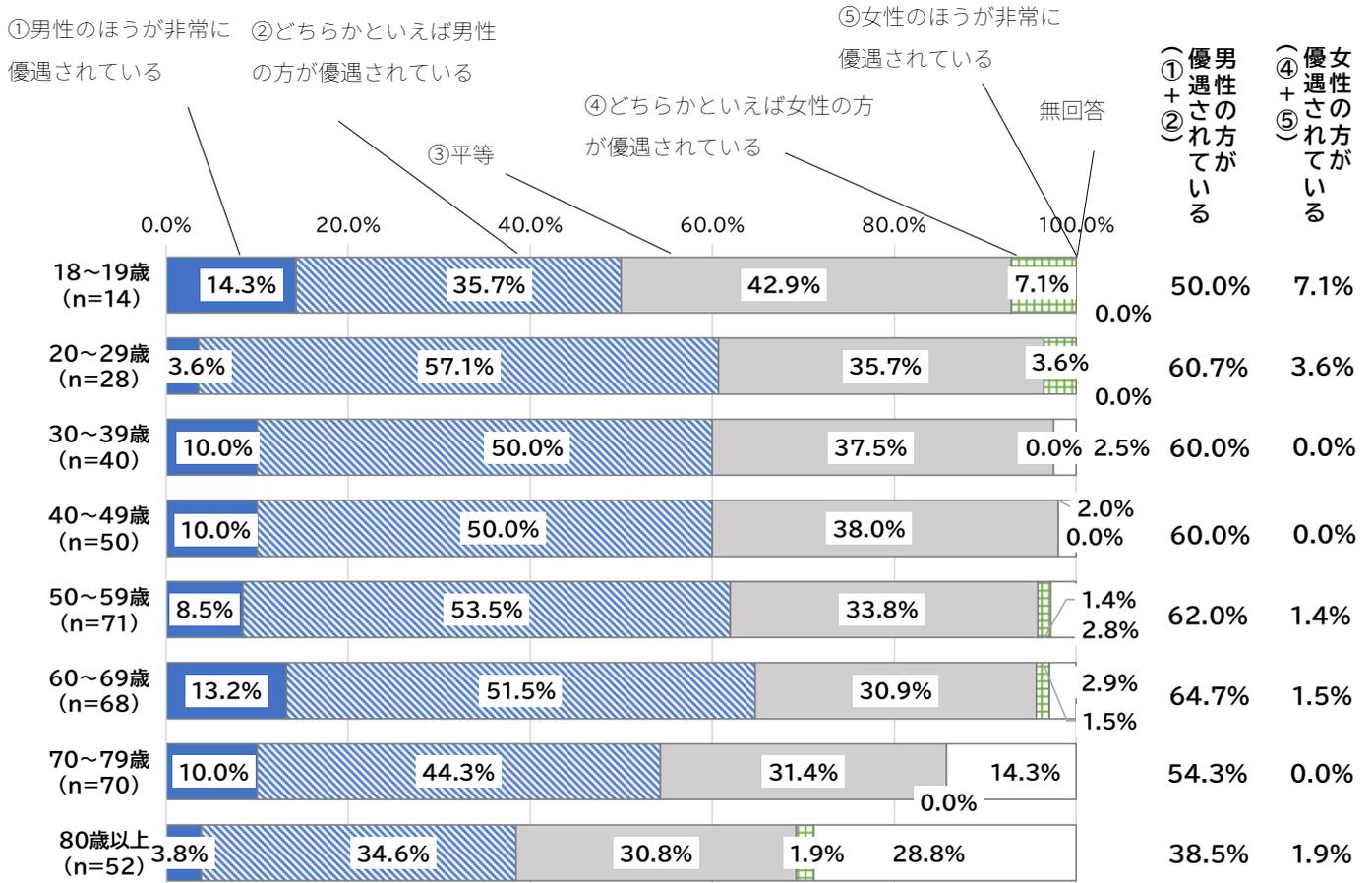
### ●「男性の方が優遇されている」と回答した方 (計 51.8%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 57.0%) に対して男性 (計 44.7%) と女性のほうが 12.3 ポイント高い。
- ・H27 松江市調査 (計 64.7%) より 12.9 ポイント、R2 松江市調査 (計 53.5%) 1.7 ポイント減少している。
- ・R2 松江市調査の男女差は 10.5 ポイント (女性計 58.3%、男性計 47.8%) だが、今回調査では 12.3 ポイント (女性計 57.0%、男性計 44.7%) となった。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 60 歳代 (計 64.7%) で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで 50 歳代 (計 62.0%) となっている。男性は 10 歳代 (計 63.6%) で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで 70 歳代 (計 52.7%) となっている。
- ・「男性の方が優遇されている」と回答した割合が低いのは、女性 80 歳以上 (計 38.5%)、男性 50 歳代 (計 32.7%) である。
- ・年代別の男女差については、50 歳代の意識の差 (29.3 ポイント) が最も大きくなっている。(女性計 62.0%、男性計 32.7%)

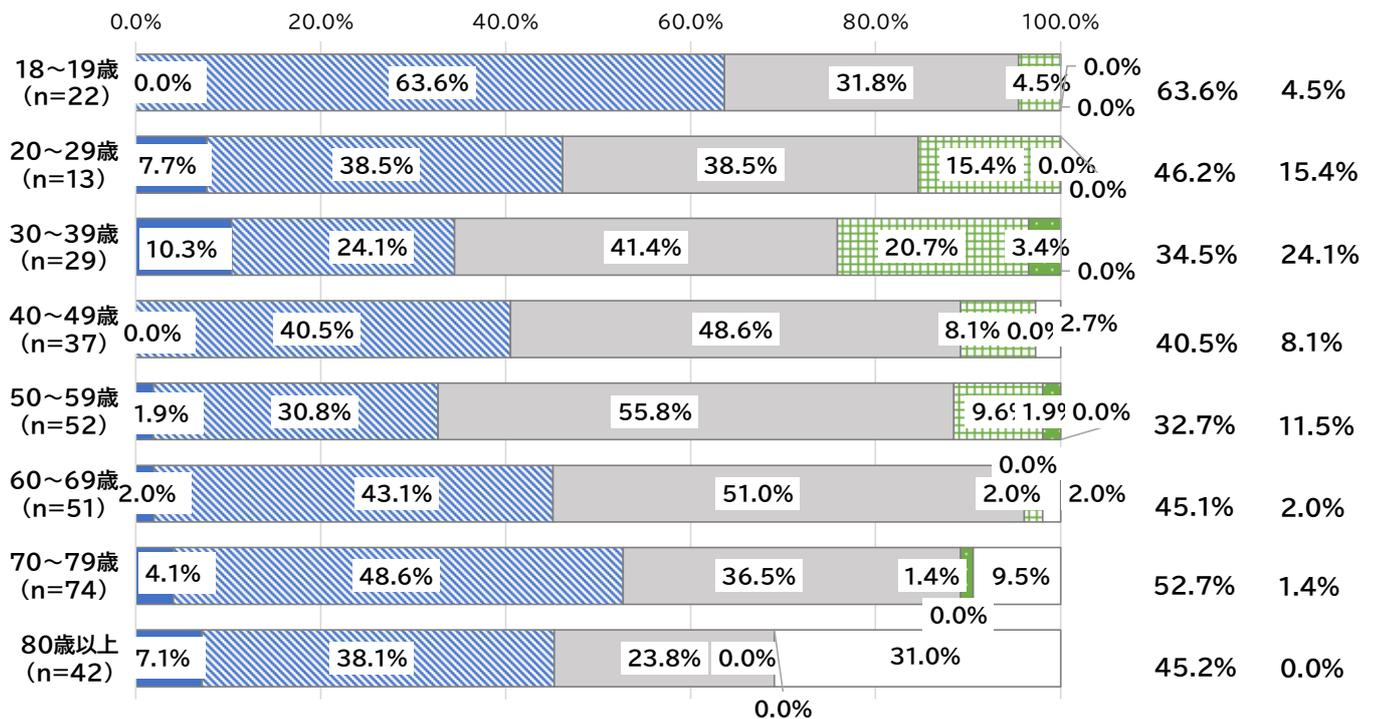
### 【経年比較／全体・性別】



### 【性別・年代別／女性】



### 【性別・年代別／男性】



## (8) 自治会やPTAなどの地域活動の場で

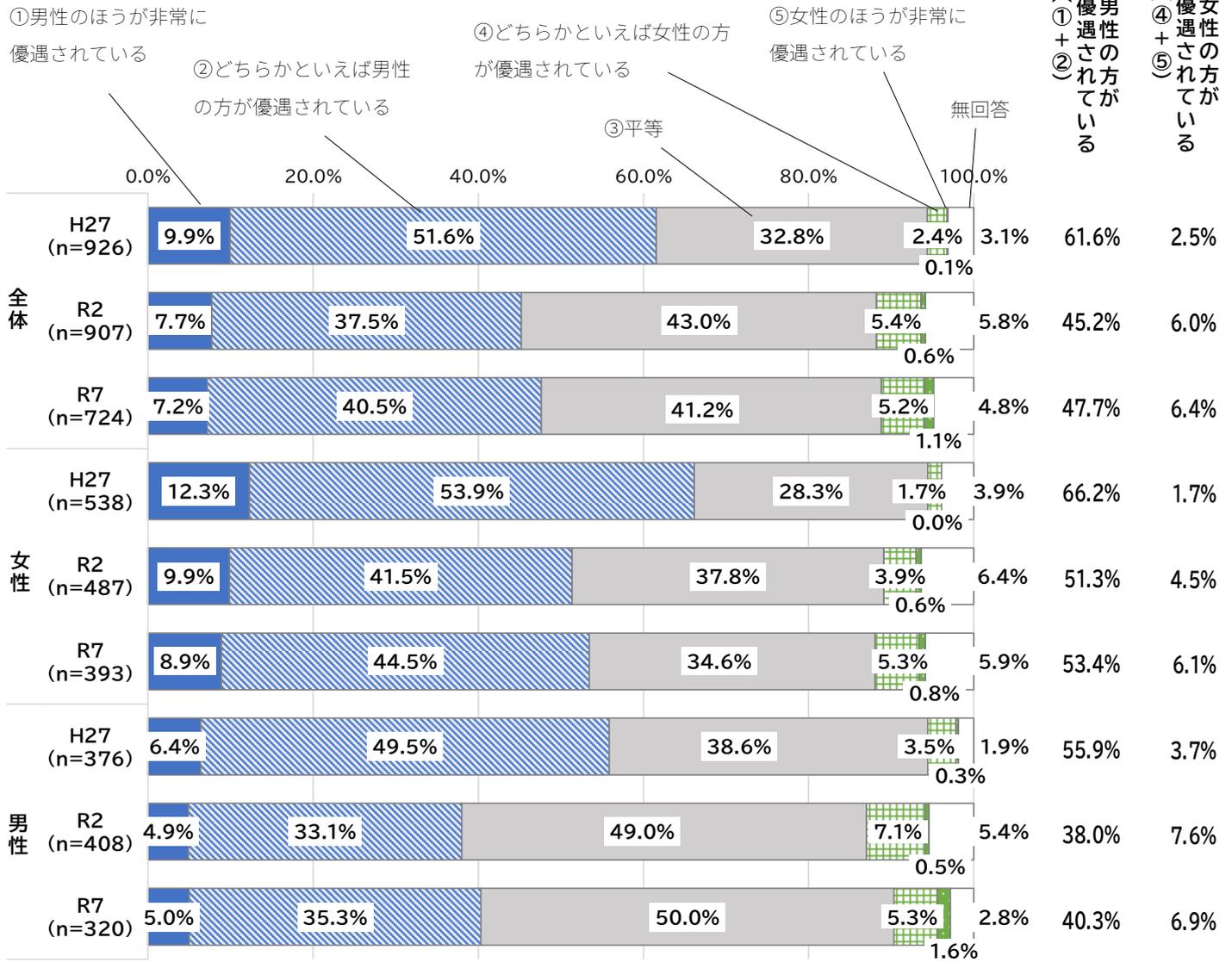
### ●「平等」と回答した方(41.2%)について

- ・性別で比較すると、女性(34.6%)に対して男性(50.0%)と女性のほうが15.4ポイント低い。
- ・H27 松江市調査(32.8%)より8.4ポイント増加しているのに対して、R2 松江市調査(43.0%)より1.8ポイント減少している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は20歳代(42.9%)で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで80歳以上(40.4%)となっており、男性は20歳代(69.2%)で「平等」と回答した割合が最も高く、次いで50歳代(67.3%)となっている。
- ・「平等」と回答した割合が低いのは、女性は10歳代(28.6%)、男性は70歳代(36.5%)である。
- ・年代別の男女差については、50歳代の意識の差(34.9ポイント)が最も大きくなっている。(女性32.4%、男性67.3%)

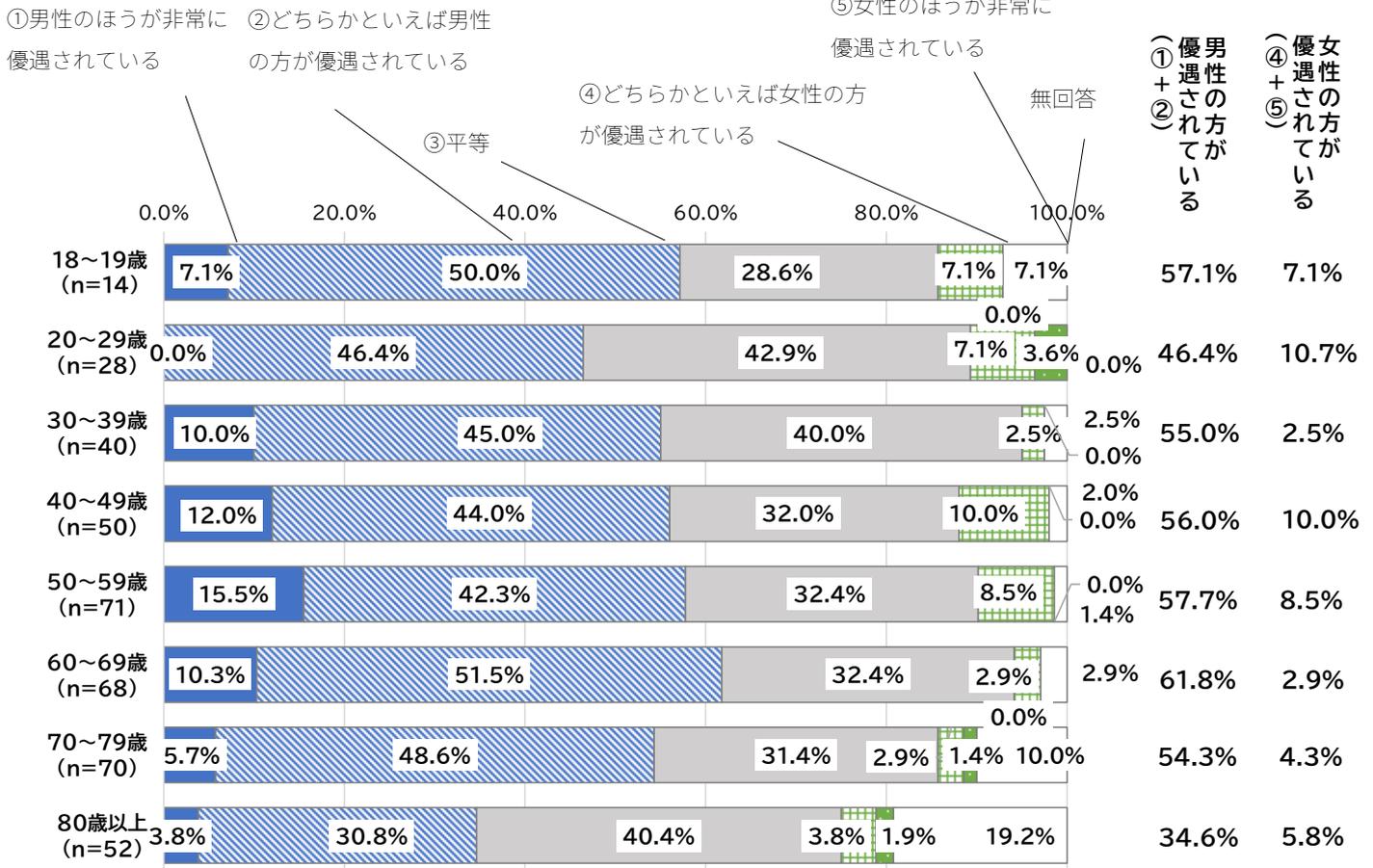
### ●「男性の方が優遇されている」と回答した方(計47.7%)について

- ・性別で比較すると、女性(計53.4%)に対して男性(計40.3%)と女性のほうが13.1ポイント高い。
- ・男女ともにH27 松江市調査(女性計66.2%、男性計55.9%)より減少しているのに対して、R2 松江市調査(女性計51.3%、男性計38.0%)より増加している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は60歳代(計61.8%)で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで50歳代(計57.7%)となっている。男性は70歳代(計52.7%)で「男性の方が優遇されている」と回答した割合が最も高く、次いで40歳代(計45.9%)となっている。
- ・「男性の方が優遇されている」と回答した割合が低いのは女性は80歳以上(計34.6%)、男性は20歳以上(計15.4%)である。
- ・年代別の男女差については、50歳代の意識の差(36.5ポイント)が最も大きくなっている。(女性計57.7%、男性計21.2%)

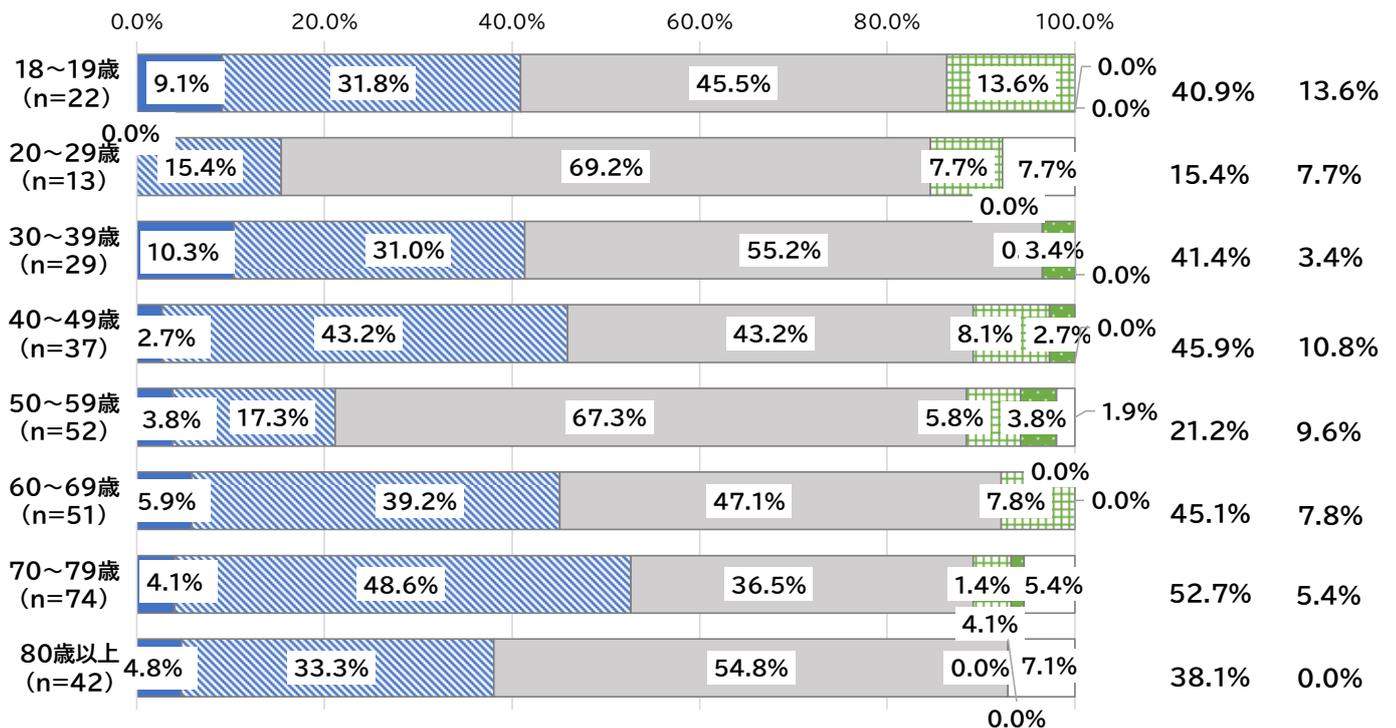
### 【経年比較／全体・性別】



### 【性別・年代別／女性】



### 【性別・年代別／男性】



問1-2 社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。

●「平等」と回答した方 (19.5%) について

- ・性別で比較すると、女性 (17.3%) に対して男性 (22.2%) と女性のほうが 4.9 ポイント低い。
- ・年代別の意識の差については、50 歳代 (女性 4.2%、男性 32.7%) が男女差 28.5 ポイントで、最も意識の差が大きい。
- ・他の調査と比較すると、R6 内閣府調査 (16.7%) より 2.8 ポイント、R7 島根県調査 (17.3%) より 2.2 ポイント高くなっている。
- ・男女の地位が平等であると回答した市民の割合は増加傾向にあるが、「第 3 次松江市男女共同参画計画」の目標値 (30%) には届いていない。

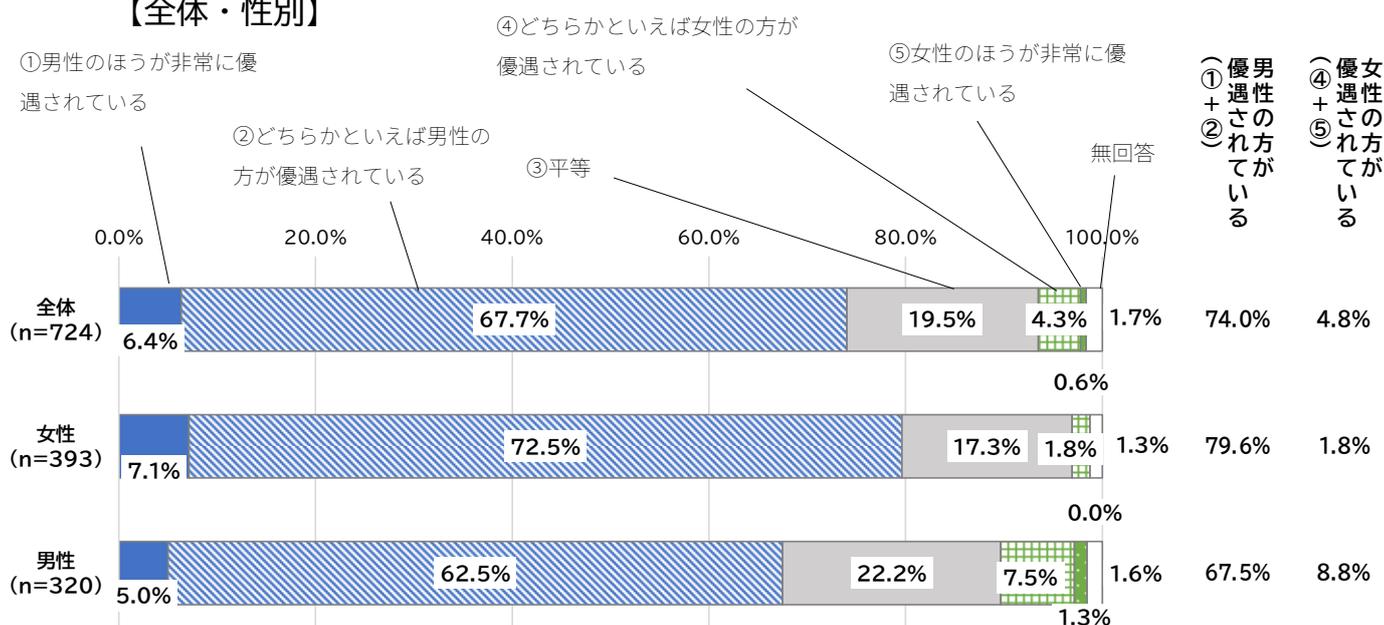
●「男性の方が優遇されている」と回答した方 (計 74.0%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 79.6%) に対して男性 (計 67.5%) と女性のほうが 12.1 ポイント高い。
- ・性別・年代別でみると、80 歳以上を除く全ての年代で、女性のほうが男性より「男性の方が優遇されている」と回答した割合が高かった。
- ・年代別の意識の差をみると、50 歳代 (女性計 91.5%、男性計 53.8%) は男女差 37.7 ポイントで最も意識の差が大きく、次いで 20 歳代 (女性計 82.1%、男性計 46.2%) で男女差 35.9 ポイントとなっている。
- ・他の調査と比較すると、R6 内閣府調査 (計 74.7%) より 0.7 ポイント、R7 島根県調査 (計 76.3%) より 2.3 ポイント低くなっている。

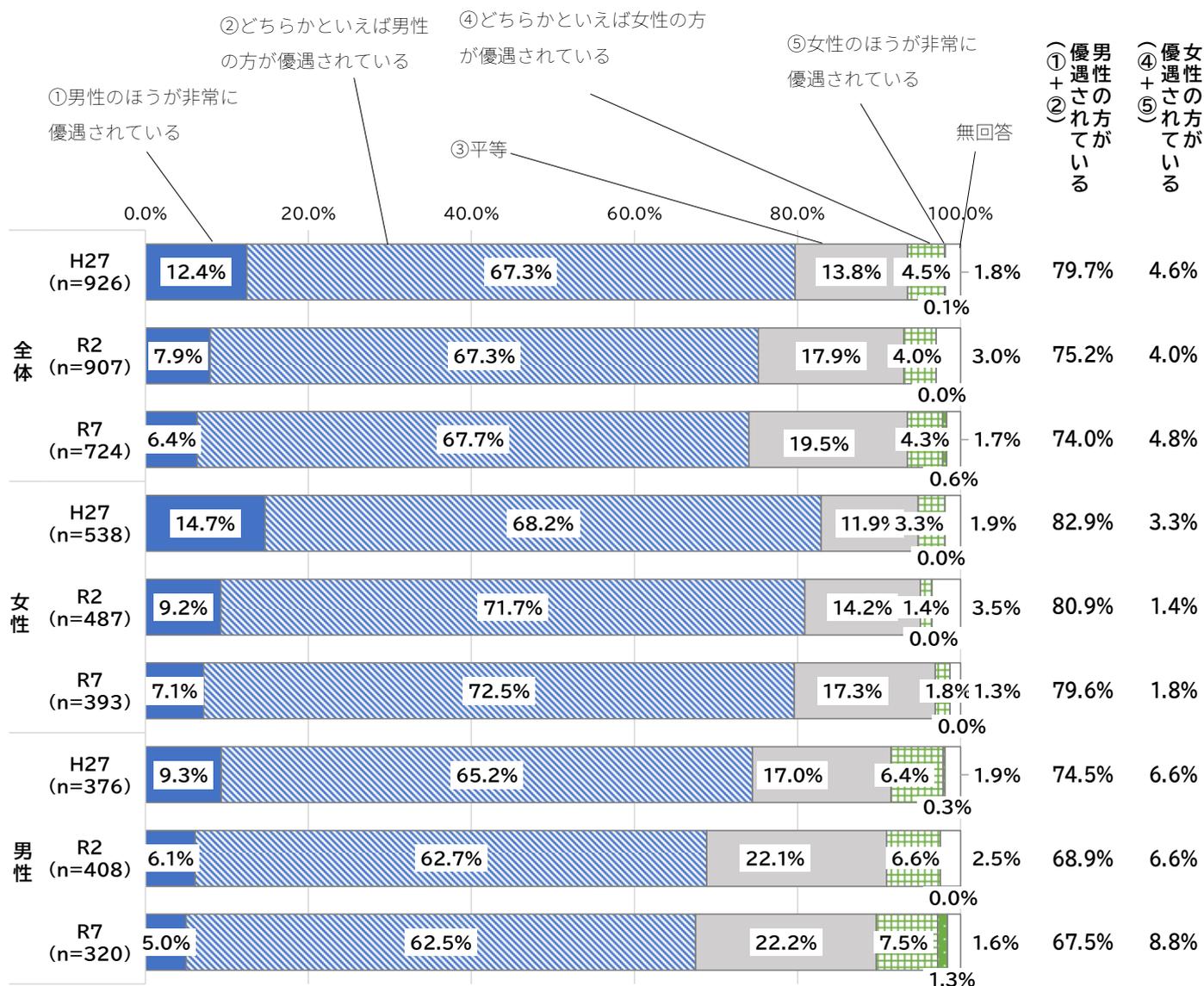
●「女性の方が優遇されている」と回答した方 (計 4.8%) について

- ・性別でみると、女性は 1.8%、男性は 8.8%となっている。

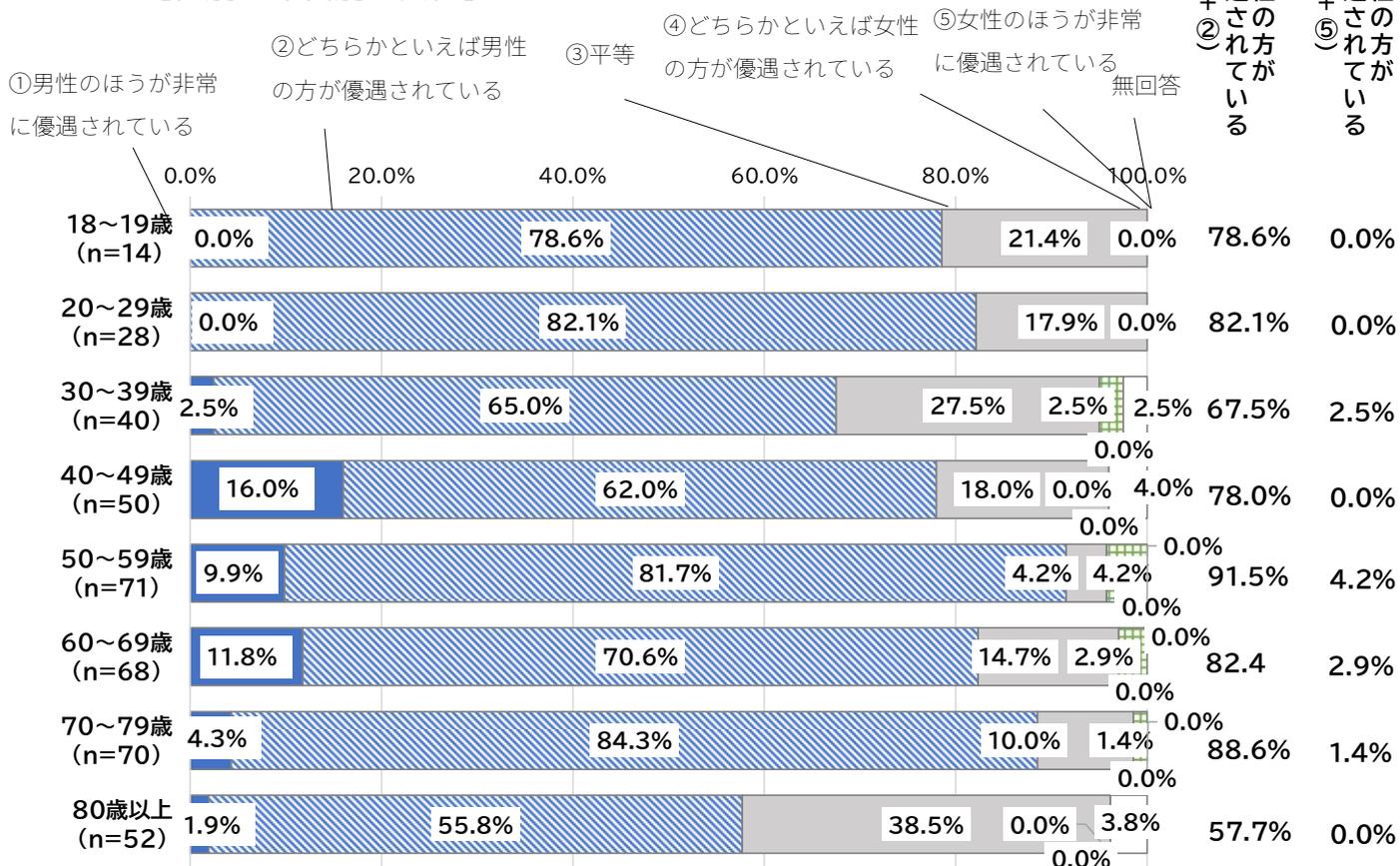
【全体・性別】



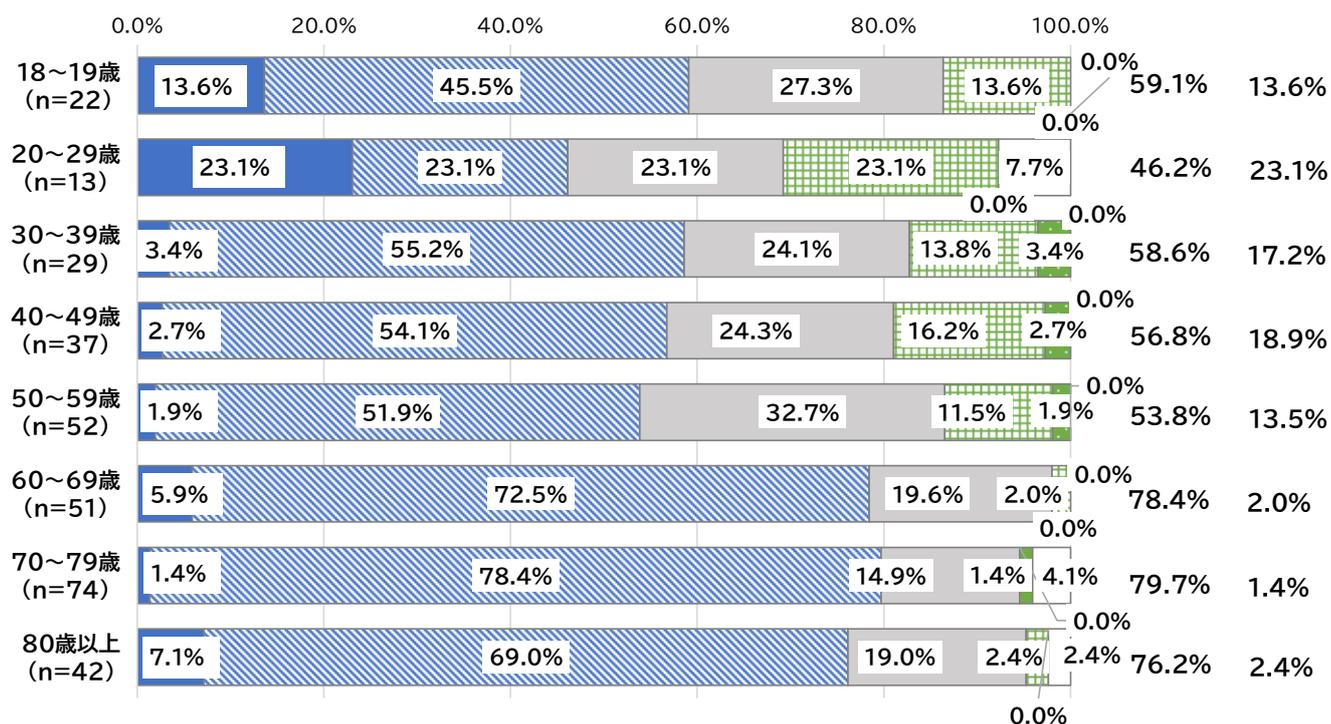
## 【経年比較／全体・性別】



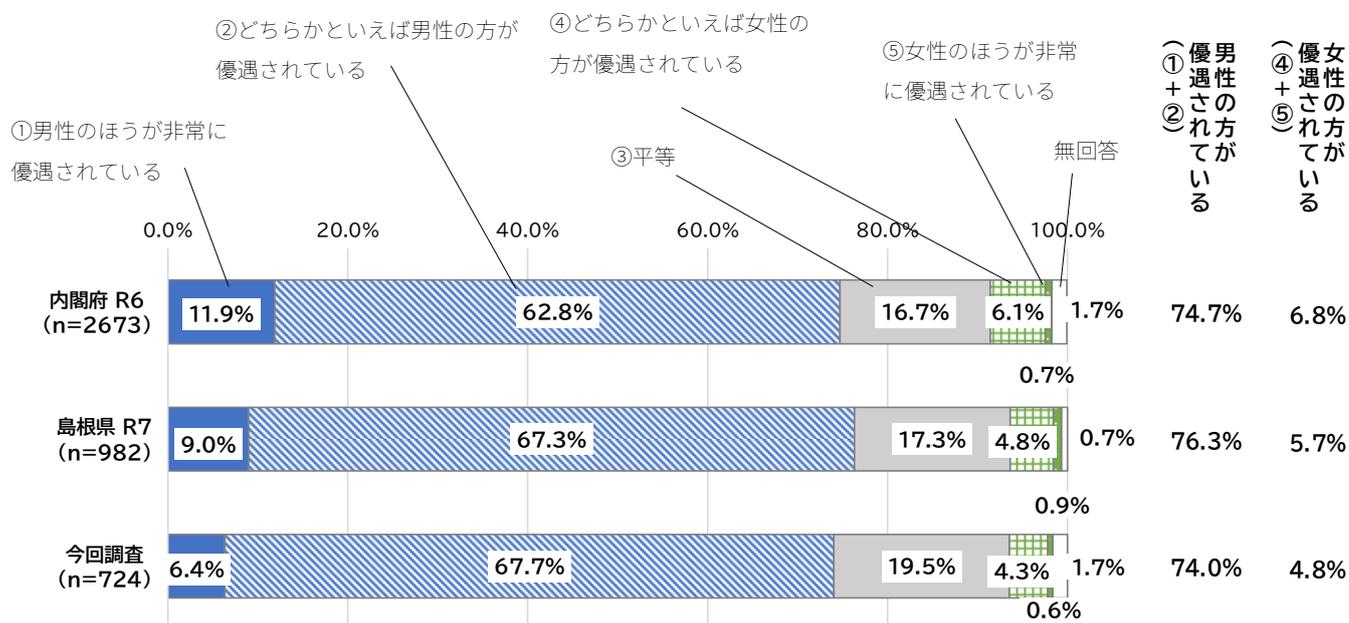
### 【性別・年代別／女性】



### 【性別・年代別／男性】



## 【他調査との比較／全体】



※内閣府 R6 では「あなたは社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。(〇は1つ)」と聞いている。

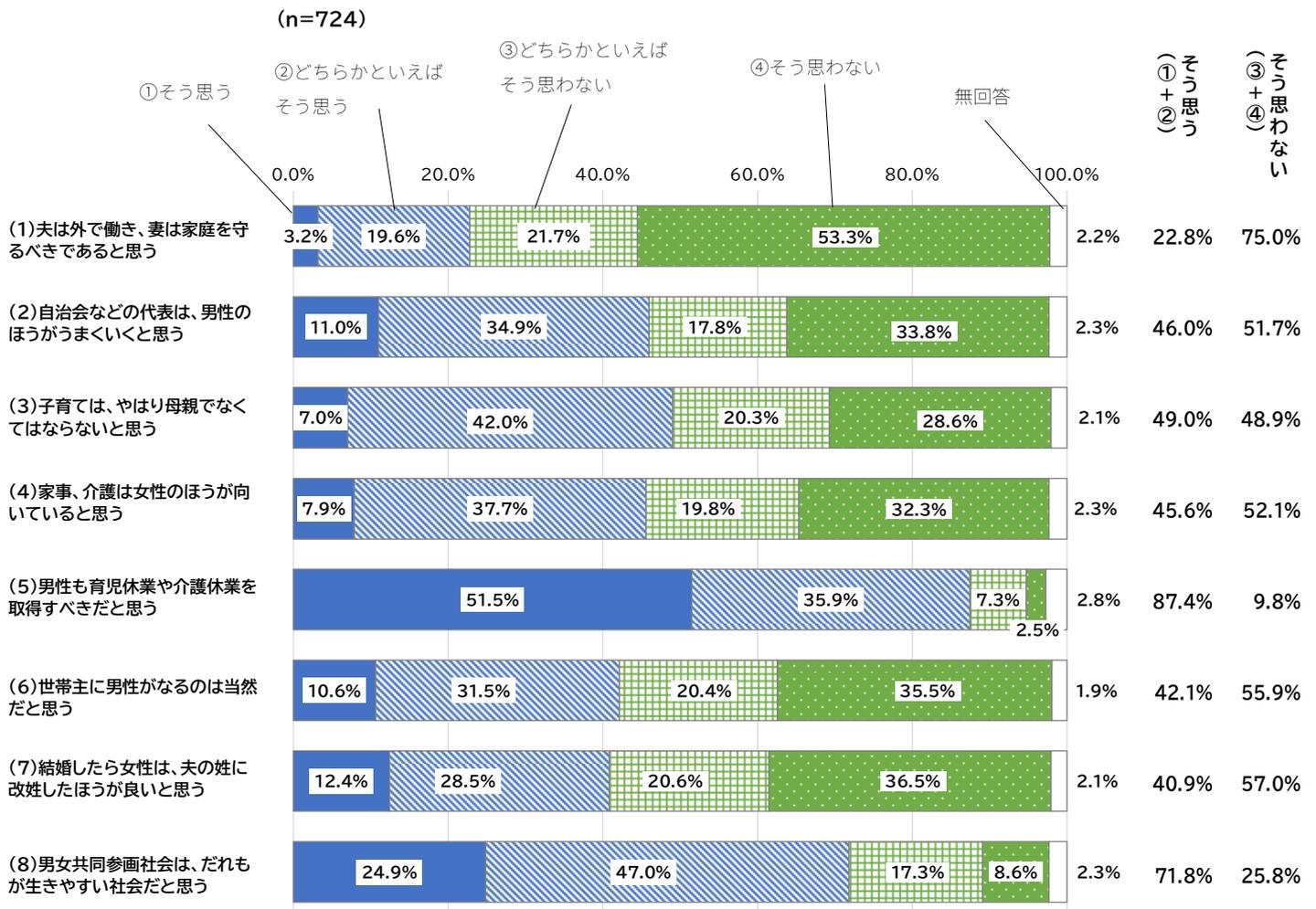
※島根県 R7 では「では、社会全体でみた場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(〇は1つ)」と聞いている。

■ 性別役割分担意識について

問2 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。

- ・「(1)夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、否定的な意見（「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」の計）が計 75.0%と 7 割以上を占めている。
- ・「(5)男性も育児休業や介護休業を取得すべきだと思う」という考え方について、肯定的な意見（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の計）が計 87.4%と 8 割以上を占めている。
- ・「(8)男女共同参画社会は、誰もが生きやすい社会だと思う」という考え方について、肯定的な意見が計 71.8%と 7 割以上を占めている。

【全体】

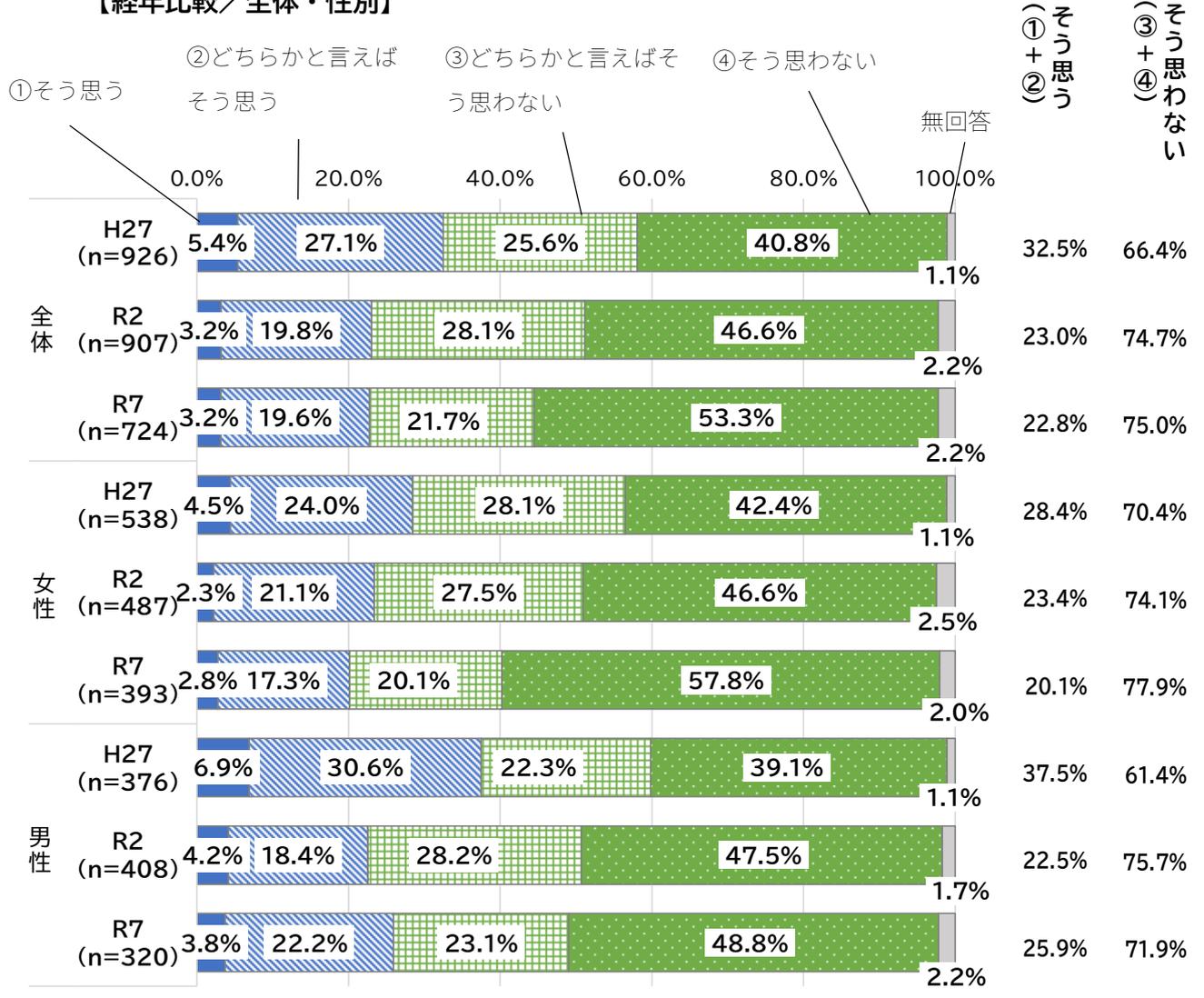


(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであると思う

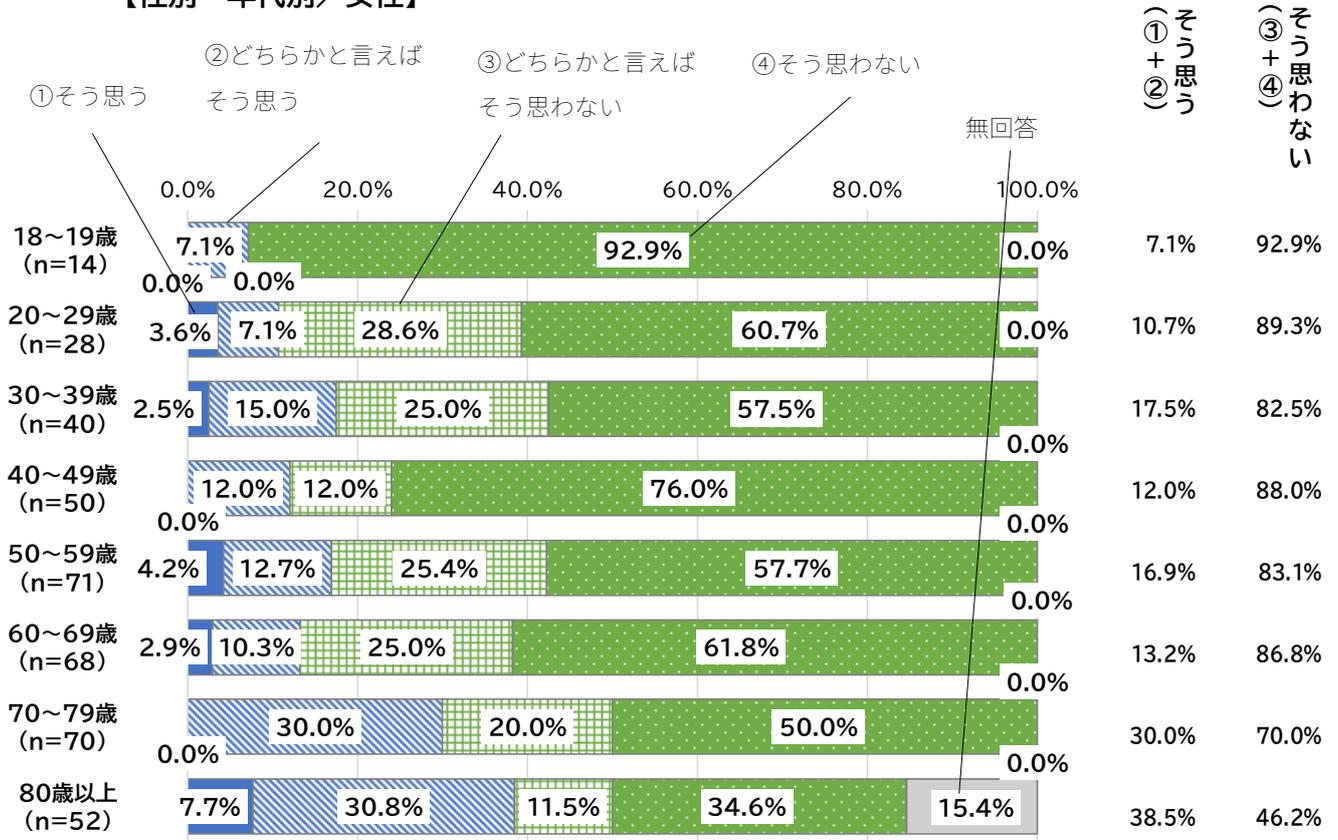
●否定的な意見 (計 75.0%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 77.9%) に対して男性 (計 71.9%) と女性のほうが 6.0 ポイント高い。
- ・過去の松江市調査と比較すると、H27 松江市調査 (計 66.4%) より 8.6 ポイント、R2 松江市調査 (計 74.8%) より 0.2 ポイント増加した。
- ・女性は R2 松江市調査 (計 74.1%) より 3.8 ポイント増加しているのに対して、男性 (75.7%) は 3.8 ポイント減少し、男女で意識の変化に差がある。
- ・女性の回答について年代別にみると、10 歳代から 60 歳代まで 8 割以上が否定的な回答をしているのに対して、80 歳以上の回答割合は計 46.2%と低く、年代によって意識の差が生じている。
- ・性別・年代別に比較すると、10 歳代 (女性計 92.9%、男性計 72.7%、20.2 ポイント差)、20 歳代 (女性計 89.3%、男性計 69.2%、20.1 ポイント差) で男女で意識の差がある。

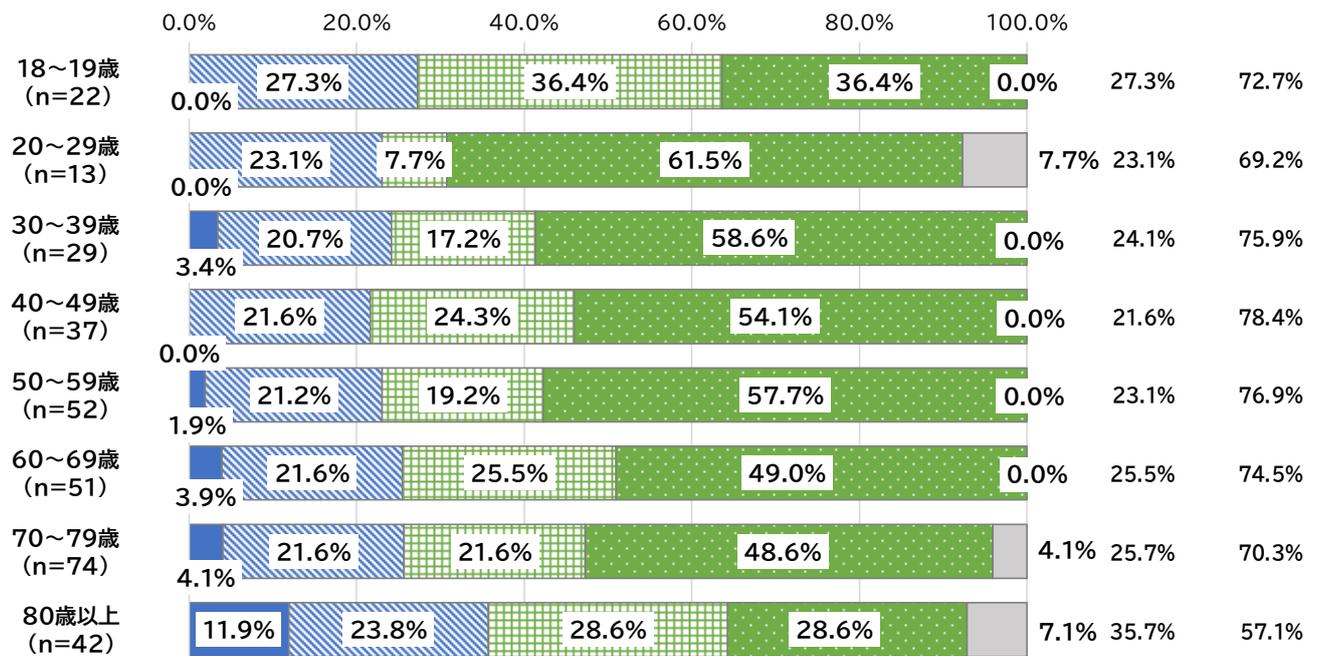
【経年比較／全体・性別】



【性別・年代別／女性】



【性別・年代別／男性】

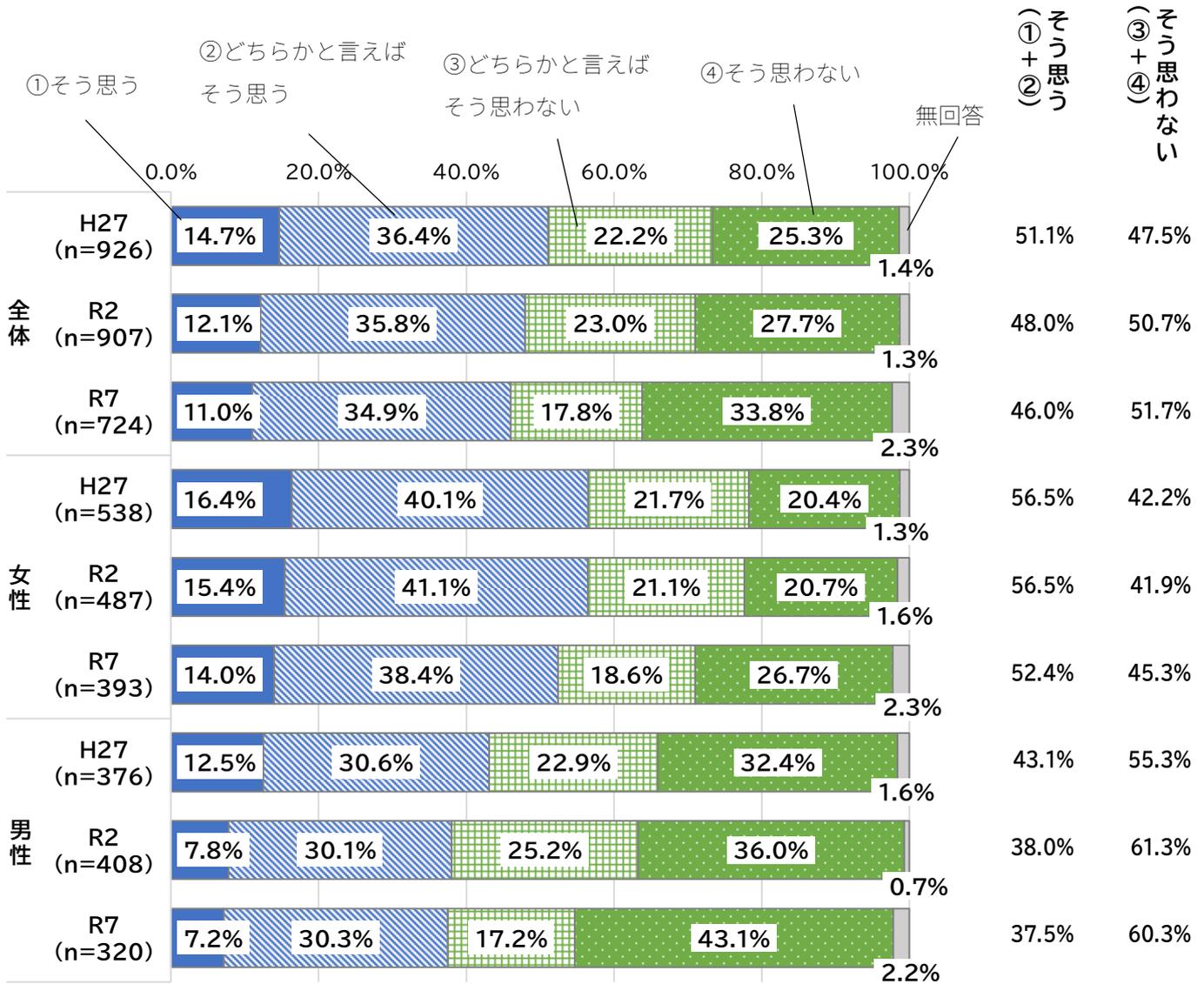


(2) 自治会などの代表は、男性のほうがうまくいくと思う

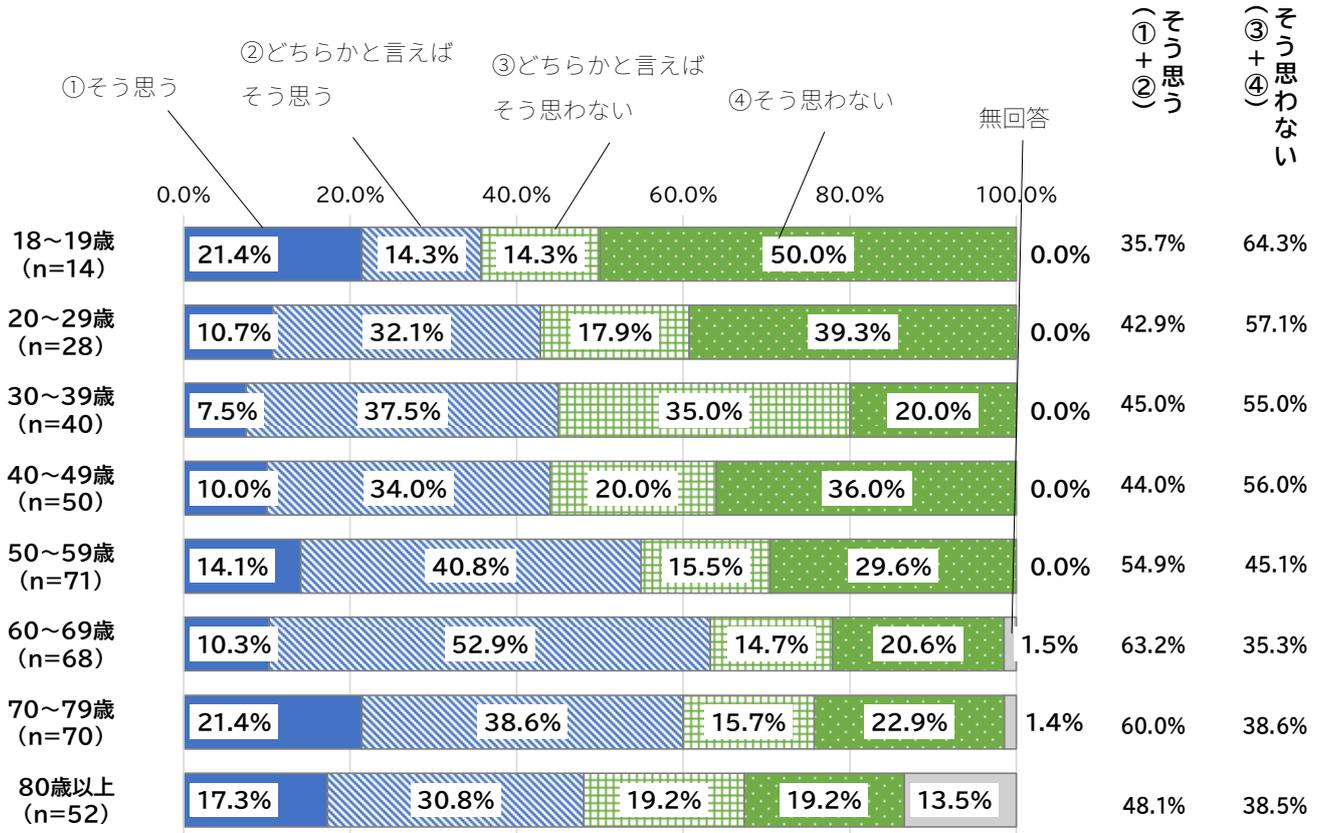
●否定的な意見 (計 51.7%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 45.3%) に対して男性 (計 60.3%) と女性のほうが 15.0 ポイント低い。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 10 歳代 (計 64.3%) と 60 歳代 (計 35.3%) との意識の差が 29.0 ポイントと最も大きくなっている。男性は 20 歳代 (計 84.6%) と 80 歳以上 (計 35.7%) との意識の差が 48.9 ポイントと最も大きくなっており、年代によって意識の差がある。

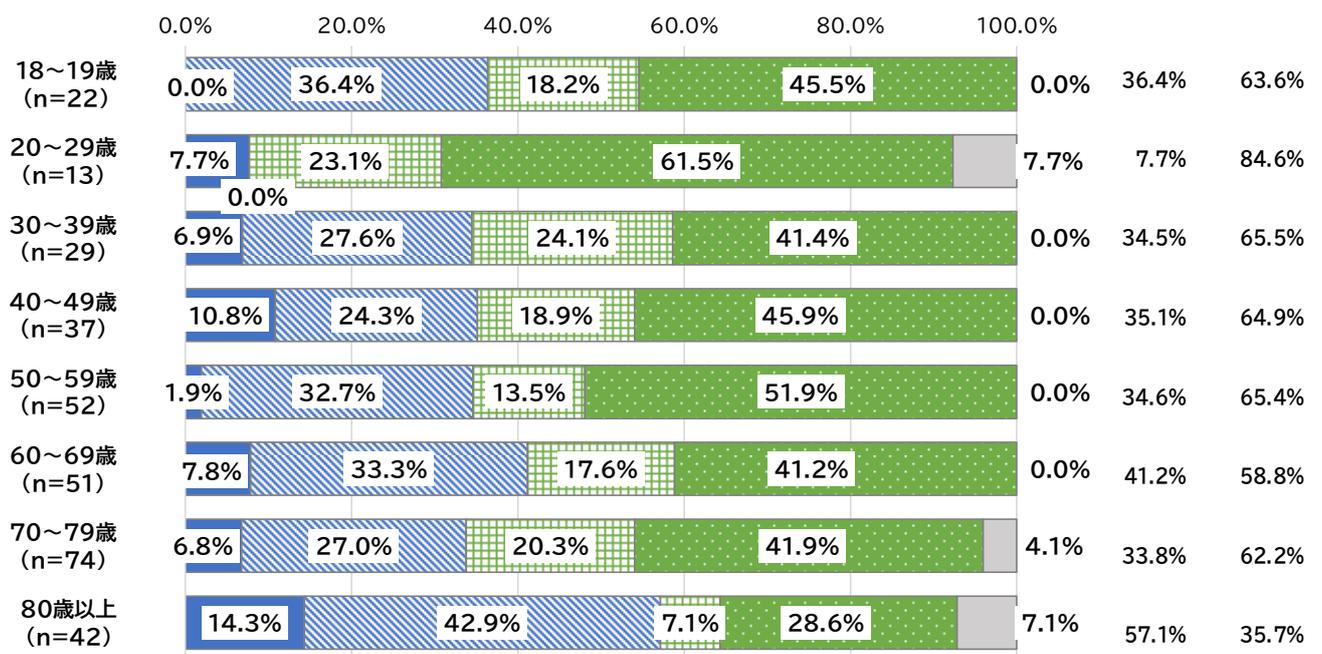
【経年比較／全体・性別】



【性別・年代別／女性】



【性別・年代別／男性】

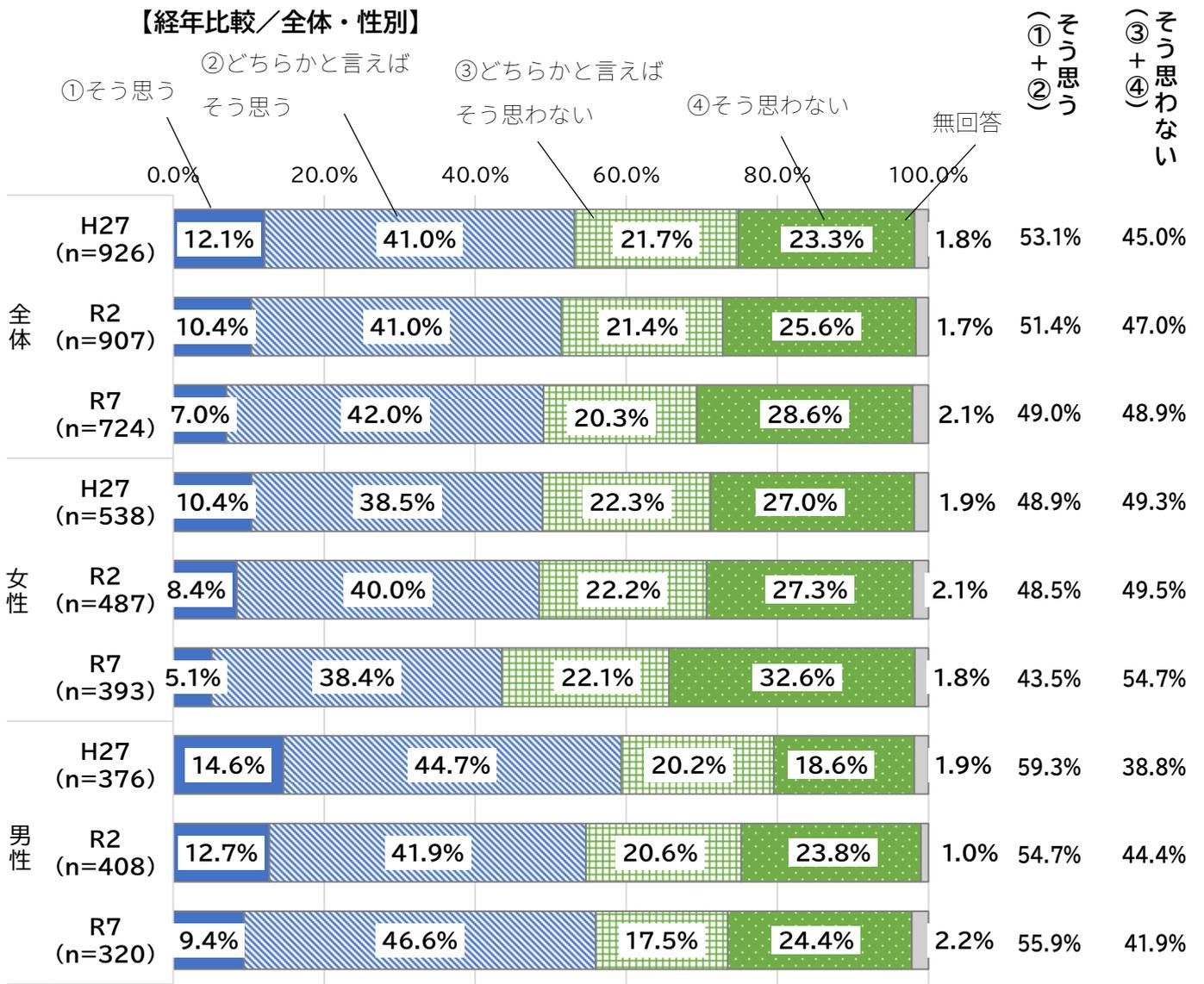


(3) 子育ては、やはり母親でなくてはならないと思う

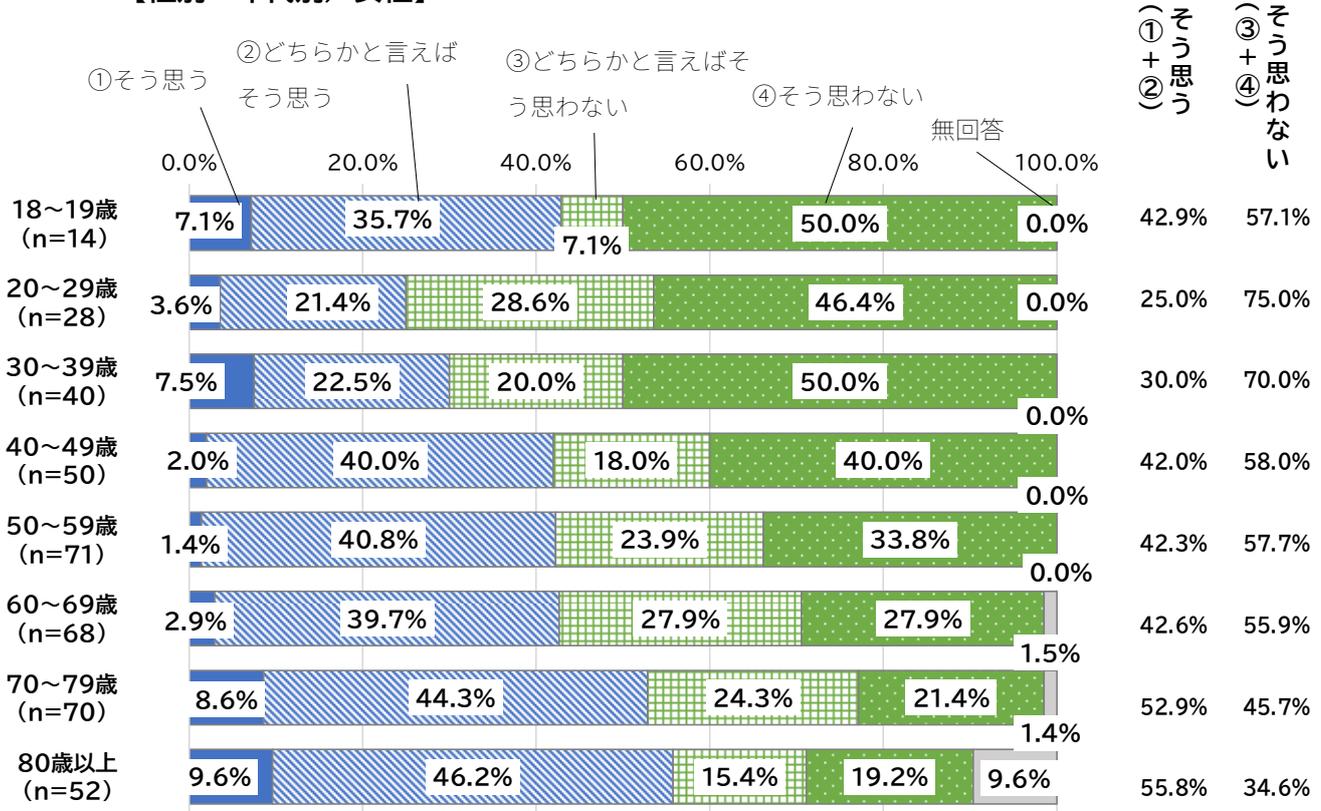
●**否定的な意見 (計 48.9%) について**

- ・性別で比較すると、女性 (計 54.7%) に対して男性 (計 41.9%) と女性のほうが 12.8 ポイント高い。
- ・H27 松江市調査 (計 45.0%) より 3.9 ポイント、R2 松江市調査 (計 47.0%) より 1.9 ポイント増加している。
- ・女性は H27 松江市調査 (計 49.3%) より 5.4 ポイント、R2 松江市調査 (計 49.5%) より 5.2 ポイント増加しているのに対して、男性は H27 松江市調査 (計 38.8%) より 3.1 ポイント増加、R2 松江市調査 (計 44.4%) より 2.5 ポイント減少しており、男女で意識の変化に差がある。
- ・性別・年代別に比較すると、女性は 20 歳代 (計 75.0%)、男性は 30 歳代 (計 72.4%) の回答割合が最も高くなっている。一方、男女ともに 80 歳以上 (女性計 34.6%、男性計 26.2%) の回答割合が最も低くなっており、女性では 20 歳代 (計 75.0%) と 80 歳以上 (計 34.6%) の間に 40.4 ポイントの差、男性でも 30 歳代 (計 72.4%) と 80 歳以上 (計 26.2%) の間に 46.2 ポイントの差があり、年代によって意識の差が生じている。

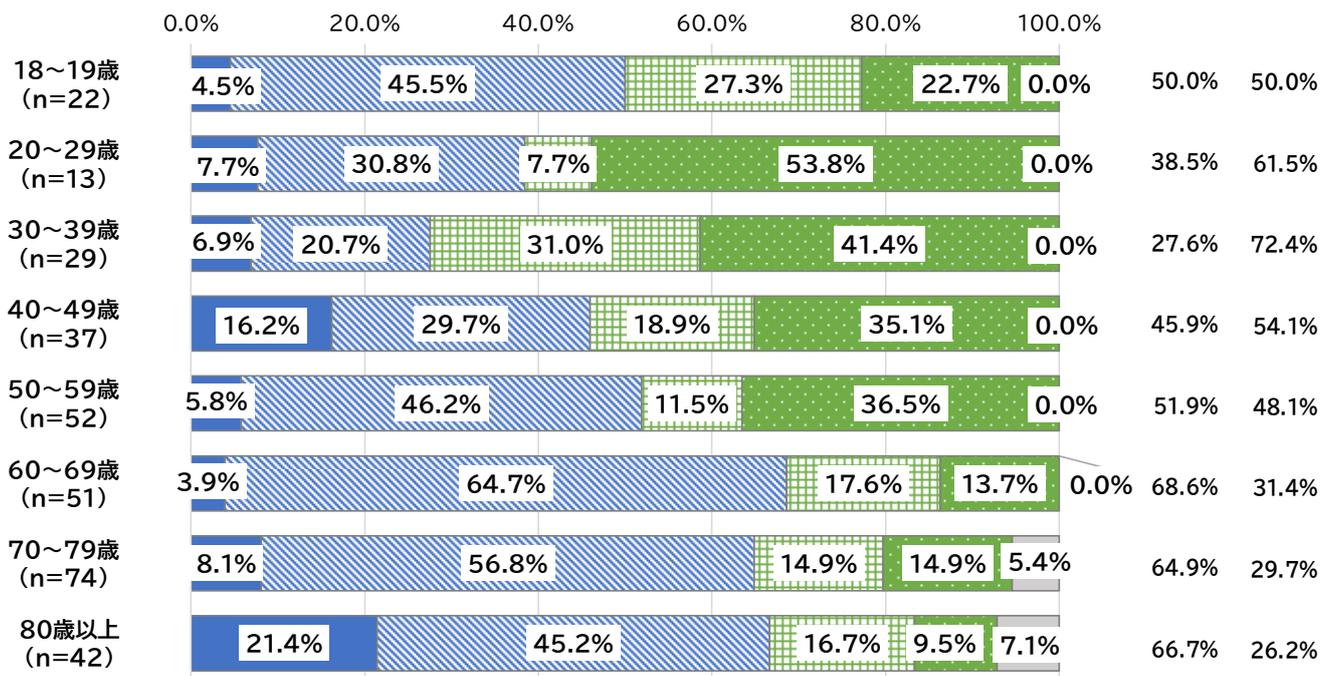
【経年比較／全体・性別】



【性別・年代別／女性】



【性別・年代別／男性】

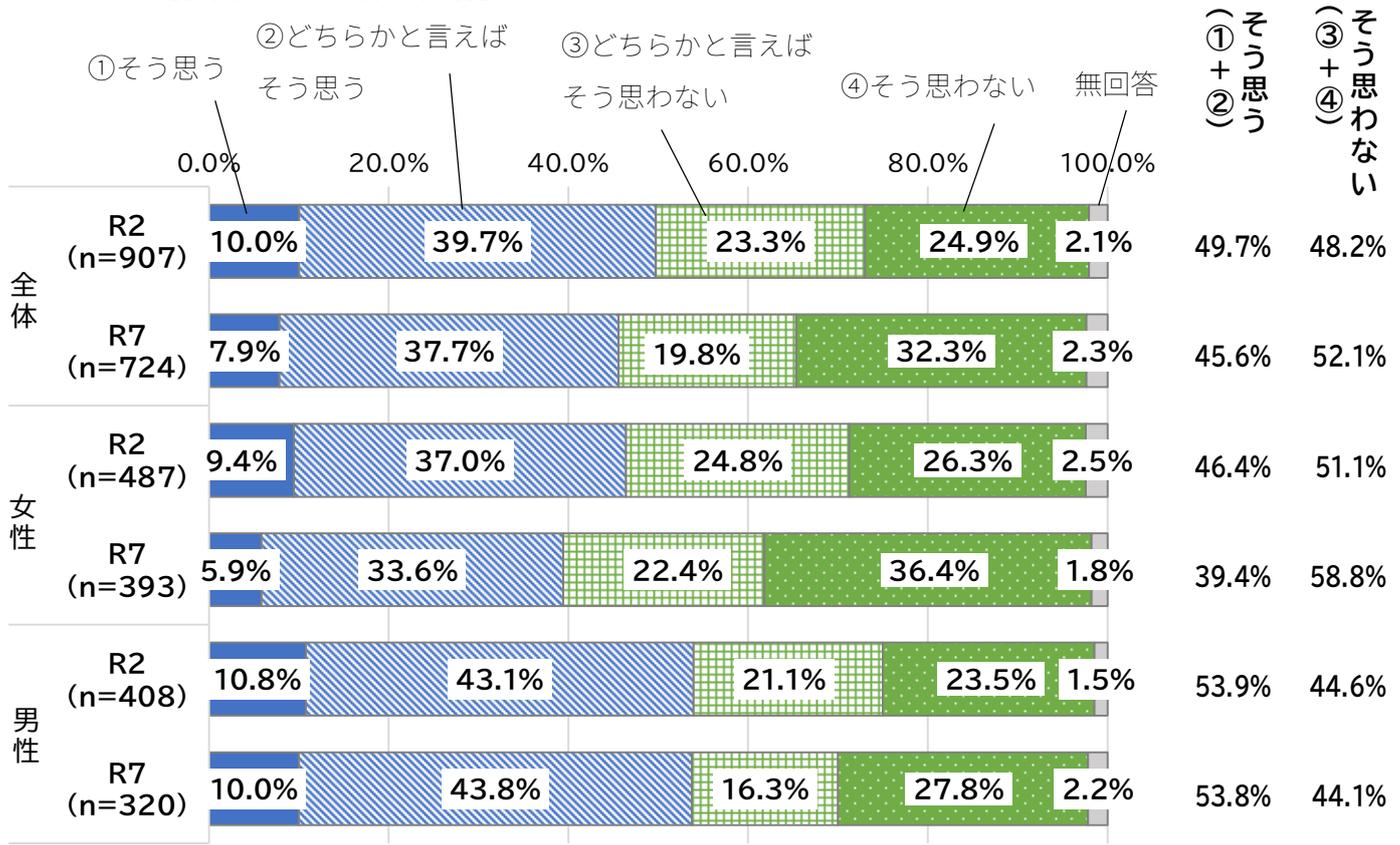


(4) 家事、介護は女性のほうが向いていると思う

●否定的な意見 (計 52.1%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 58.8%) に対して、男性 (計 44.1%) と女性のほうが 14.7 ポイント高い。
- ・R2 松江市調査 (計 48.2%) より 3.9 ポイント増加している。
- ・女性は R2 松江市調査 (計 51.1%) より 7.7 ポイント増加しているのに対して、男性は R2 松江市調査 (計 44.6%) より 0.5 ポイント減少しており、男女によって意識の変化に差がある。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 20 歳代 (計 78.6%)、男性は 30 歳代 (計 79.3%) が最も高くなっている一方で、女性 80 歳以上 (計 38.5%)、男性 70 歳代 (計 24.3%) の回答割合が低く、年代によって意識の差があることがわかる。

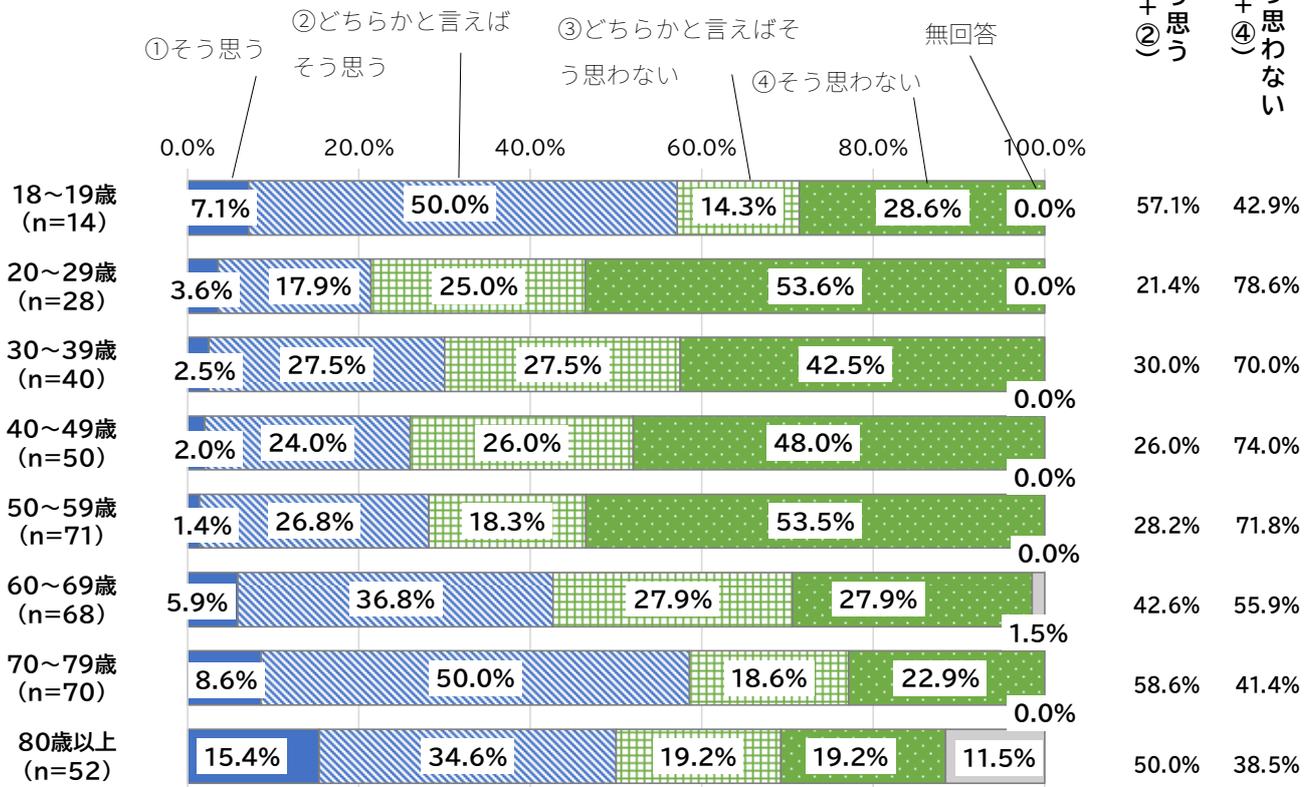
【前回比較／全体・性別】



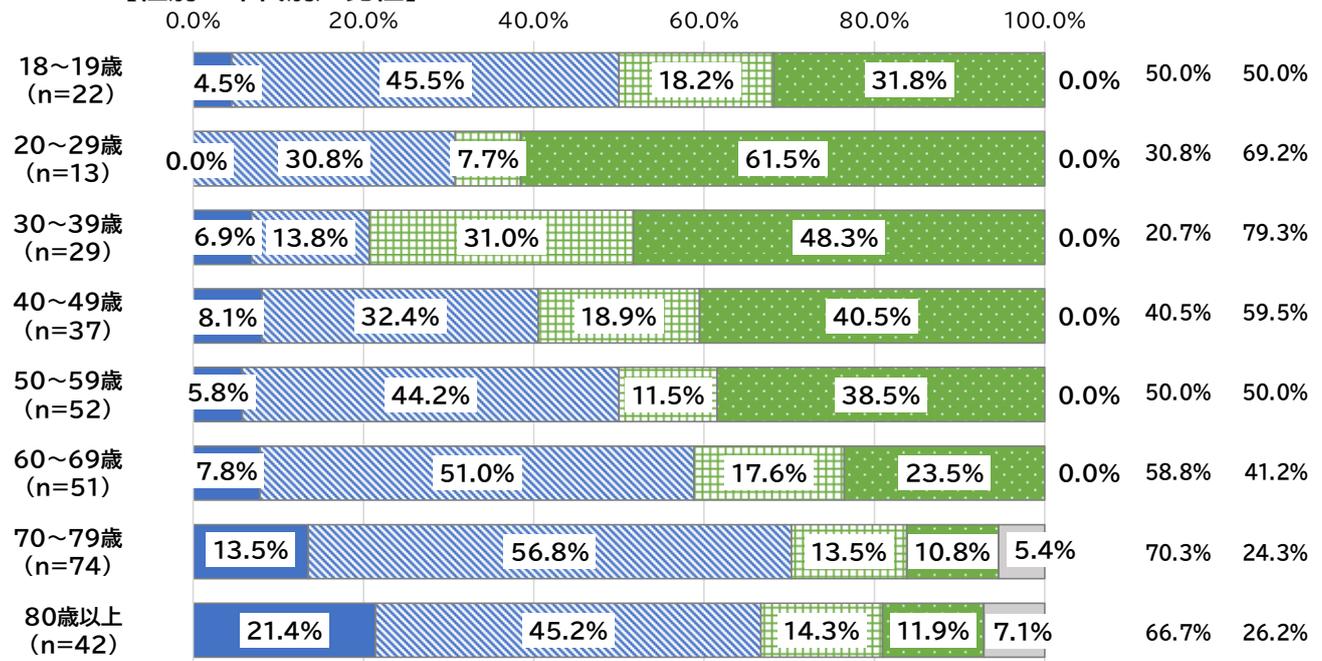
※H27年には比較対象の設問がないため、R2年とのみ比較。

【性別・年代別／女性】

(1) + (2) そう思う  
(3) + (4) そう思わない



【性別・年代別／男性】

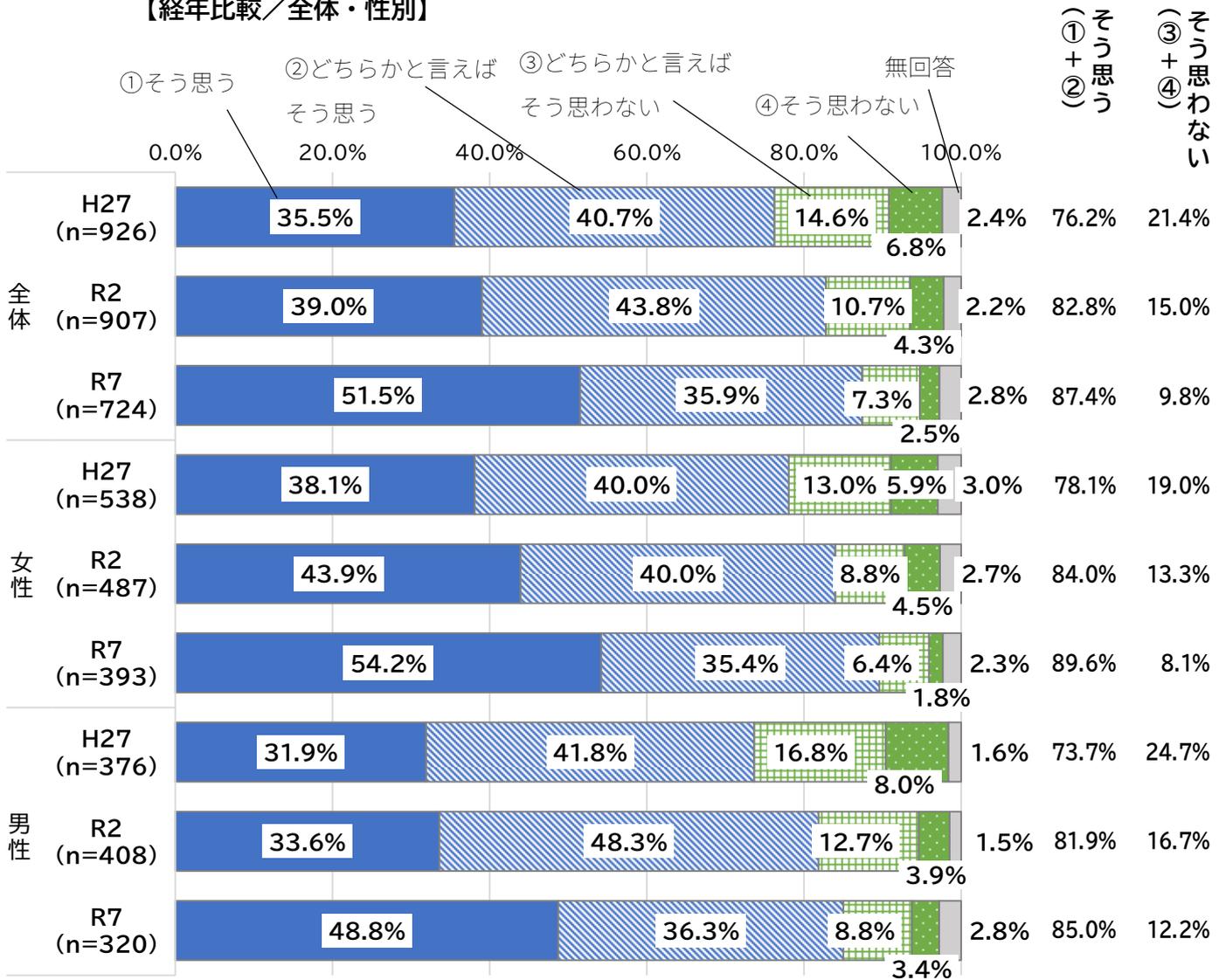


(5) 男性も育児休業や介護休業を取得すべきだと思う

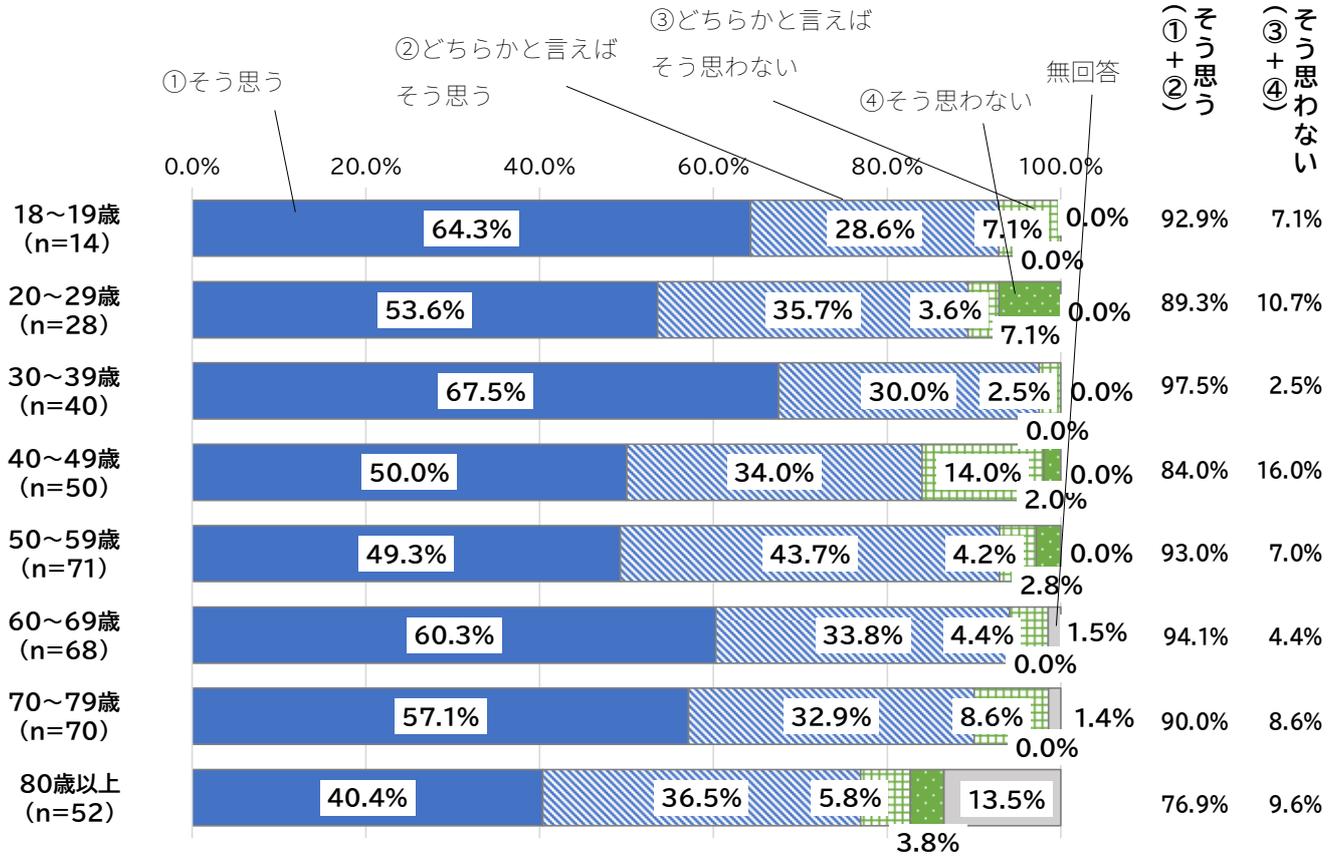
●肯定的な意見 (計 87.4%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 89.6%) に対して、男性 (計 85.0%) と女性のほうが 4.6 ポイント高い。
- ・H27 松江市調査 (計 76.2%) と比較して 11.2 ポイント、R2 松江市調査 (計 82.8%) と比較して 4.6 ポイント増加している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 30 歳代 (計 97.5%)、男性は 20 歳代 (計 100%) が最も高くなっている一方で、男女ともに 80 歳以上 (女性計 76.9%、男性計 78.6%) の回答割合が低くなっており、年代によって意識の差がある。

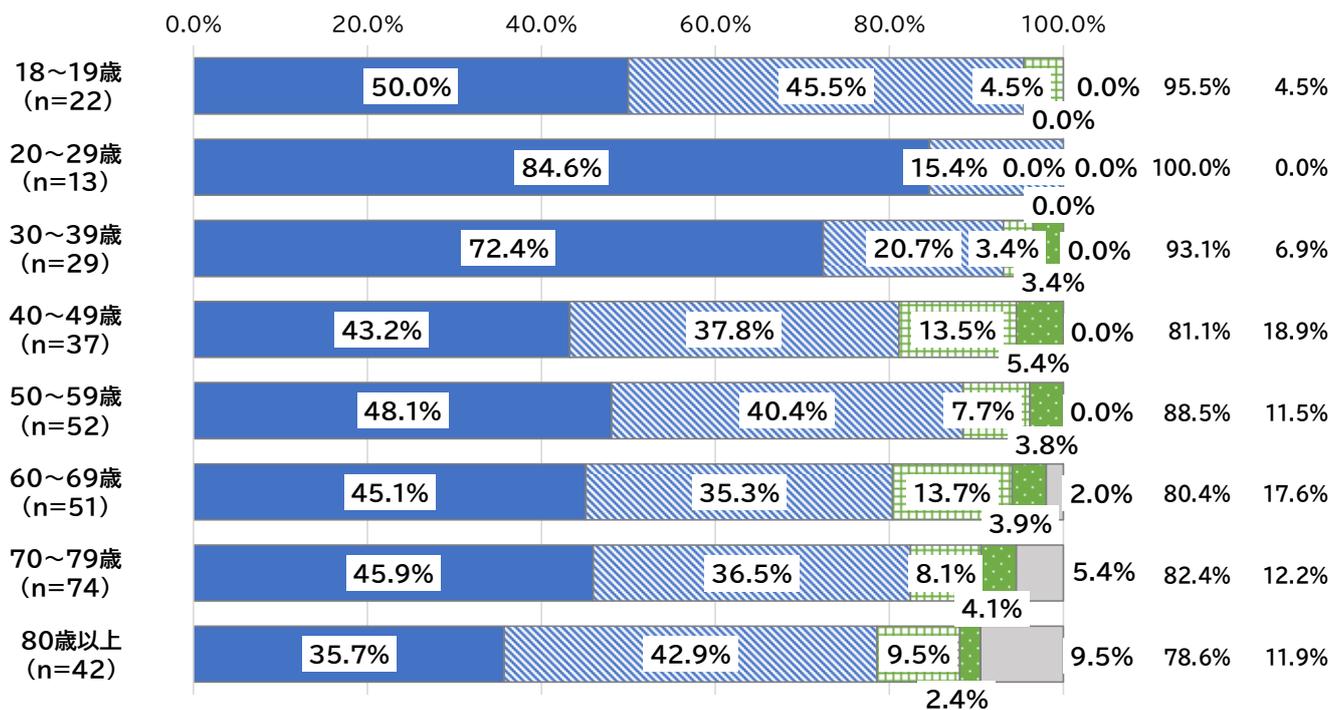
【経年比較／全体・性別】



【性別・年代別／女性】



【性別・年代別／男性】

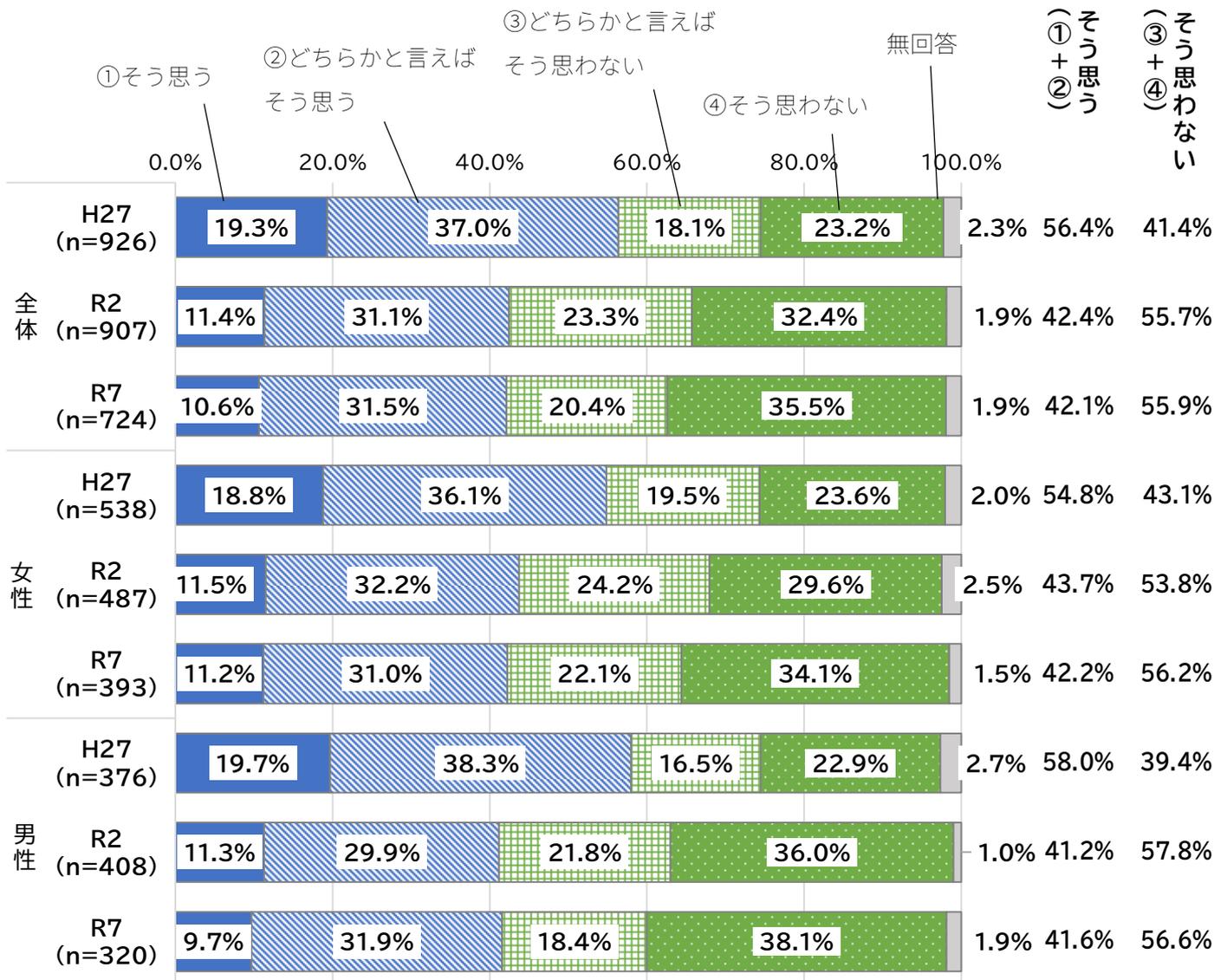


(6) 世帯主に男性になるのは当然だと思う

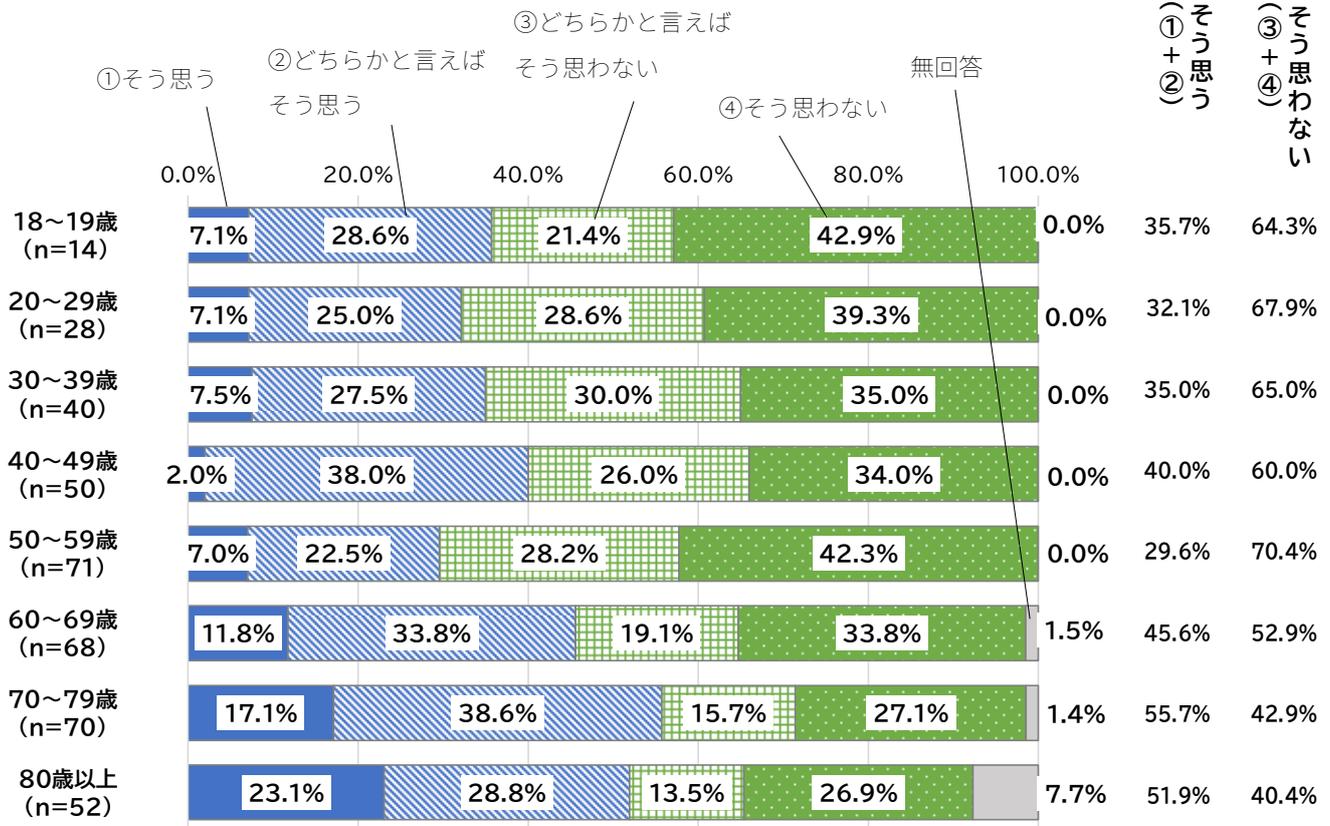
●否定的な意見 (計 55.9%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 56.2%) に対して、男性 (計 56.6%) と女性のほうが 0.4 ポイント低い。
- ・H27 松江市調査 (計 41.4%) より 14.5 ポイント、R2 松江市調査 (計 55.7%) より 0.2 ポイント増加している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 50 歳代 (計 70.4%)、男性は 60 歳代 (計 66.7%) が最も高い一方で、女性は 80 歳以上 (計 40.4%)、男性は 70 歳代 (計 45.9%) の回答割合が低くなっており、年代で意識の差があることがわかる。

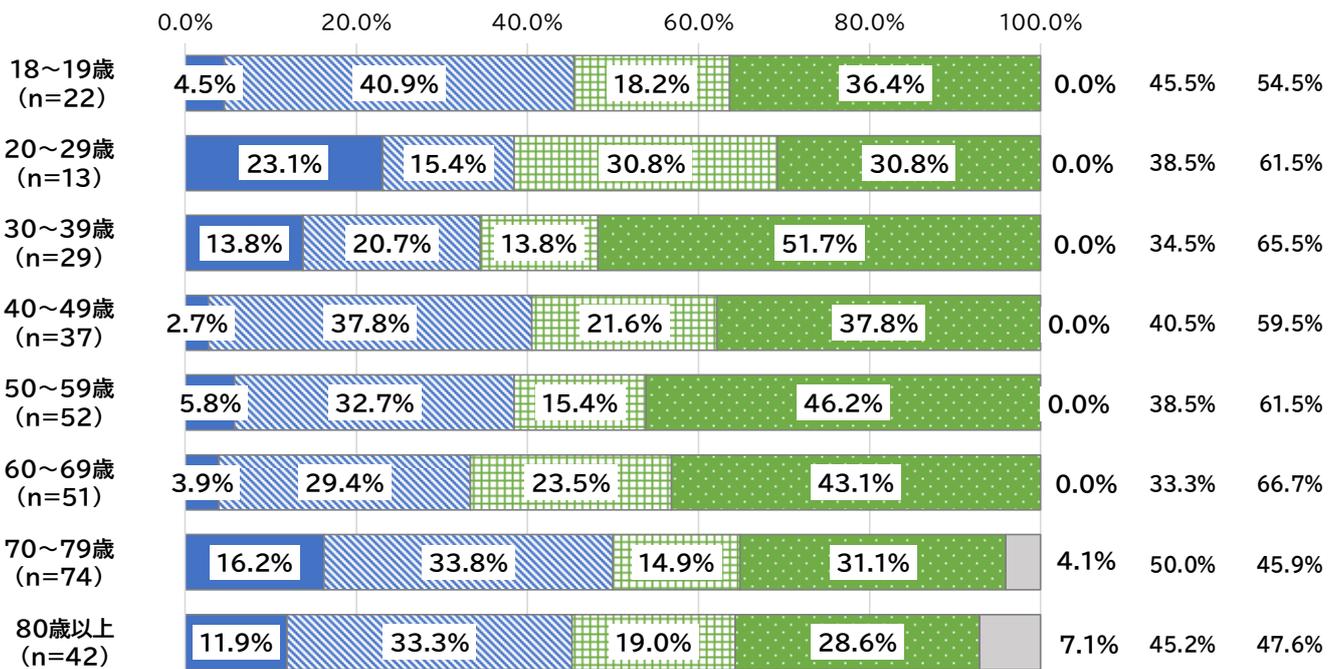
【経年比較／全体・性別】



【性別・年代別／女性】



【性別・年代別／男性】

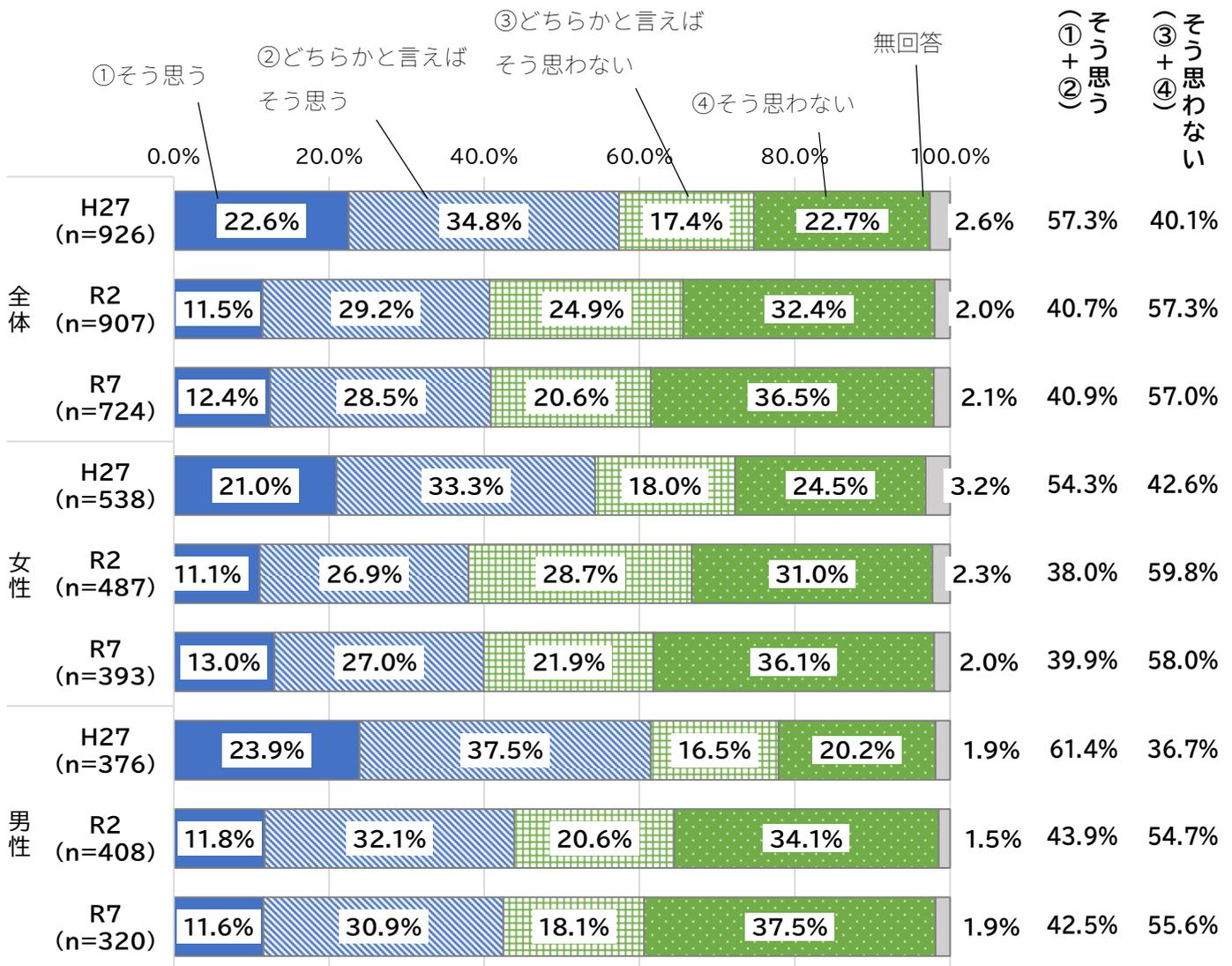


(7) 結婚したら女性は、夫の姓に改姓したほうが良いと思う

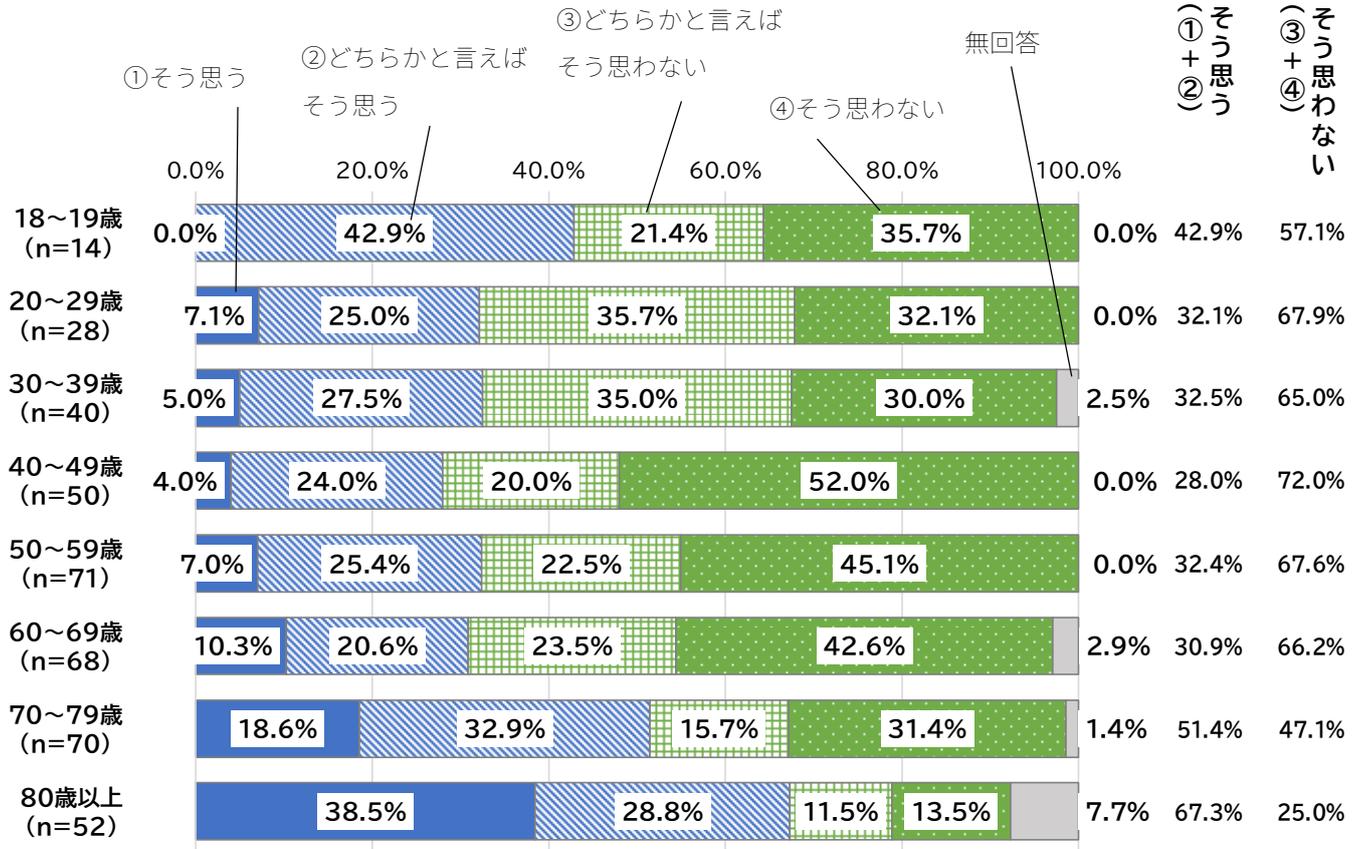
●否定的な意見 (計 57.0%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 58.0%) に対して男性 (計 55.6%) と女性のほうが 2.4 ポイント高い。
- ・過去の松江市調査と比較すると、H27 松江市調査 (計 40.1%) より 16.9 ポイント増加し、R2 松江市調査 (計 57.3%) より 0.3 ポイント減少している。
- ・女性は R2 松江市調査 (計 59.8%) より 1.8 ポイント減少しているのに対して、男性は R2 松江市調査 (計 54.7%) より 0.9 ポイント増加しており、男女によって意識の変化に差がある。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は 40 歳代 (計 72.0%)、男性は 30 歳代 (計 75.9%) が最も高い一方で、男女ともに 80 歳以上 (女性計 25.0%、男性計 31.0%) の回答割合が低くなっており、年代によって意識の差があることがわかる。

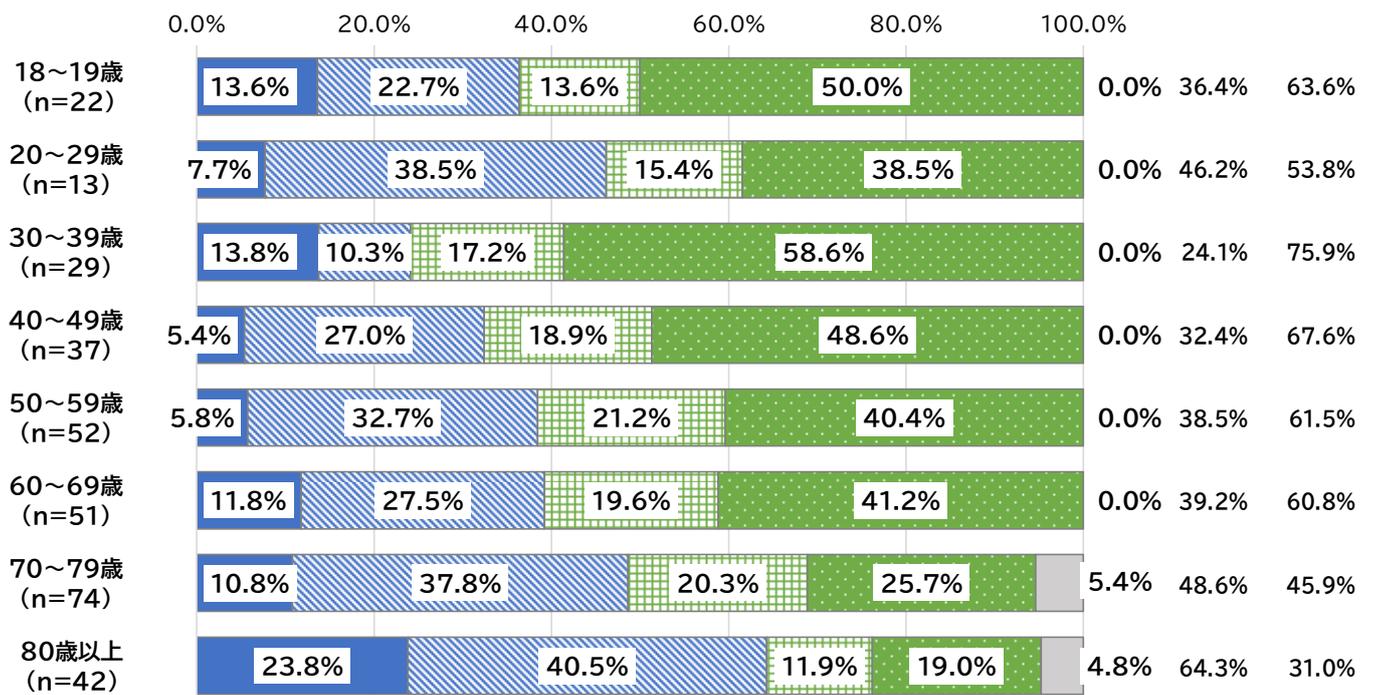
【経年比較／全体・性別】



【性別・年代別／女性】



【性別・年代別／男性】

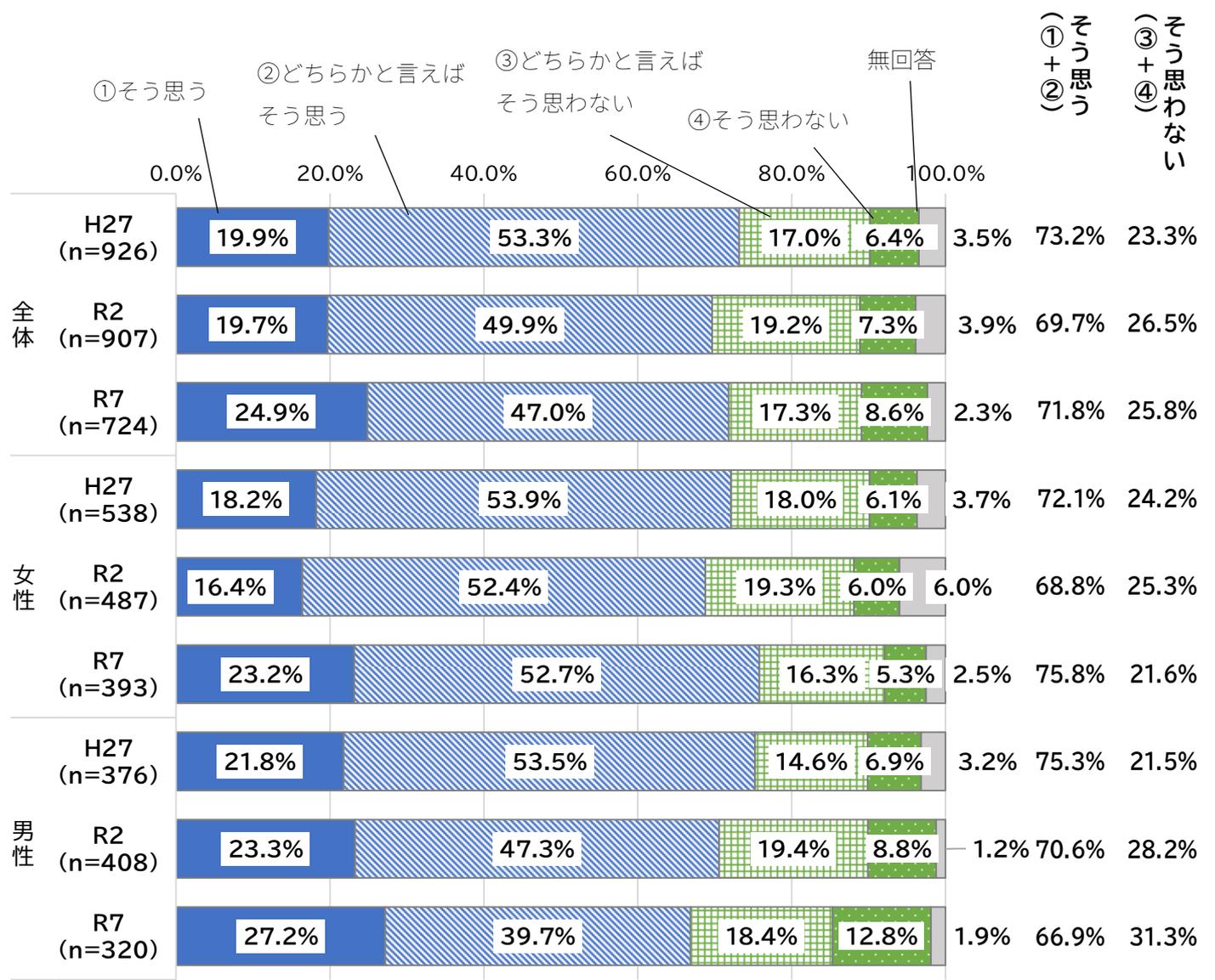


(8) 男女共同参画社会は、だれもが生きやすい社会だと思う

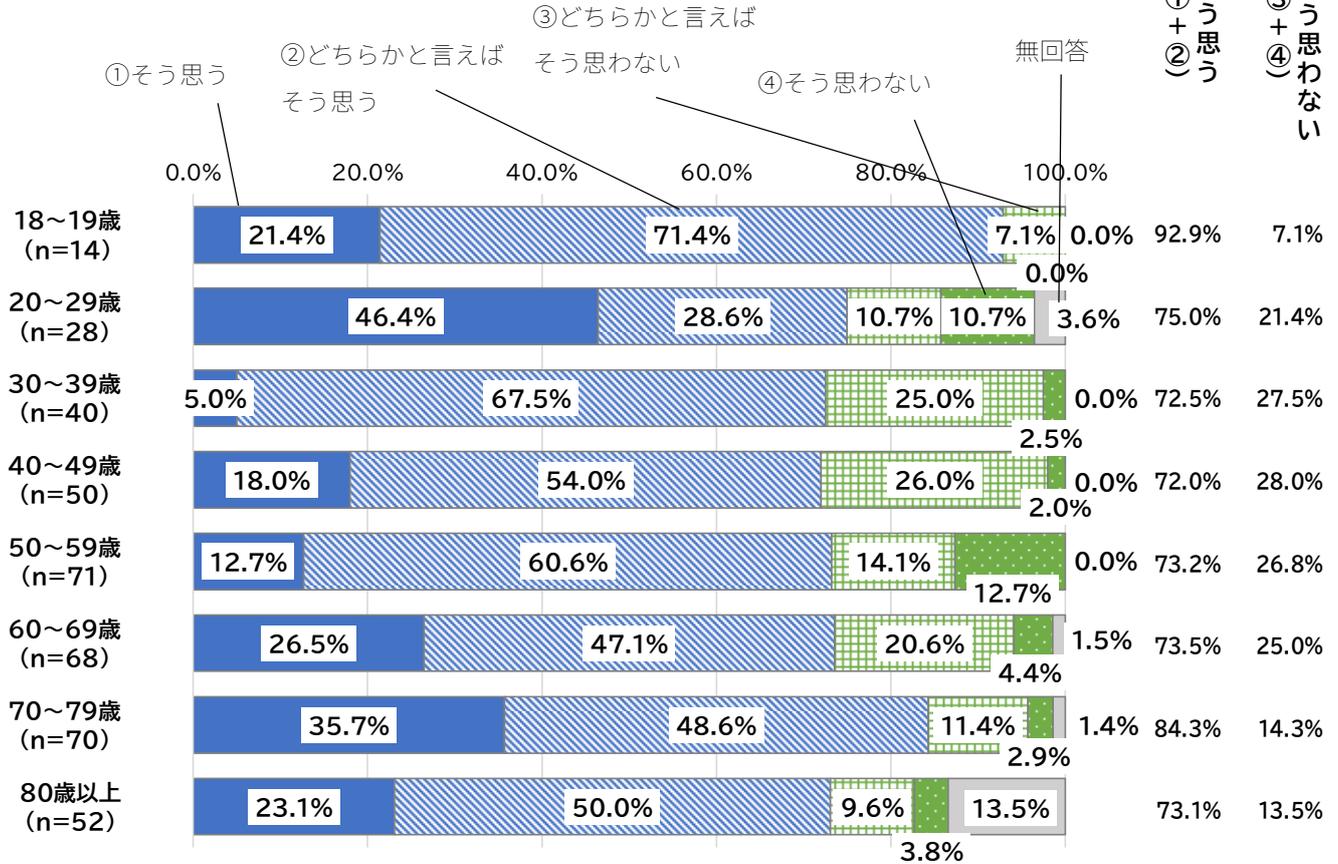
●肯定的な意見 (計 71.8%) について

- ・性別で比較すると、女性 (計 75.8%) に対して、男性 (計 66.9%) と、女性のほうが 8.9 ポイント高い。
- ・H27 松江市調査 (計 73.2%) より 1.4 ポイント減少し、R2 松江市調査 (計 69.7%) より 2.1 ポイント増加している。
- ・女性は R2 松江市調査 (計 68.8%) より 7.0 ポイント増加しているのに対して、男性は R2 松江市調査 (計 70.6%) と比較して 3.7 ポイント減少しており、男女によって意識の変化に差がある。
- ・性別・年代別で比較すると、男女ともに 10 歳代 (女性計 92.9%、男性計 81.8%) が最も高い一方で、男女ともに 40 歳代 (女性計 72.0%、男性計 35.1%) の回答割合が低くなっており、年代別で意識の差がある。

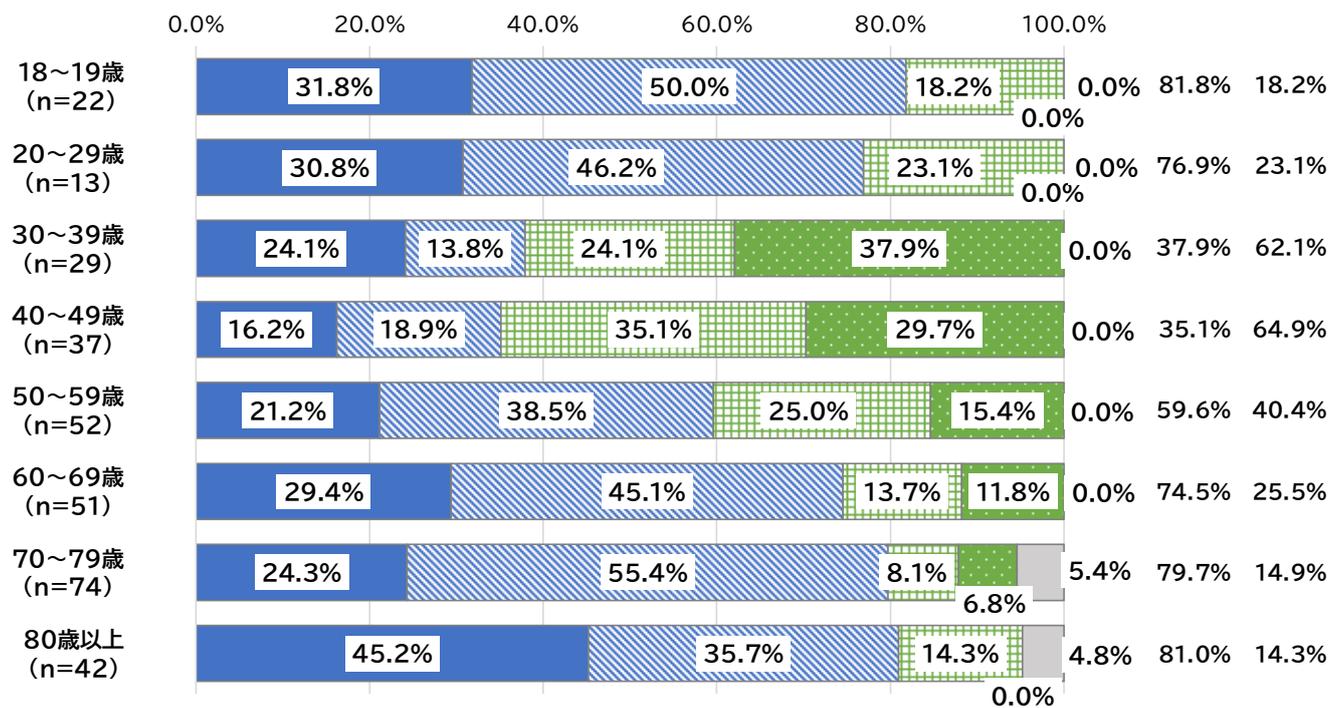
【経年比較／全体・性別】



【性別・年代別／女性】



【性別・年代別／男性】



## ■女性の社会参画について

### 問3 市の政策について女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか

- ・市の政策への女性の意見の反映度について「十分反映されている」(3.9%)、「ある程度反映されている」(55.5%)と半数以上の方は女性の意見が反映されていると感じている。
- ・一方、「ほとんど(全く)反映されていない」(2.9%)、「あまり反映されていない」(27.6%)と女性の意見が反映されていないと考えている方も3割程度存在することがわかる。

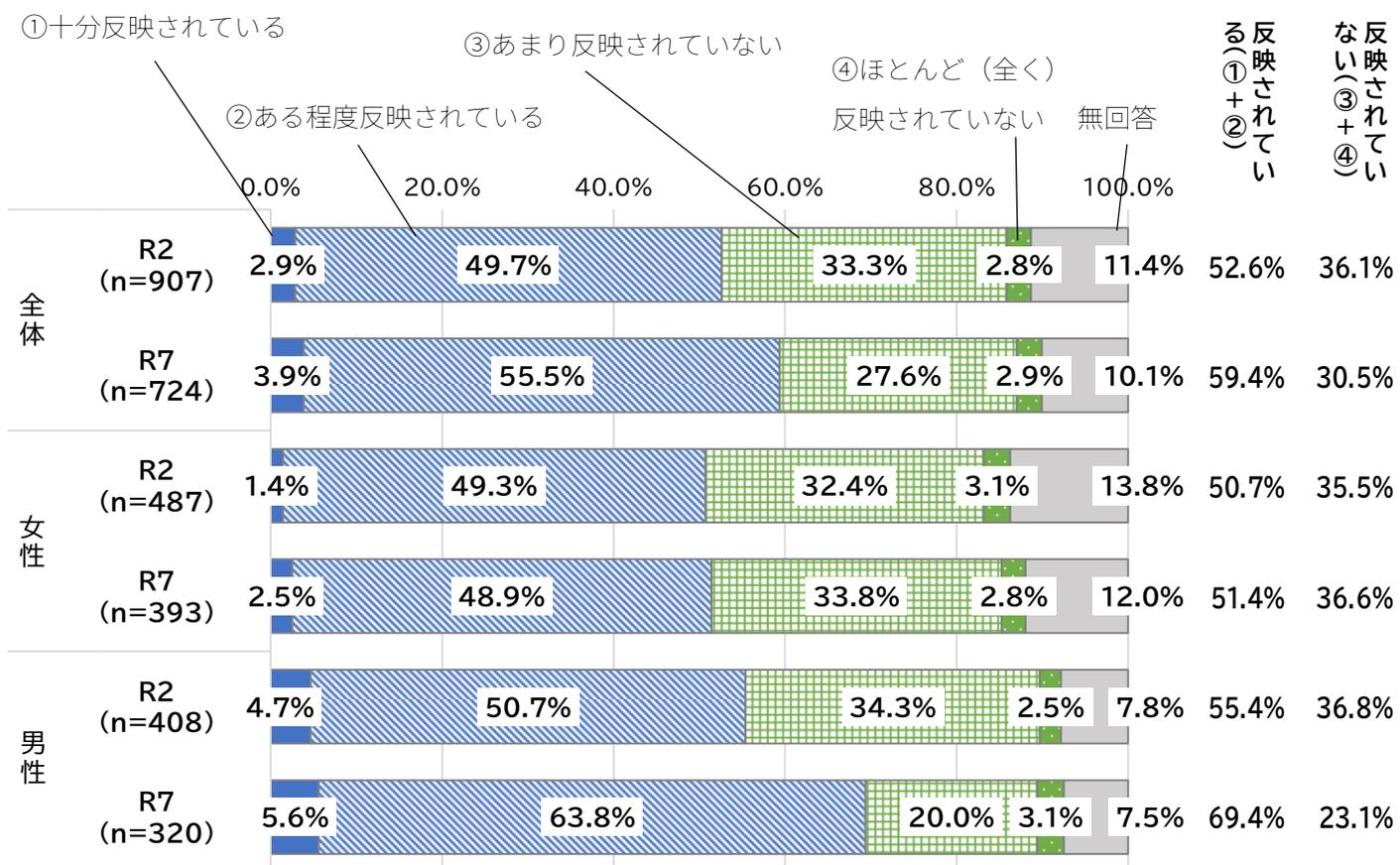
#### ●「反映されている」と回答した方(計59.4%)について

- ・性別で比較すると、女性(計51.4%)に対して男性(計69.4%)と女性のほうが18.0ポイント低い。
- ・女性はR2松江市調査(計50.7%)より0.7ポイント増加、男性はR2松江市調査(計55.4%)より14.0ポイント増加しており、男女ともに増加している。特に男性のほうが大きく増加している。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は80歳以上(計69.2%)、男性は10歳代(81.8%)が最も高く、一方で、女性は50歳代(計43.7%)、男性は20歳代(計53.8%)からの回答割合が低くなっている。
- ・性別・配偶関係別に見ると、女性は配偶関係にない方が配偶関係にある方より「反映されている(計)」と回答した割合が高い。(配偶関係にない計57.8%、配偶関係にある計48.9%)。一方、男性は配偶関係にある方が、配偶関係にない方より反映されていると回答した割合が高い(配偶関係にある計69.8%、配偶関係にない計68.0%)。

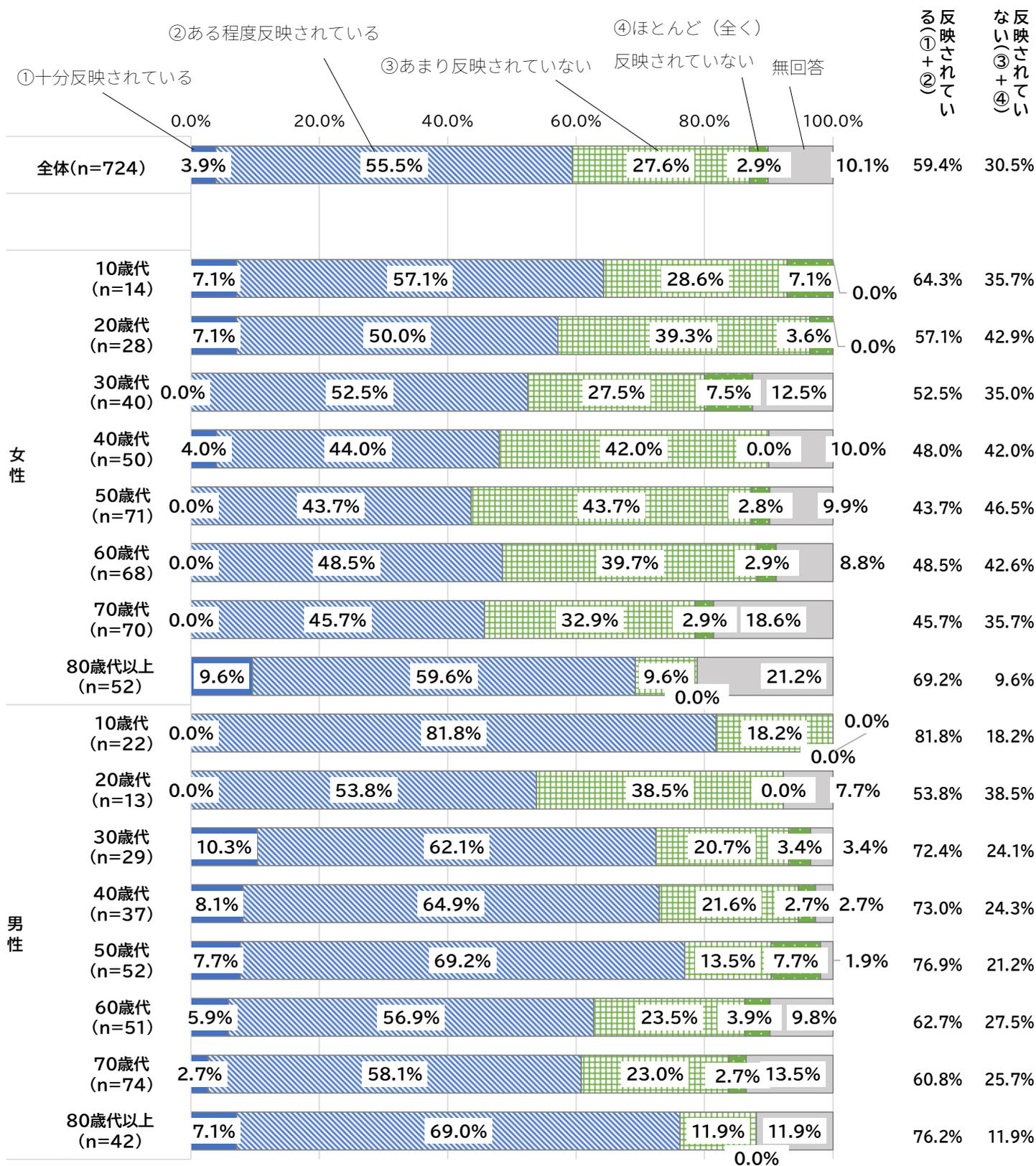
#### ●「反映されていない」と回答した方(計30.5%)について

- ・性別で比較すると、女性(計36.6%)に対して、男性(計23.1%)と女性のほうが、13.5ポイント高い。
- ・女性はR2松江市調査(計35.5%)より1.1ポイント増加しているのに対して、男性はR2松江市調査(計36.8%)より13.7ポイント減少しており、男女で意識の変化に差があることがわかる。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は50歳代(計46.5%)、男性は20歳代(計38.5%)が最も高く、一方で、男女ともに80歳以上(女性計9.6%、男性計11.9%)の割合が低くなっており、年代により意識の差があることがわかる。

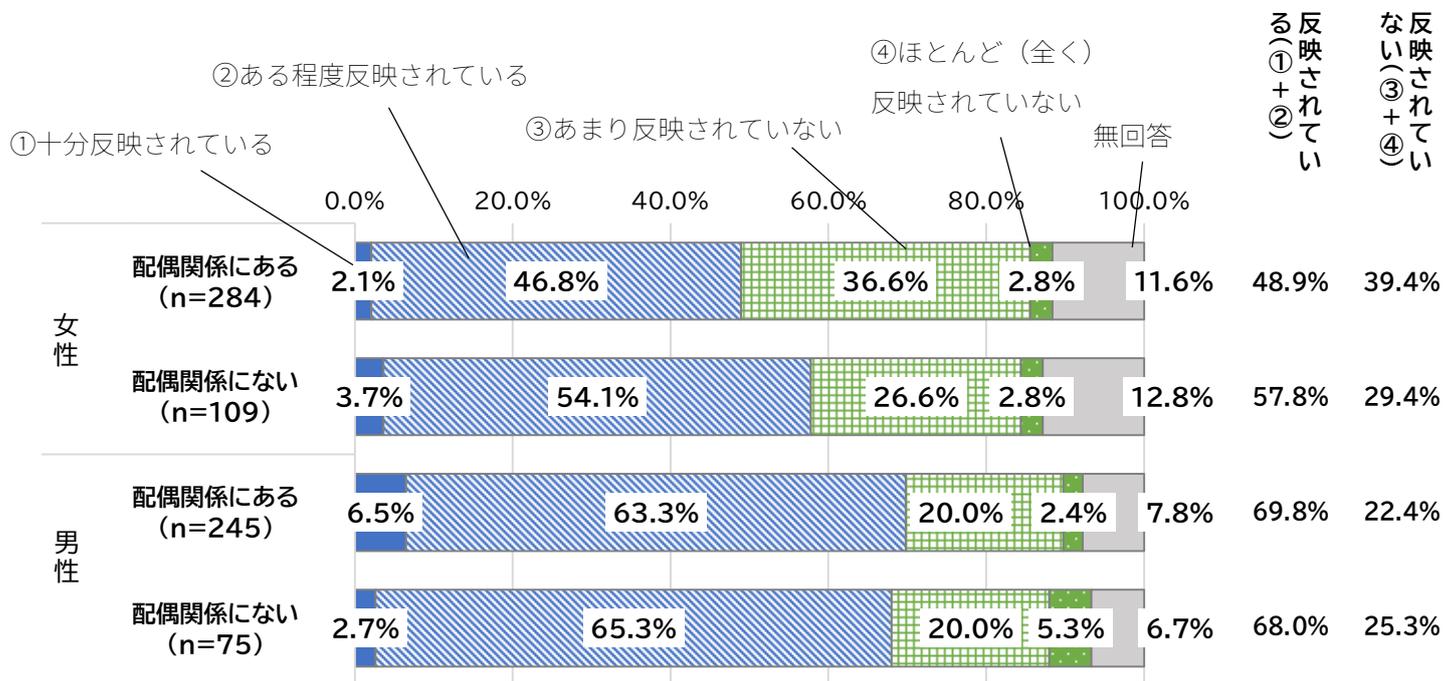
### 【前回比較／全体・性別】



### 【全体・性別・年代別】



## 【性別・配偶関係別】



※本調査では、配偶者（パートナーを含む）と同居している者を「配偶関係にある」ものとして扱う。

※問7または問8のいずれかに回答がある場合は「配偶関係にある」ものとして扱い、両方が無回答の場合のみ「配偶関係にない」ものとして扱う。

問3-2 女性の意見や考え方が反映されていないと思う理由は何ですか  
(問3で「あまり反映されていない」「ほとんど(全く)反映されていない」と答えた方)

・女性の意見が反映されていない理由としては、「政策・方針決定の場に女性が少ない」(36.2%)が最も高く、次いで「女性の意見や考え方に対して市議会や行政機関の関心が薄い」(25.8%)となっている。

●「政策・方針決定の場に女性が少ない」と回答した方(36.2%)について

- ・性別で比較すると、女性(36.8%)に対して、男性(36.5%)と女性のほうが0.3ポイント高い。
- ・R2 松江市調査(35.8%)より0.4ポイント増加している。

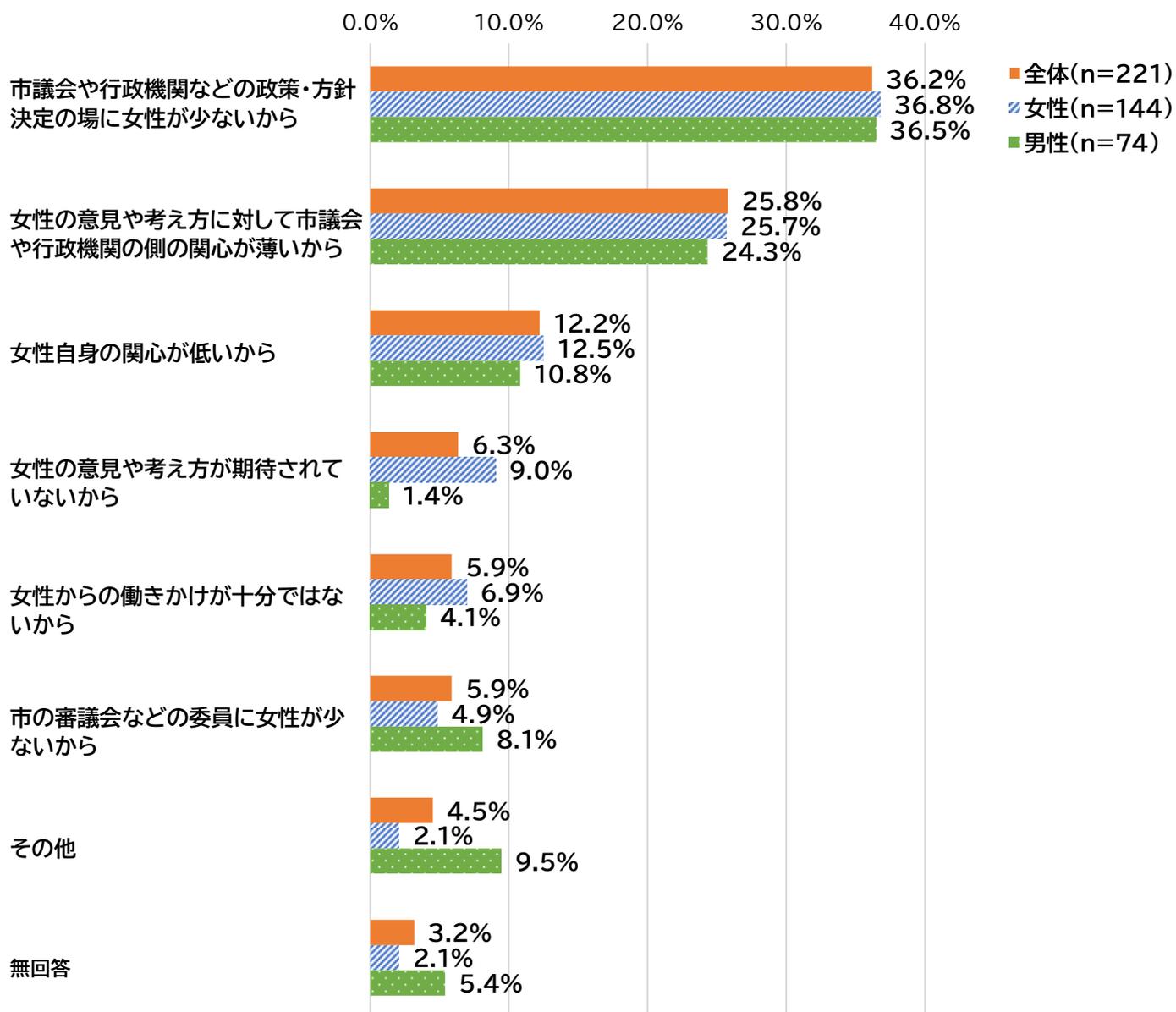
●「女性の意見や考え方に対して市議会や行政機関の関心が薄い」と回答した方(25.8%)について

- ・性別で比較すると、女性(25.7%)に対して男性(24.3%)と女性のほうが1.4ポイント高い。
- ・R2 松江市調査(24.8%)より1.0ポイント増加している。

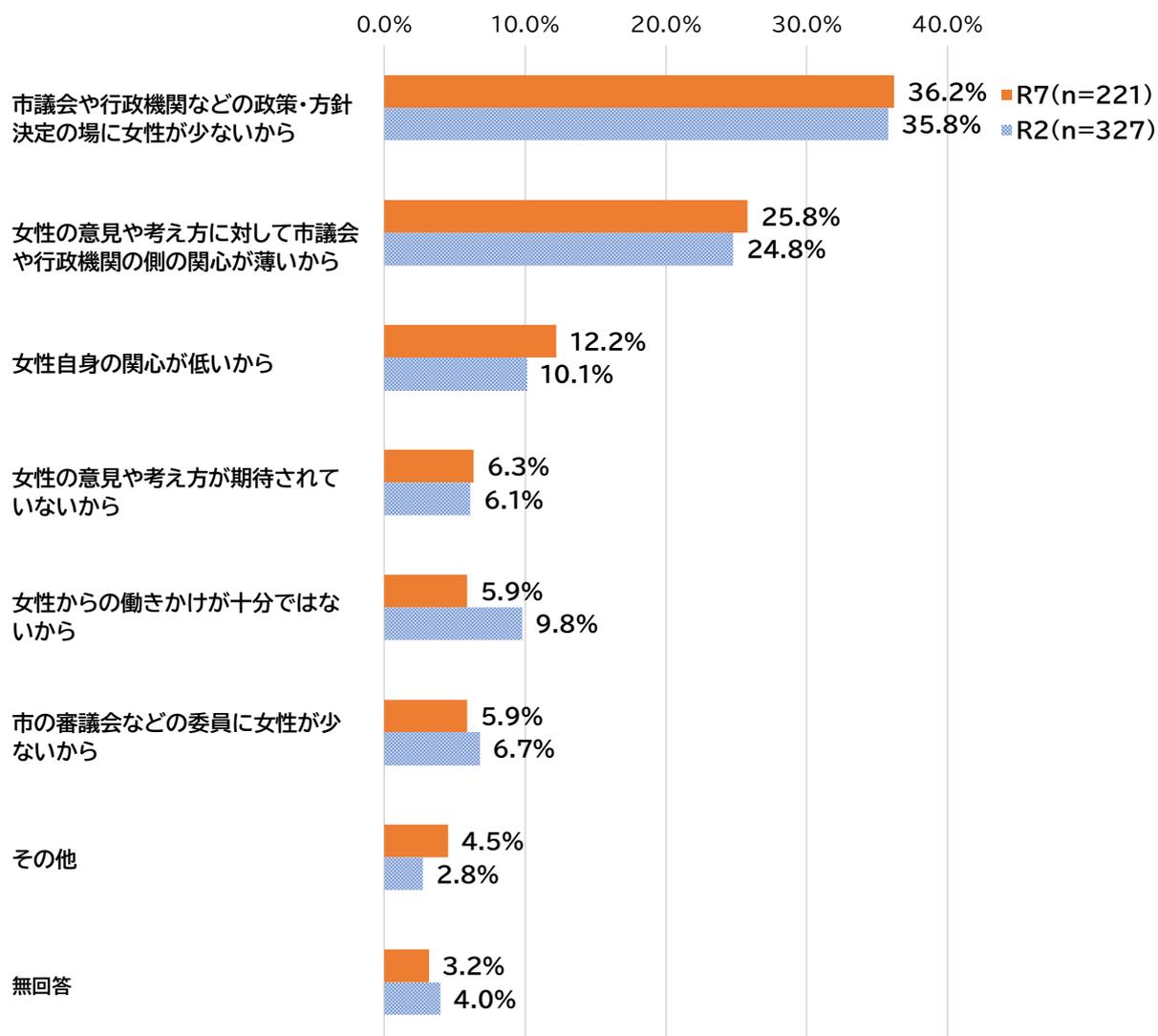
●「女性の意見や考え方が期待されていないから」と回答した方(6.3%)について

- ・性別で比較すると、男女の差が最も大きくなった項目であり、女性(9.0%)に対して男性(1.4%)と7.6ポイントの差がある。

【全体・性別／回答別】（回答割合が高い順）



【前回比較／回答別】（回答割合が高い順）



■女性と仕事について

問4 一般的に、女性が仕事をする事について、あなたはどのように考えますか。

・「こどもができてもずっと仕事を続ける方がよい」(55.5%)と回答した割合が最も高く、5割以上を占めていた。次いで「こどもができたなら仕事を辞め、大きくなったら再び仕事に就く方がよい」(16.9%)となっている。

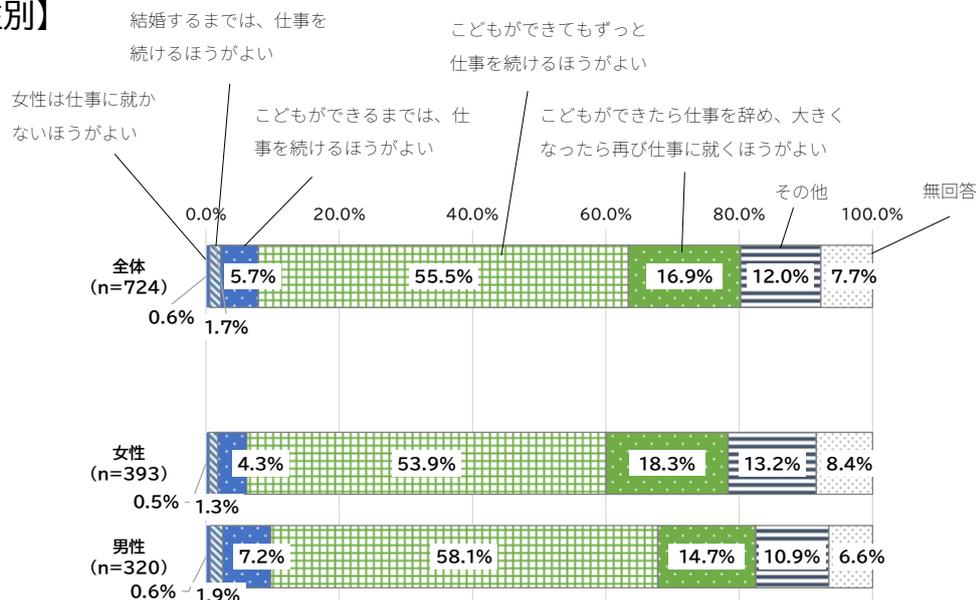
●「こどもができてもずっと仕事を続ける方がよい」と回答した方(55.5%)について

- ・性別で比較すると、女性(53.9%)に対して男性は(58.1%)と女性のほうが4.2ポイント低い。
- ・H27松江市調査(44.9%)より10.6ポイント、R2松江市調査(51.2%)より4.3ポイント高くなっており回答割合は増加傾向となっている。
- ・女性は、H27松江市調査(42.9%)より11.0ポイント、R2松江市調査(48.9%)より5.0ポイント高くなっている。男性もH27松江市調査(47.6%)より10.5ポイント、R2松江市調査(53.9%)より4.2ポイント高くなっており、男女ともに回答割合が高くなっている。

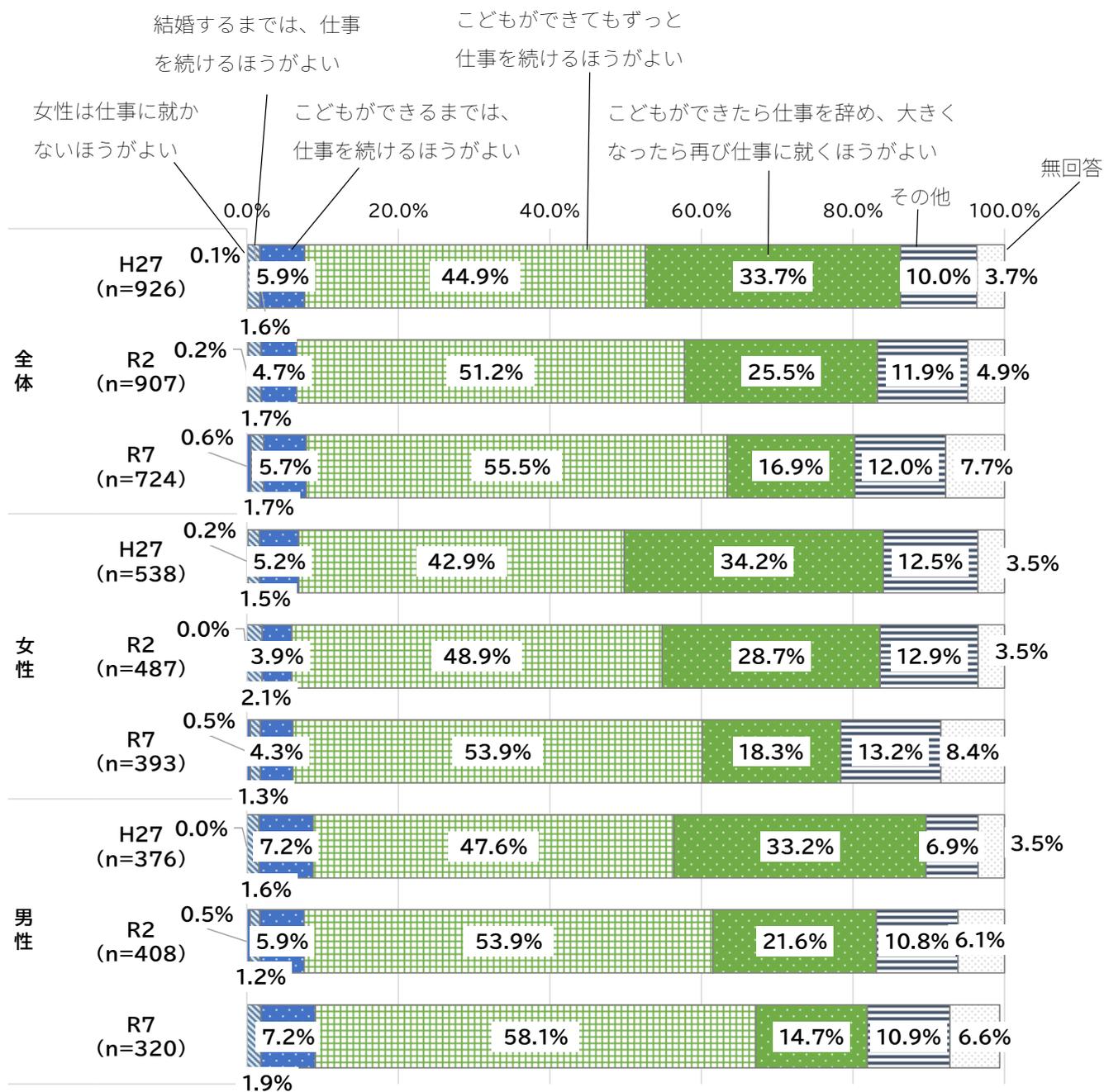
●「こどもが大きくなったら再び仕事に就く方がよい」と回答した方(16.9%)について

- ・性別で比較すると、女性(18.3%)に対して男性は(14.7%)と女性のほうが3.6ポイント高くなっている。
- ・H27松江市調査(33.7%)より16.8ポイント、R2松江市調査(25.5%)より8.6ポイント低くなっており、回答割合は減少傾向となっている。
- ・女性は、H27松江市調査(34.2%)より15.9ポイント、R2松江市調査(28.7%)より10.4ポイント低くなっている。男性もH27松江市調査(33.2%)より18.5ポイント、R2松江市調査(21.6%)より6.9ポイント低くなっており、男女ともに回答割合が減少傾向となっている。

【全体・性別】



## 【経年比較／全体・性別】



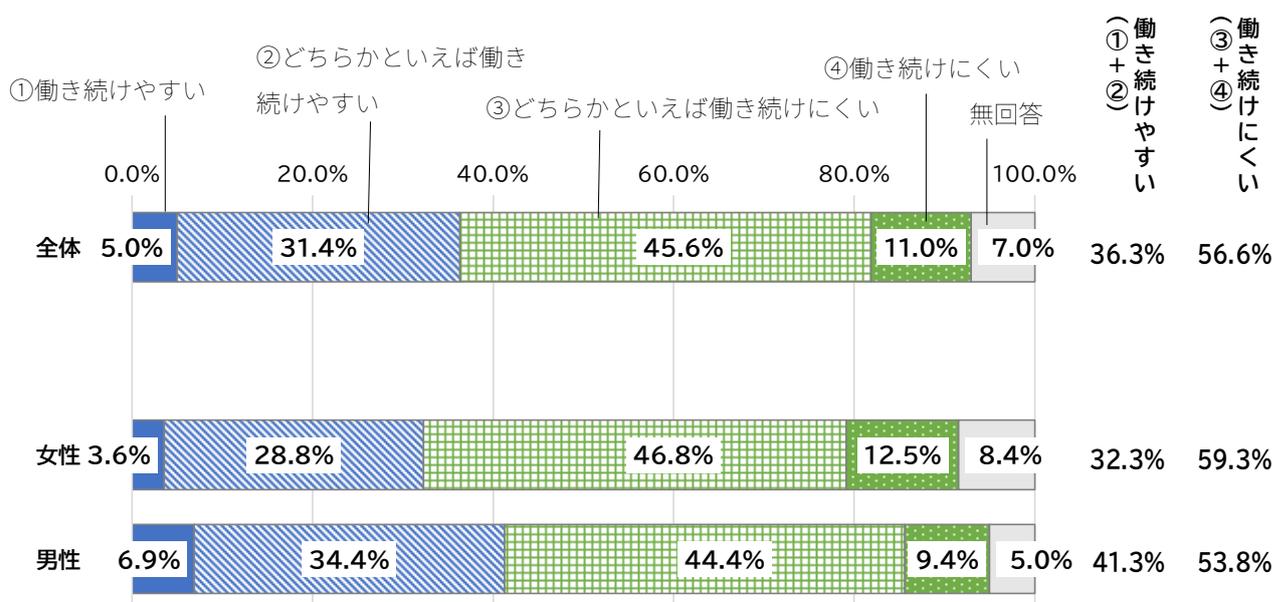
問5 一般的に、女性が働き続けていくことについて、現在どのような状況にあると思いますか。

・「どちらかといえば働き続けにくい」(45.6%)、「働き続けにくい」(11.0%)と5割以上の方が働き続けにくい状況であると感じている。

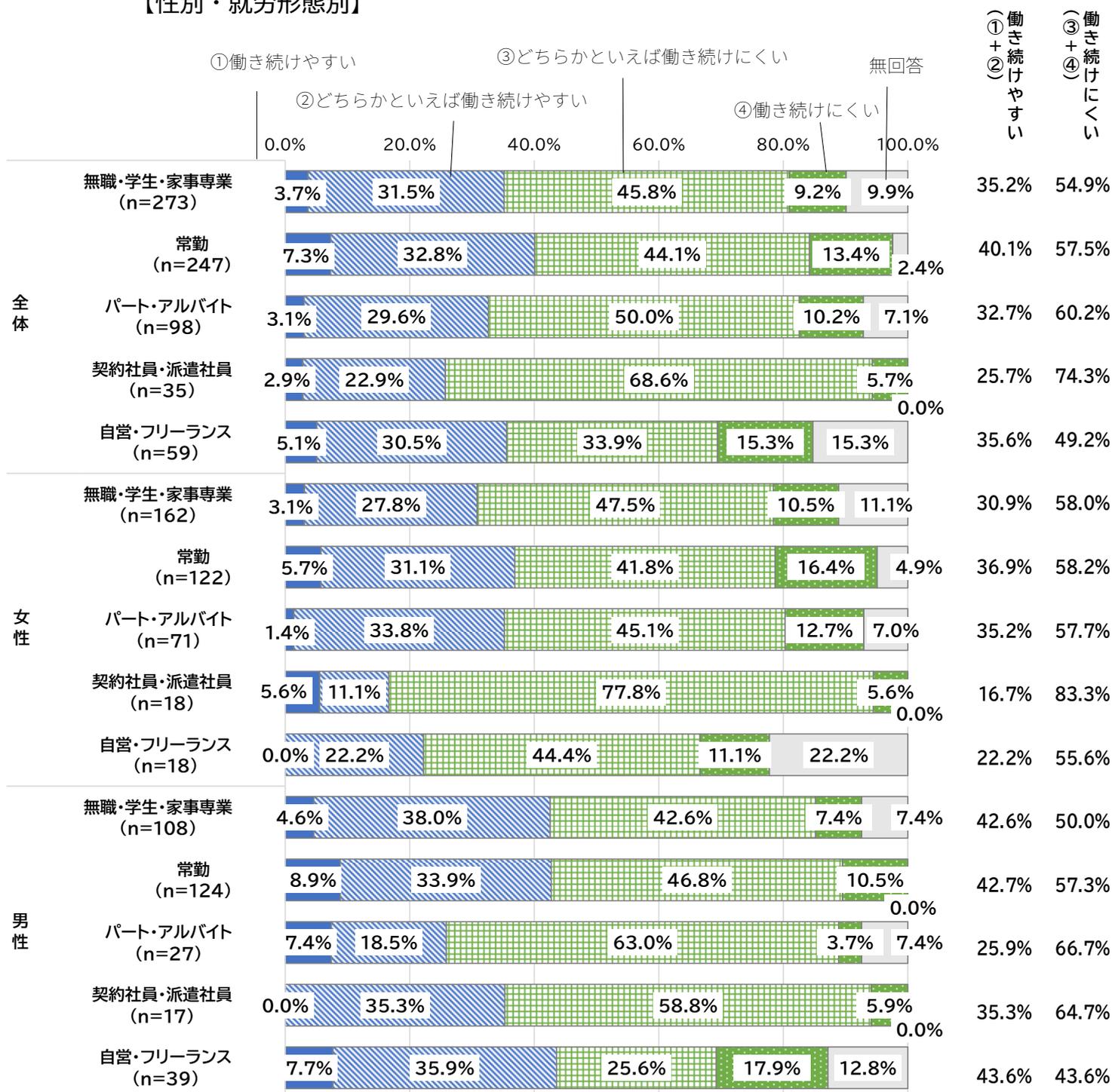
●「働き続けにくい」と回答した方(計56.6%)について

- ・性別で比較すると、女性(計59.3%)に対して男性(計53.8%)と女性のほうが5.5ポイント高い。
- ・就労形態で比較すると、「契約社員・派遣社員」(計74.3%)が最も高い割合となっている。
- ・女性は「契約社員・派遣社員」(計83.3%)、男性は「パート・アルバイト」(計66.7%)がそれぞれ最も高い割合となっている。

【全体・性別】



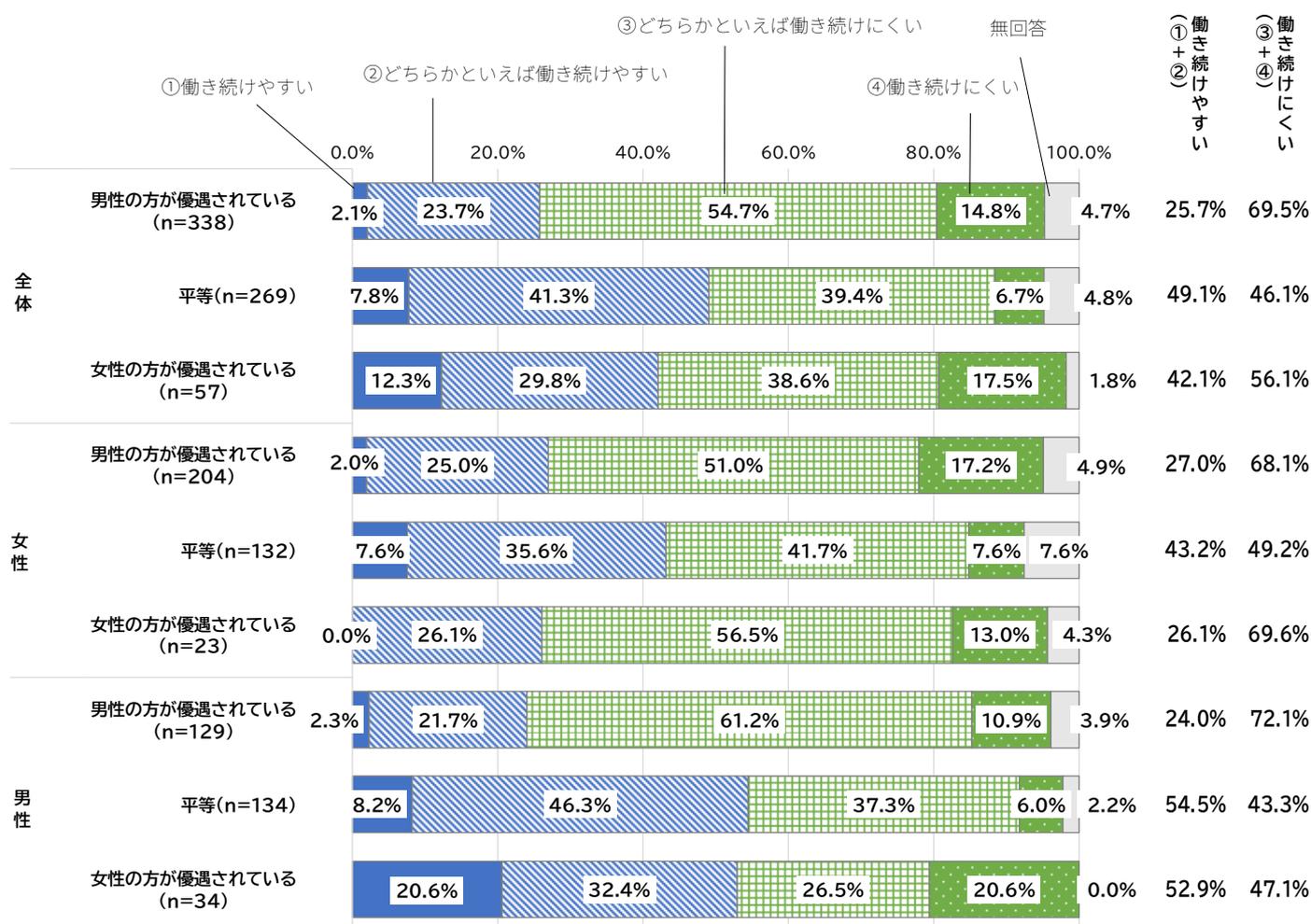
## 【性別・就労形態別】



●「職場での平等感」との関係性について（問1（2））

- ・問1（2）の「職場での平等感」との関係性をみてみると、「男性の方が優遇されている（計）」と回答した方は、女性が働き続けていくことについて「働き続けにくい」が69.5%と高くなっている。一方、「平等」と回答した方は「働き続けにくい」が46.1%と23.4ポイントの差がある。
- ・女性で「女性の方が優遇されている（計）」と回答した方は「働き続けにくい」が69.6%となっている。一方、「平等」と回答した方は「働き続けにくい」が49.2%と20.4ポイントの差がある。
- ・男性で「男性の方が優遇されている（計）」と回答した方は「働き続けにくい」が72.1%となっている。一方、「平等」と回答した方は「働き続けにくい」が43.3%と28.8ポイントの差がある。

【「職場での平等感」（問1（2））との比較／全体・性別】



※職場での平等感は、質問問1の「(2) 職場で」の回答をもとに算出。

※「男性の方が優遇されている」は、「男性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性のほうが優遇されている」の合計。

※「女性の方が優遇されている」は、「女性のほうが非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性のほうが優遇されている」の合計。

問5-2 女性が働き続けていく上で、障害となっているのはどのようなことだと思いますか。(問5で「どちらかといえば働き続けにくい」「働き続けにくい」と答えた方) <複数回答>

「育児施設が十分でない」(58.8%)が最も高く、次いで「不安定な雇用形態が多い」(53.2%)、「長時間労働や残業がある」(43.2%)となっている。

●「育児施設が十分でない」(58.8%)について

- ・性別で比較すると、女性(54.1%)に対し、男性(65.1%)と女性のほうが11.0ポイント低い。
- ・性別・年代別で見ると、女性は50歳代(68.2%)、男性は10歳代(84.6%)が最も高い割合となっている。

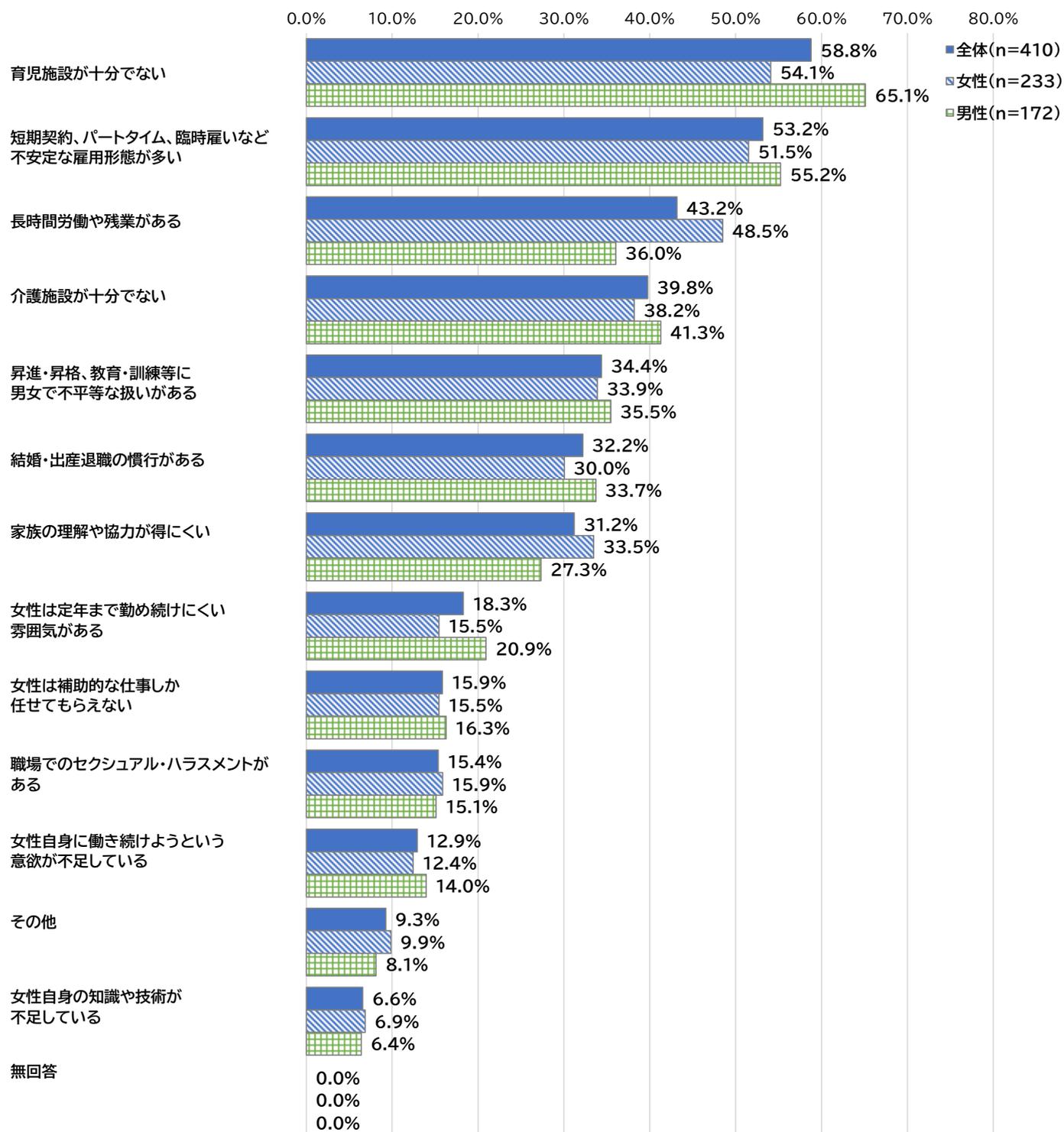
●「不安定な雇用形態が多い」(53.2%)について

- ・性別で比較すると、女性(51.5%)に対し、男性(55.2%)と女性のほうが3.7ポイント低い。
- ・性別・年代別で見ると、女性は60歳代(63.8%)、男性は70歳代(72.5%)が最も高くなっている。

●「長時間労働や残業がある」(43.2%)について

- ・性別で比較すると、女性(48.5%)に対し、男性(36.0%)と女性のほうが12.5ポイント高い。
- ・性別・年代別で見ると、女性は30歳代(66.7%)、男性は60歳代(50.0%)が最も高くなっている。

【全体・性別／回答別】（回答割合が高い順）



【性別・年代別 クロス集計表】

		昇進・昇格、教育・訓練等に男女で不平等な扱いがある	結婚・出産退職の慣行がある	短期契約、パートタイム、臨時雇いなど不安定な雇用形態が多い	女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	女性は補助的な仕事しか任せてもらえない	長時間労働や残業がある	職場でのセクシユアル・ハラスメントがある	育児施設が十分でない	介護施設が十分でない	家族の理解や協力が得にくい	女性自身の知識や技術が不足している	女性自身に働き続けようという意欲が不足している	その他	無回答	合計
全体(n=410)		34.4%	32.2%	53.2%	18.3%	15.9%	43.2%	15.4%	58.8%	39.8%	31.2%	6.6%	12.9%	9.3%	0.0%	100.0%
女性	10歳代(n=10)	40.0%	10.0%	40.0%	20.0%	10.0%	20.0%	0.0%	50.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20歳代(n=19)	15.8%	47.4%	36.8%	15.8%	5.3%	63.2%	10.5%	63.2%	0.0%	31.6%	5.3%	10.5%	5.3%	0.0%	100.0%
	30歳代(n=27)	29.6%	22.2%	44.4%	0.0%	14.8%	66.7%	7.4%	40.7%	14.8%	22.2%	0.0%	0.0%	14.8%	0.0%	100.0%
	40歳代(n=32)	34.4%	34.4%	43.8%	18.8%	15.6%	65.6%	21.9%	62.5%	34.4%	46.9%	6.3%	12.5%	15.6%	0.0%	100.0%
	50歳代(n=44)	50.0%	36.4%	54.5%	15.9%	15.9%	45.5%	22.7%	68.2%	50.0%	36.4%	13.6%	13.6%	6.8%	0.0%	100.0%
	60歳代(n=47)	36.2%	23.4%	63.8%	14.9%	12.8%	40.4%	21.3%	48.9%	42.6%	29.8%	4.3%	10.6%	12.8%	0.0%	100.0%
	70歳代(n=36)	22.2%	33.3%	55.6%	13.9%	19.4%	41.7%	11.1%	50.0%	66.7%	38.9%	5.6%	13.9%	8.3%	0.0%	100.0%
	80歳代以上(n=18)	33.3%	22.2%	50.0%	33.3%	27.8%	33.3%	11.1%	38.9%	38.9%	38.9%	11.1%	33.3%	5.6%	0.0%	100.0%
男性	10歳代(n=13)	30.8%	30.8%	61.5%	15.4%	23.1%	38.5%	7.7%	84.6%	61.5%	30.8%	0.0%	15.4%	7.7%	0.0%	100.0%
	20歳代(n=7)	42.9%	57.1%	57.1%	0.0%	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	100.0%
	30歳代(n=21)	14.3%	47.6%	33.3%	9.5%	9.5%	38.1%	19.0%	52.4%	28.6%	14.3%	4.8%	23.8%	14.3%	0.0%	100.0%
	40歳代(n=19)	31.6%	36.8%	42.1%	21.1%	10.5%	21.1%	26.3%	63.2%	36.8%	31.6%	10.5%	21.1%	5.3%	0.0%	100.0%
	50歳代(n=25)	28.0%	28.0%	40.0%	12.0%	4.0%	32.0%	4.0%	64.0%	40.0%	20.0%	0.0%	4.0%	16.0%	0.0%	100.0%
	60歳代(n=28)	42.9%	39.3%	57.1%	28.6%	17.9%	50.0%	14.3%	75.0%	53.6%	35.7%	7.1%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	70歳代(n=40)	42.5%	22.5%	72.5%	27.5%	20.0%	37.5%	20.0%	65.0%	40.0%	30.0%	7.5%	7.5%	7.5%	0.0%	100.0%
	80歳代以上(n=19)	47.4%	31.6%	68.4%	31.6%	31.6%	31.6%	10.5%	68.4%	42.1%	31.6%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%	100.0%

## ■仕事、家庭生活、地域・個人の生活について

問6 仕事、家庭生活、地域・個人の生活についておうかがいします。  
生活の中での仕事と家庭生活または地域・個人の生活の優先度について、  
(1) 希望に最も近いもの

- ・「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい(32.3%)と回答した割合が最も高く、次いで「家庭生活」(22.5%)、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」(18.4%)の順に高くなっている。
- ・性別で比較すると、女性は上位3項目が全体と同じ順位だった。男性は回答割合が高い順に「仕事」と「家庭生活」(31.3%)、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」(20.3%)、「家庭生活」(19.4%)であった。

### ● 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と回答した方(32.3%)について

- ・性別で比較すると、女性(33.6%)に対し男性(31.3%)と女性のほうが2.3ポイント高い。
- ・性別・年代別で見ると、男女とも10歳代(男女とも50.0%)が最も高い割合となっており、次いで女性は40歳代(40.0%)、男性は50歳代(38.5%)となっている。
- ・男女ともに配偶関係にある方(女性35.9%、男性33.5%)は、配偶関係にない方(女性27.5%、男性24.0%)よりも回答した割合が高くなっている。

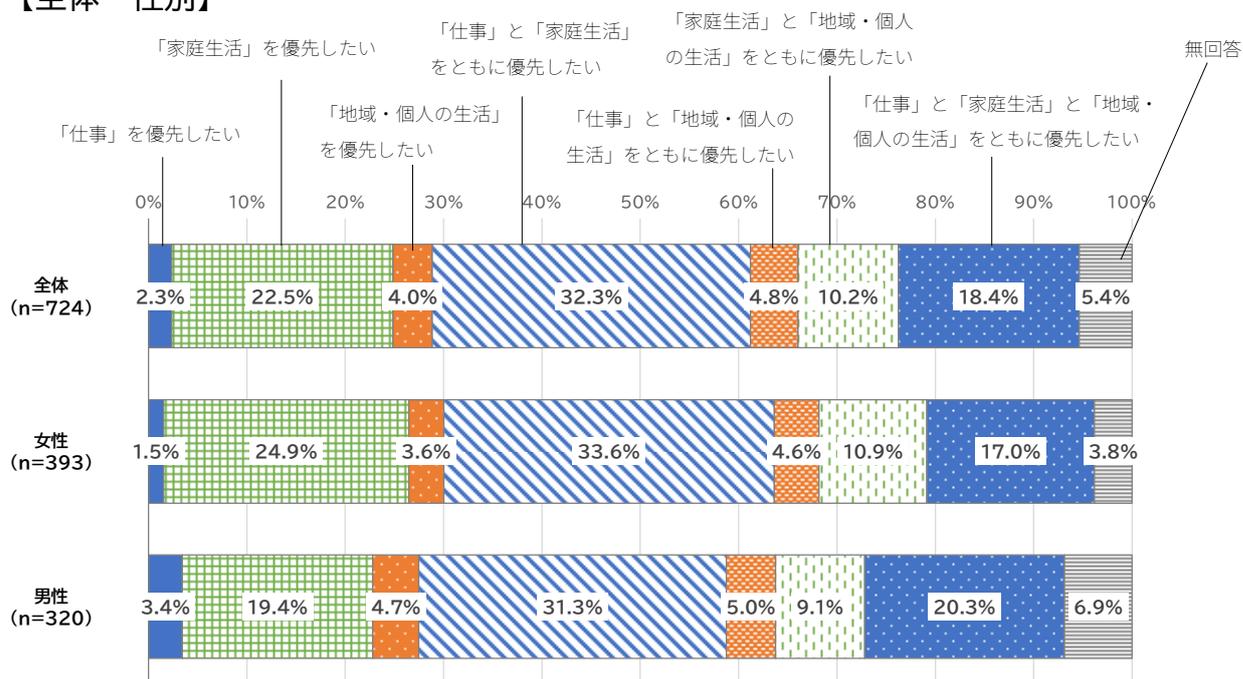
### ● 「家庭生活」を優先したい」と回答した方(22.5%)について

- ・性別で比較すると、女性(24.9%)に対し男性(19.4%)と女性のほうが5.5ポイント高い。
- ・性別・年代別で見ると、女性は30歳代(37.5%)が最も高い割合となっており、男性は20歳代(38.5%)が最も高い割合となっている。
- ・女性は配偶関係にある方(28.9%)が配偶関係にない方(14.7%)よりも高くなっている。一方、男性は配偶関係にある方(19.2%)のほうが配偶関係にない方(20.0%)よりも低くなっており、性別によって意識の差があることがわかる。

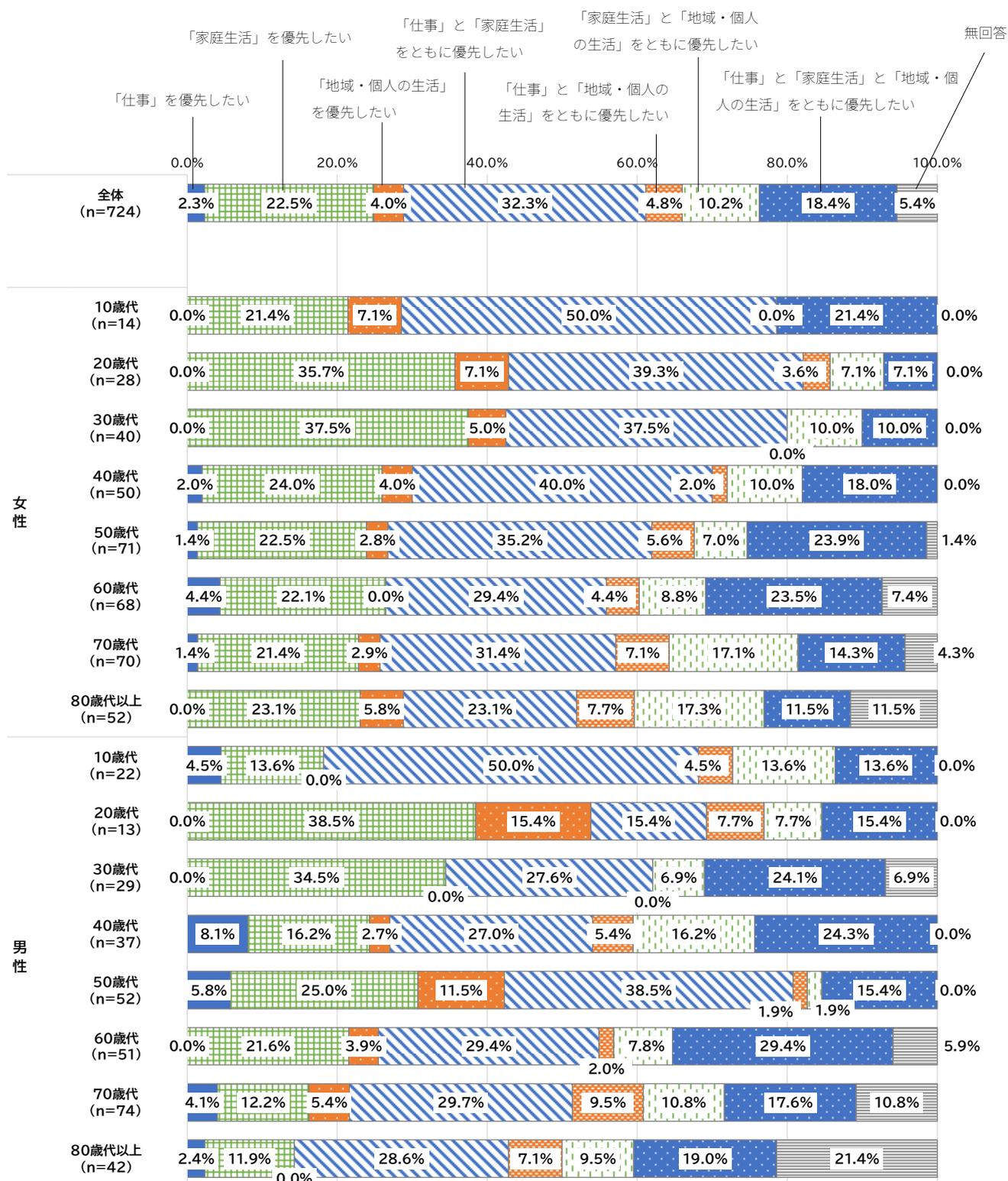
### ● 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」と回答した方(18.4%)について

- ・性別で比較すると、女性(17.0%)に対して男性(20.3%)と女性のほうが3.3ポイント低い。
- ・性別・年代別で見ると、女性は50歳代(23.9%)が最も高い割合になっており、男性は60歳代(29.4%)が最も高い割合となっている。

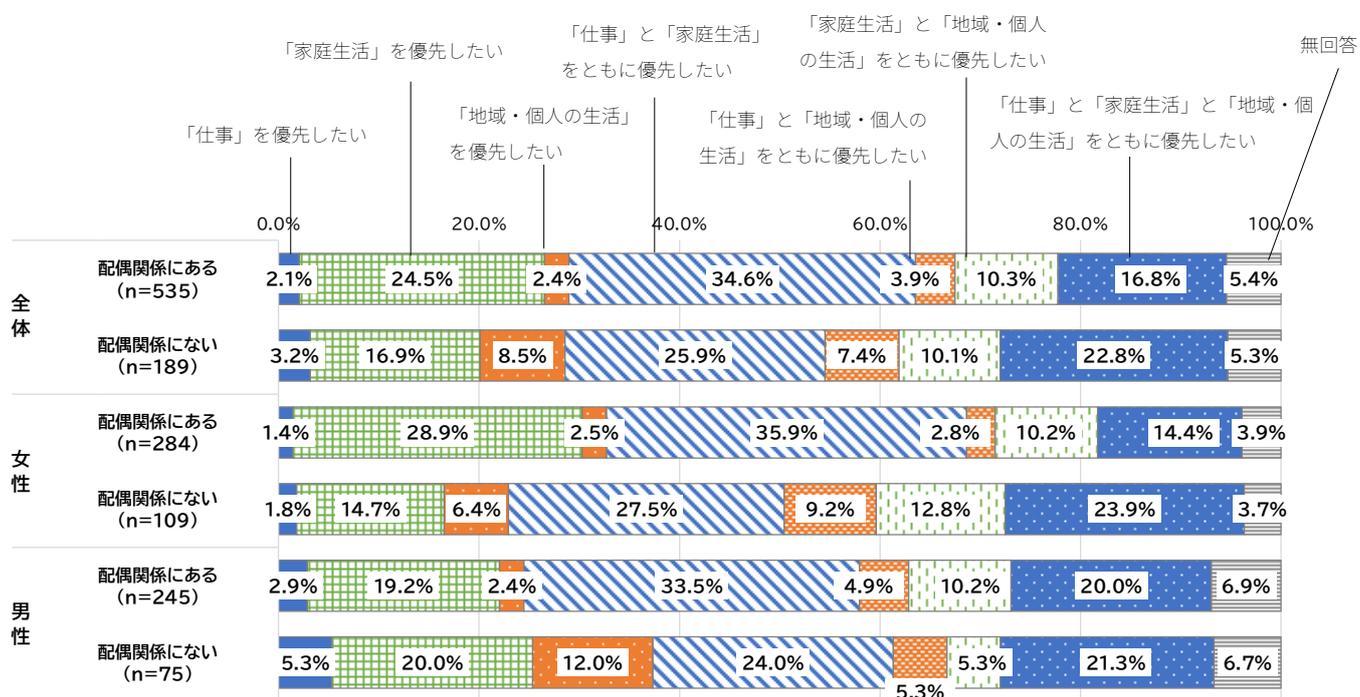
## 【全体・性別】



## 【性別・年代別】



## 【性別・配偶関係別】



## (2) 現実（現状）に最も近いもの

・現実（現状）に近いものについては、「家庭生活」を優先している（29.1%）と回答した割合が最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」（20.9%）、「仕事」（19.2%）の順に高くなっている。

### ● 「家庭生活」を優先している」と回答した方（29.1%）について

- ・性別で比較すると、女性（36.1%）に対し、男性（20.6%）と女性が15.5ポイント高い。
- ・性別・配偶関係別に見ると、女性は配偶関係にある方が配偶関係にない方より回答した割合が高い（配偶関係あり:41.2%、配偶関係なし:22.9%）。一方、男性は配偶関係にない方が、配偶関係にある方より回答した割合が高い（配偶関係あり:20.4%、配偶関係なし 21.3%）。

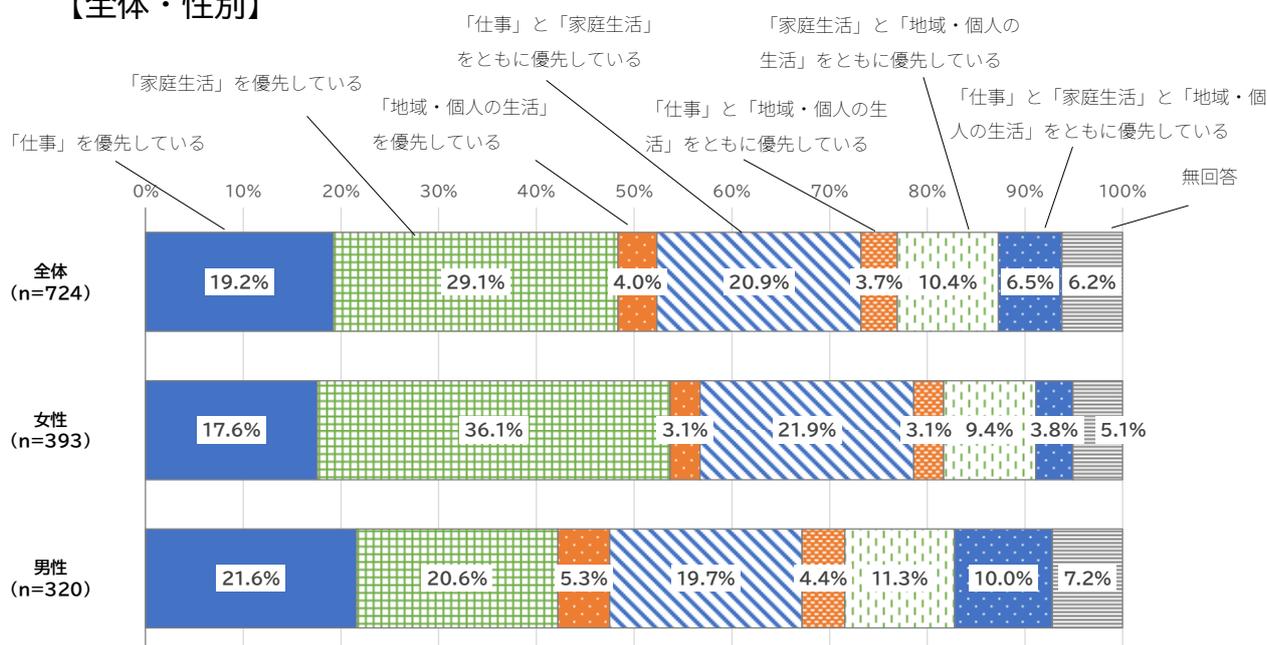
### ● 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」と回答した方（20.9%）について

- ・性別で比較すると、女性は（21.9%）に対し、男性（19.7%）と女性のほうが2.2ポイント高い。
- ・性別・年代別で比較すると、女性は30歳代（40.0%）、男性は10歳代（31.8%）が最も高くなっている一方で、女性20歳代は（7.1%）、男性80歳以上（7.1%）の回答割合が低く、年代によって大きな差がある。
- ・性別・配偶関係別にみると、男女とも配偶関係にある方が配偶関係にない方よりも回答した割合が多く、女性は（配偶関係あり:24.6%、配偶関係なし:14.7%）と9.9ポイントの差があり、男性は（配偶関係あり:22.4%、配偶関係なし:10.7%）で11.7ポイントの差があった。

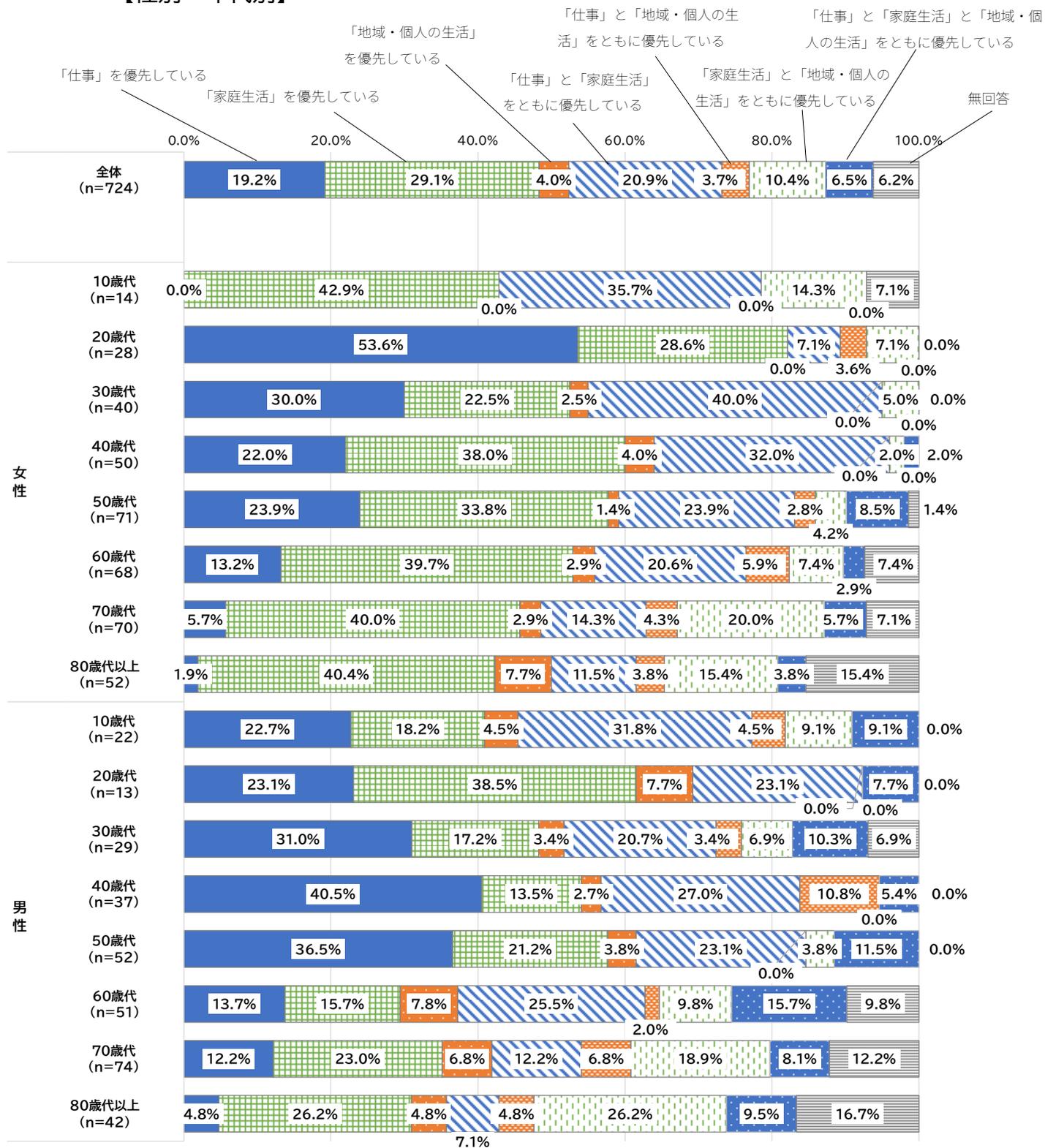
### ● 「仕事」を優先している」と回答した方（19.2%）について

- ・性別で比較すると、女性は（17.6%）に対し、男性（21.6%）で女性のほうが4.0ポイント低かった。
- ・性別・配偶関係別にみると、男女とも配偶関係にない方が配偶関係にある方より回答した割合が高い。女性は（配偶関係あり:15.5%、配偶関係なし:22.9%）と7.4ポイントの差があり、男性は（配偶関係あり:19.6%、配偶関係なし:28.0%）で8.4ポイントの差があった。

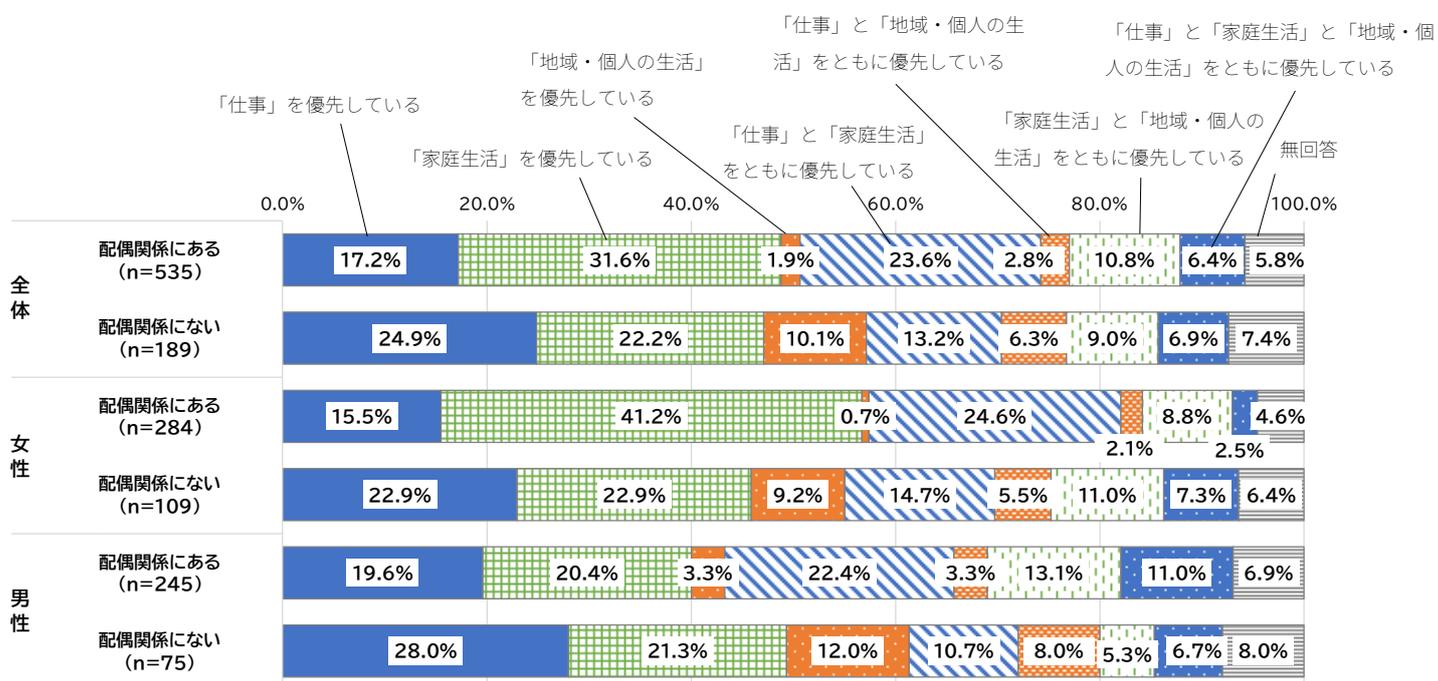
## 【全体・性別】



# 【性別・年代別】



## 【性別・配偶関係別】

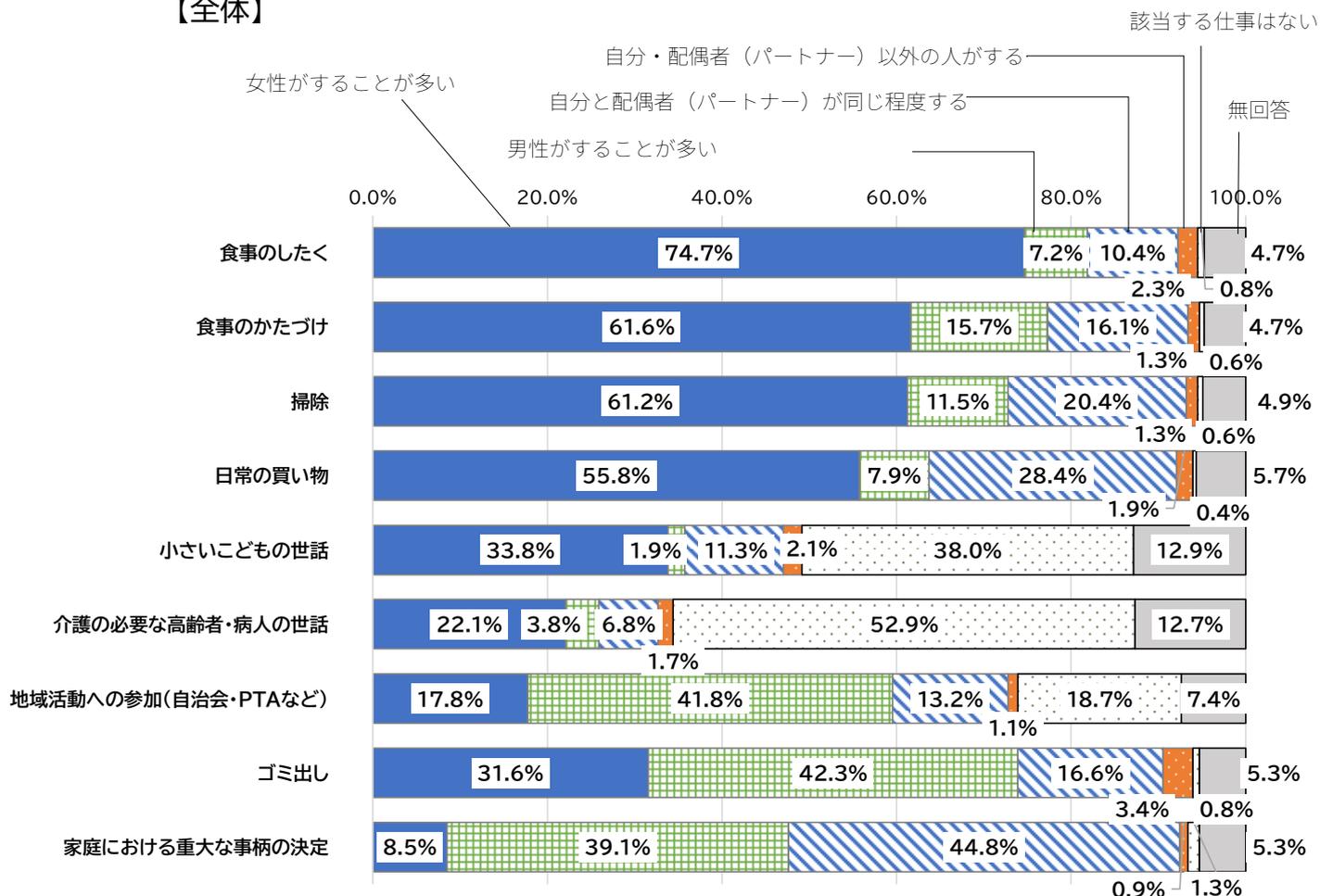


問7 配偶者（パートナー）と一緒に暮らしている方にお聞きします。  
 家庭の中で次の仕事はどなたが担当されていますか。仕事、家庭生活、地域・個人の生活についておうかがいします。

- ・「女性がすることが多い」と回答した割合が高かった項目は、「食事のしたく」（74.7%）、「食事のかたづけ」（61.6%）、「掃除」（61.2%）、「日常の買い物」（55.8%）の順となっている。
- ・一方で「男性がすることが多い」割合が高かった項目は、「ゴミ出し」（42.3%）、「地域活動への参加」（41.8%）、「家庭における重大な事柄の決定」（39.1%）の順になっている。

- ・性別で見ると、「家庭における重大な事柄の決定」について、女性は「自分と配偶者が同じ程度する」（45.8%）と回答した割合が最も高かった。男性は「自分と配偶者が同じ程度する」（43.7%）と回答した割合が最も高かった。
- ・経年で比較すると、「食事のしたく」について、R2 松江市調査では女性が「自分ですることが多い」85.7%と回答していたが、R7 松江市調査では74.3%と11.4ポイント下がった。「食事のかたづけ」についても、R2 松江市調査では女性が「自分ですることが多い」（78.2%）と回答していたが、R7 松江市調査では69.7%と8.5ポイント下がった。

【全体】

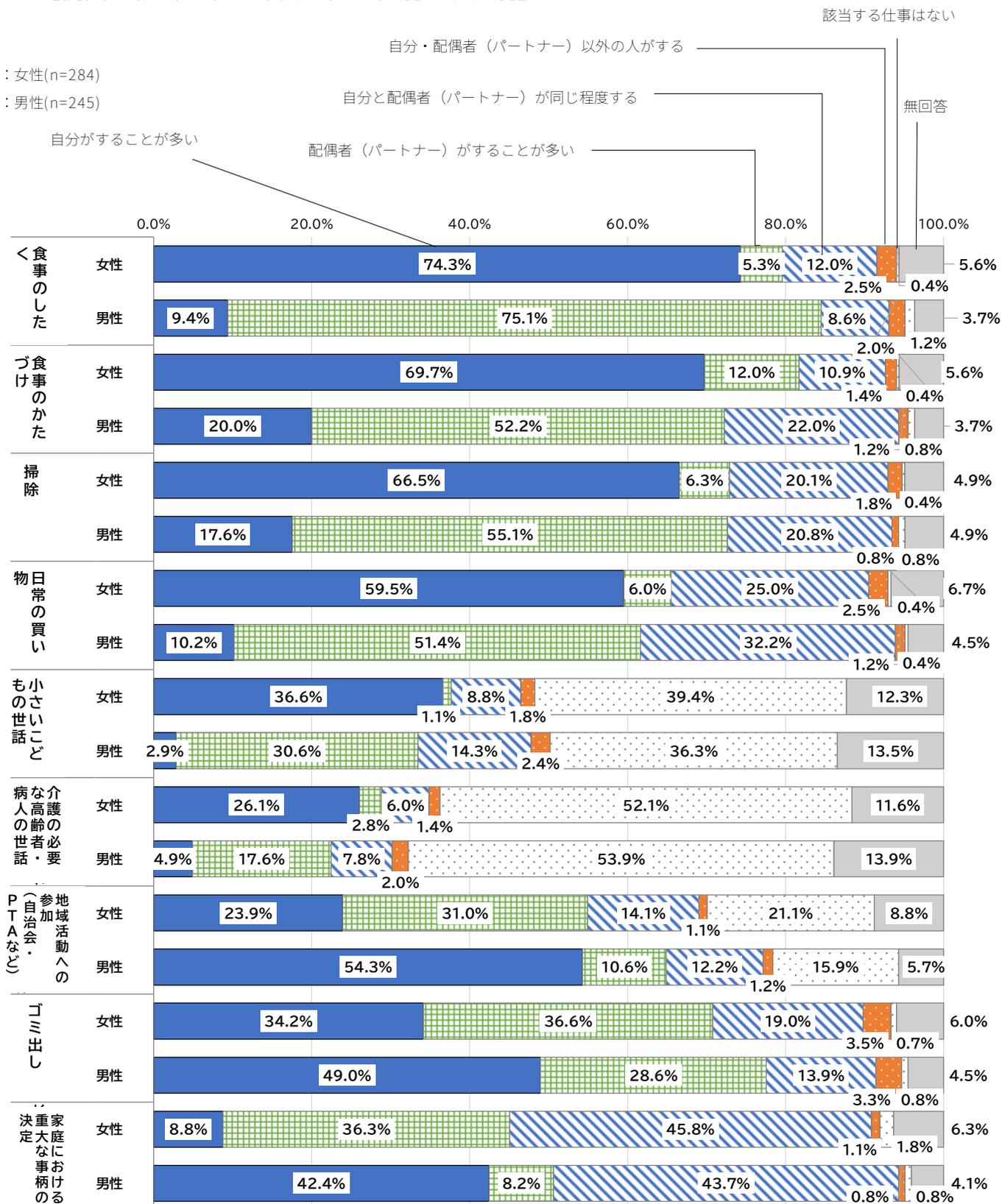


## 【前回比較 (R7 松江市調査) / 性別・項目別】

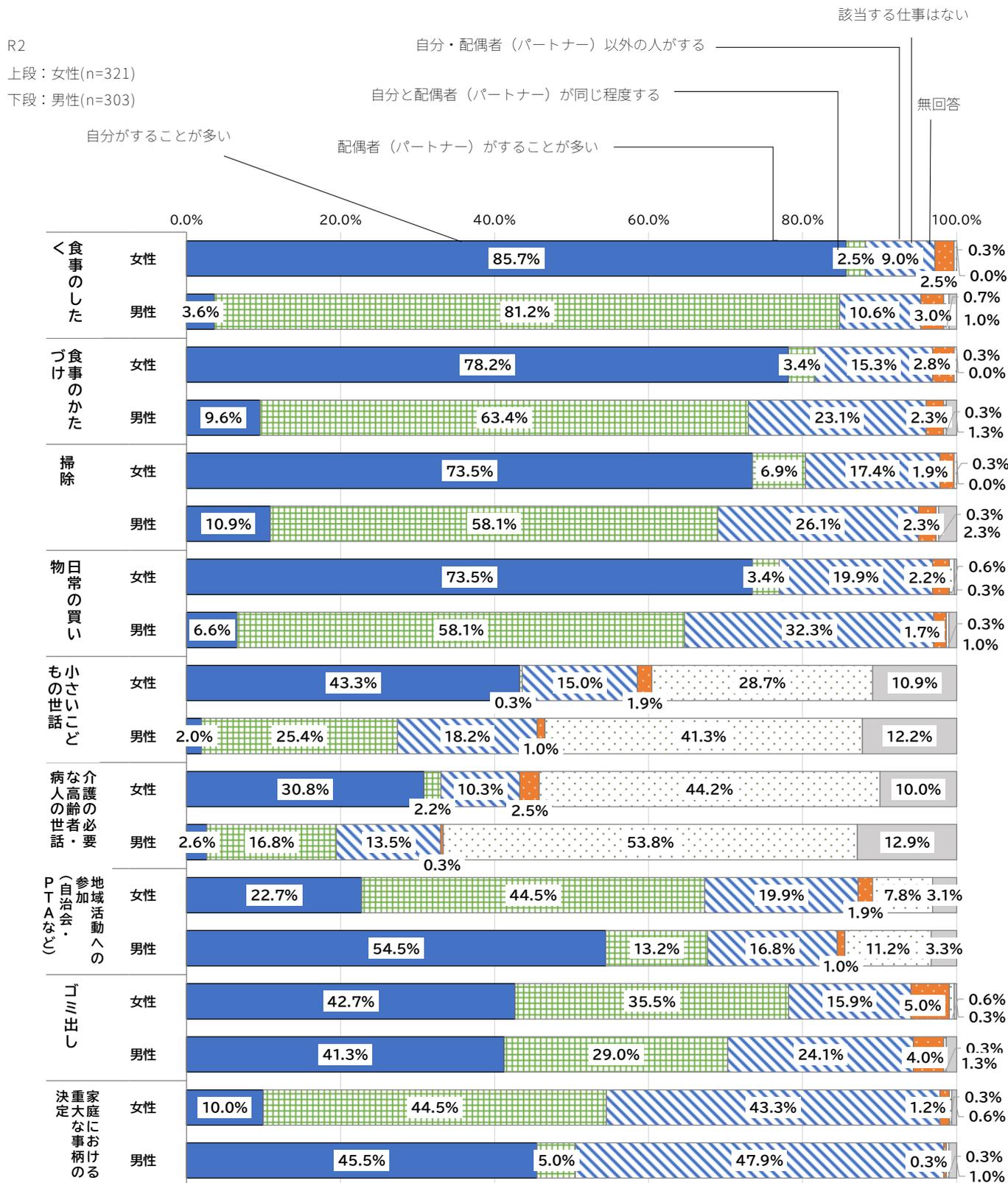
R7

上段：女性(n=284)

下段：男性(n=245)



## 【前回比較 (R2 松江市調査) / 性別・項目別】



問8 総務省の「令和3年社会生活基本調査」によると、島根県では女性に比べて男性の家事・育児・介護の時間が短い状況にあります。あなたは、男性の家事・育児・介護の時間が短いのはなぜだと思いますか。〈複数回答〉

- ・男性の家事・育児・介護の時間が短い状況について、その理由として回答割合が高かったものは「男性が長時間労働や休暇が取りづらい働き方をしているから」が56.1%と最も高く、次いで「男性側に家事・育児・介護は女性がすべきものという意識があるから」が44.5%であった。
- ・女性の回答割合で最も高かったものは、「男性が長時間労働や休暇が取りづらい働き方をしているから」が56.3%であり、男性の32.4%と18.0ポイントの差があり、男女の意識の差が大きいことが分かる。

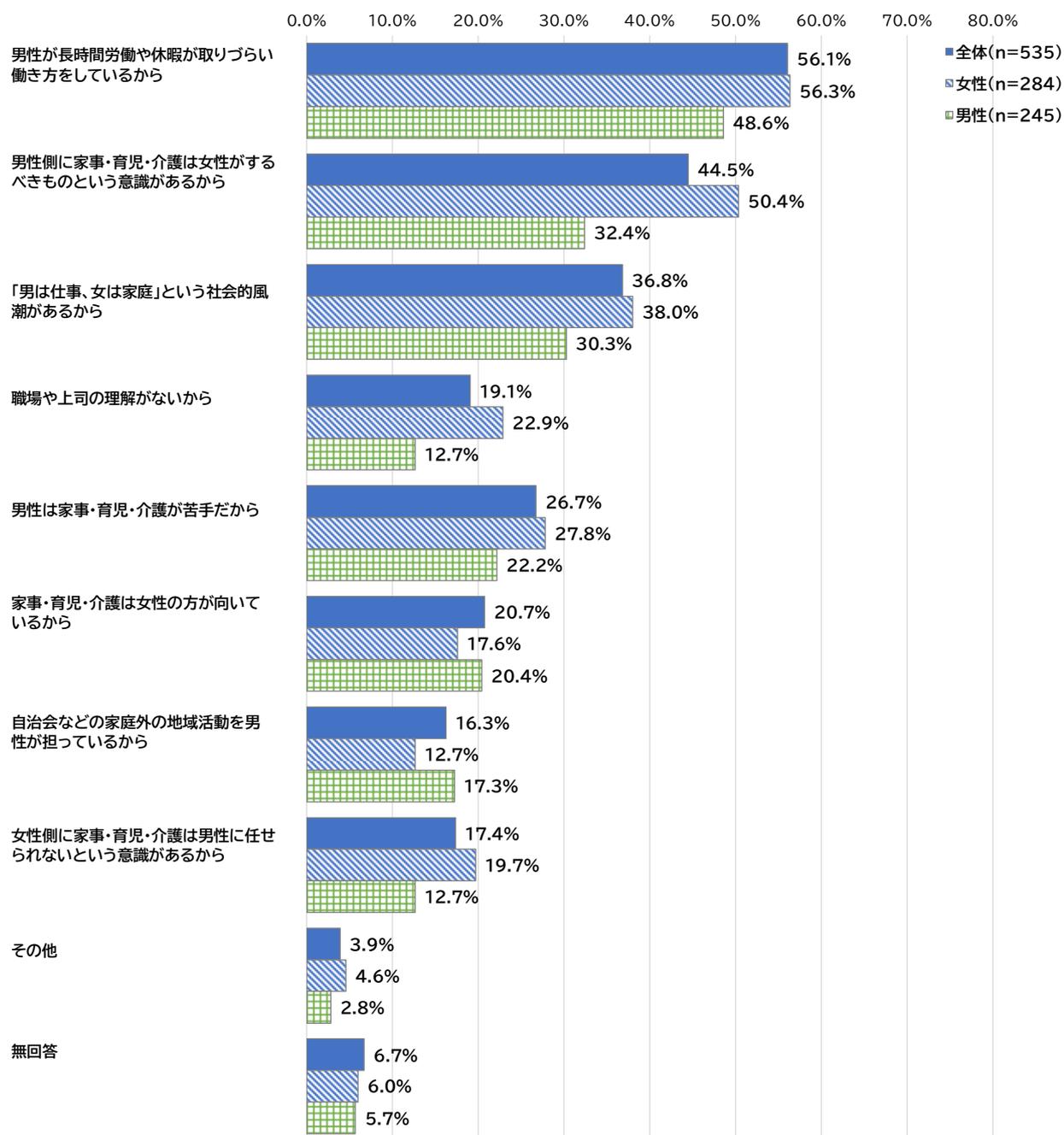
● 「男性が長時間労働や休暇が取りづらい働き方をしているから」と回答した方（56.1%）について

- ・性別で比較すると、女性（56.3%）に対し、男性（48.6%）と女性のほうが7.7ポイント高い。
- ・性別・年代別で比較すると、女性では20歳代（75.0%）からの回答が最も多く、男性では50歳代（75.7%）からの回答が最も多くなっている。

● 「男性側に家事・育児・介護は女性がすべきのものという意識があるから」と回答した方（44.5%）について

- ・性別・年代別で比較すると、女性では50歳代（61.0%）からの回答が最も多く、男性では70歳代（46.8%）からの回答が最も多くなっている。

## 【全体・性別／回答別】



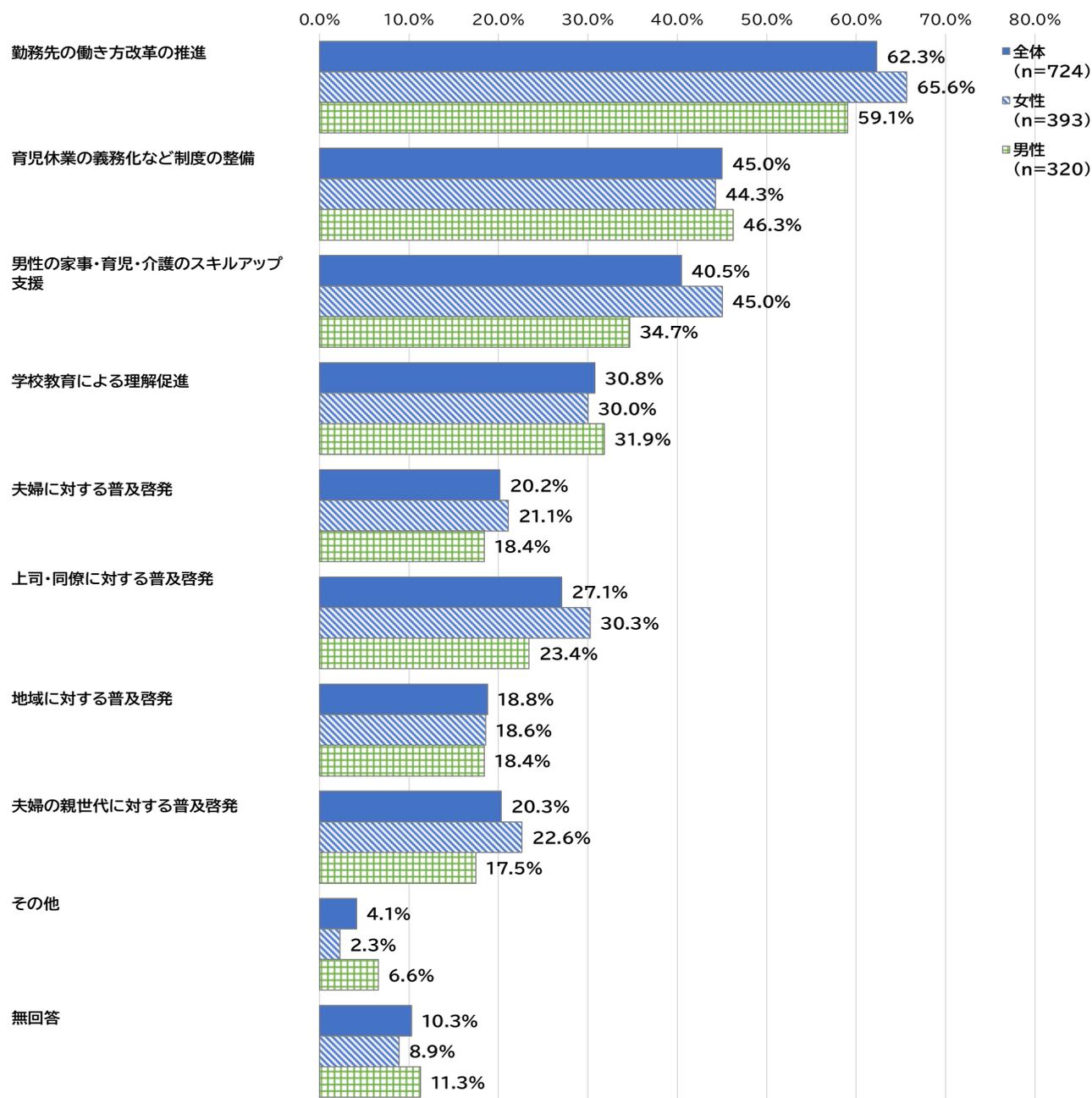
【性別・年代別 クロス集計表】

		男性が長時間労働や休暇が取りづら い働き方をしているから	男性側に家事・育児・介護は女性 がするべきものという意識がある から	「男は仕事、女は家庭」という社 会的風潮があるから	職場や上司の理解がないから	男性は家事・育児・介護が苦手だ から	家事・育児・介護は女性の方が向 いているから	自治会など家庭外の地域活動を男 性が担っているから	女性側に家事・育児・介護は男性 に任せられないという意識がある から	その他	無回答	合計
全体(n=535)		56.1%	44.5%	36.8%	19.1%	26.7%	20.7%	16.3%	17.4%	3.9%	6.7%	100.0%
女性	10歳代(n=8)	50.0%	50.0%	37.5%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20歳代(n=16)	75.0%	43.8%	37.5%	31.3%	31.3%	12.5%	0.0%	31.3%	12.5%	0.0%	100.0%
	30歳代(n=34)	67.6%	50.0%	29.4%	29.4%	23.5%	5.9%	2.9%	32.4%	2.9%	2.9%	100.0%
	40歳代(n=38)	71.1%	60.5%	50.0%	39.5%	26.3%	15.8%	2.6%	26.3%	13.2%	2.6%	100.0%
	50歳代(n=59)	62.7%	61.0%	50.8%	27.1%	27.1%	11.9%	16.9%	23.7%	1.7%	0.0%	100.0%
	60歳代(n=53)	49.1%	52.8%	34.0%	20.8%	32.1%	17.0%	15.1%	7.5%	1.9%	1.9%	100.0%
	70歳代(n=46)	37.0%	41.3%	30.4%	15.2%	32.6%	26.1%	17.4%	13.0%	2.2%	15.2%	100.0%
	80歳代以上(n=30)	46.7%	30.0%	26.7%	3.3%	20.0%	36.7%	23.3%	13.3%	6.7%	23.3%	100.0%
男性	10歳代(n=16)	43.8%	37.5%	31.3%	6.3%	37.5%	18.8%	18.8%	6.3%	6.3%	6.3%	100.0%
	20歳代(n=5)	60.0%	40.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%
	30歳代(n=20)	75.0%	35.0%	45.0%	35.0%	5.0%	0.0%	15.0%	15.0%	10.0%	0.0%	100.0%
	40歳代(n=26)	69.2%	34.6%	42.3%	19.2%	11.5%	15.4%	15.4%	11.5%	7.7%	11.5%	100.0%
	50歳代(n=37)	75.7%	27.0%	27.0%	13.5%	16.2%	27.0%	13.5%	21.6%	2.7%	2.7%	100.0%
	60歳代(n=43)	65.1%	39.5%	27.9%	20.9%	23.3%	25.6%	18.6%	11.6%	0.0%	7.0%	100.0%
	70歳代(n=62)	45.2%	46.8%	33.9%	12.9%	46.8%	33.9%	25.8%	16.1%	1.6%	1.6%	100.0%
	80歳代以上(n=36)	30.6%	33.3%	41.7%	0.0%	22.2%	25.0%	27.8%	13.9%	2.8%	16.7%	100.0%

問9 男性の家事・育児・介護への参画を進めるために行政が取り組むべきことは何だと思いませんか。〈複数回答〉

- ・男性の参画を進めるために行政が取り組むべきことについては、「勤務先の働き方改革の推進」が62.3%と最も高く、次いで「育児休業の義務化など制度の整備」45.0%、「男性の家事・育児・介護のスキルアップ支援」40.5%であった。
- ・性別で見ると、女性は「勤務先の働き方改革の推進」65.6%が最も高く、次いで「男性の家事・育児・介護のスキルアップ支援」45.0%、「育児休業の義務化など制度の整備」44.3%であった。一方、男性は「勤務先の働き方改革の推進」59.1%が最も高く、次いで「育児休業の義務化など制度の整備」46.3%、「男性の家事・育児・介護のスキルアップ支援」34.7%であった。

【全体・性別／回答別】



■ ドメスティック・バイオレンス (DV)、セクシュアル・ハラスメントについて

問10 配偶者(パートナー)などふたりの間でふるわれる身体的・心理的・性的な暴力(ドメスティック・バイオレンス(DV))が問題とされていますが、あなたは、ドメスティック・バイオレンス(DV)による被害を経験したり見聞きしたことがありますか。

- ・ドメスティック・バイオレンス(DV)について、「一般的な知識として知っている」(58.1%)が最も高く、次いで「自分のまわりに経験した(している)人がいる」(15.7%)、「DVという言葉は聞いたことがある」(8.3%)となっている。
- ・「自分や身近な人が経験した(している)」「直接経験したことがある」、「自分のまわりに経験した(している)人がいる」の計」と回答した割合は23.6%であった。
- ・「自分や身近な人が経験した(している)」と回答した割合は女性(28.2%)、男性(18.1%)で女性のほうが男性より10.1ポイント高い。

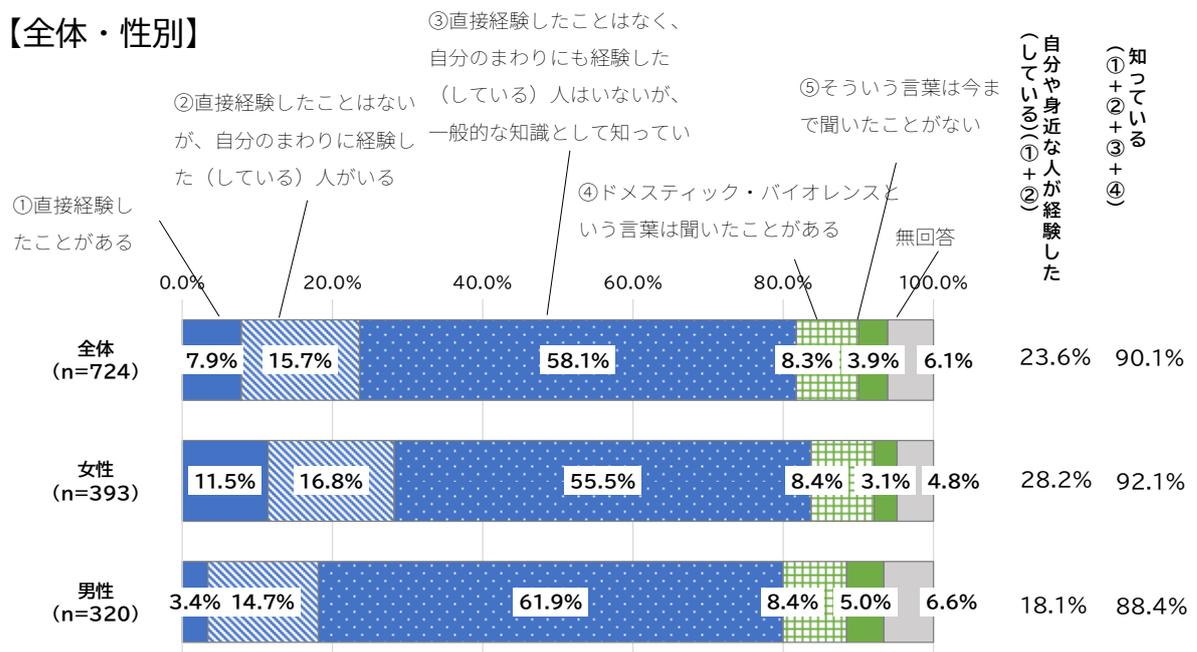
● 「直接経験したことがある」と回答した方(7.9%)について

- ・性別で比較すると、女性(11.5%)に対して男性(3.4%)と女性のほうが8.1ポイント高い。
- ・女性は60歳代(17.6%)からの回答が最も多くなっており、次いで30歳代(15.0%)となっている。
- ・経年で比較すると、女性はR2松江市調査(9.0%)に対し、R7松江市調査(11.5%)であり2.5ポイント増加した。一方、男性はR2松江市調査(4.2%)に対し、R7松江市調査(3.4%)となり0.8ポイント減少した。

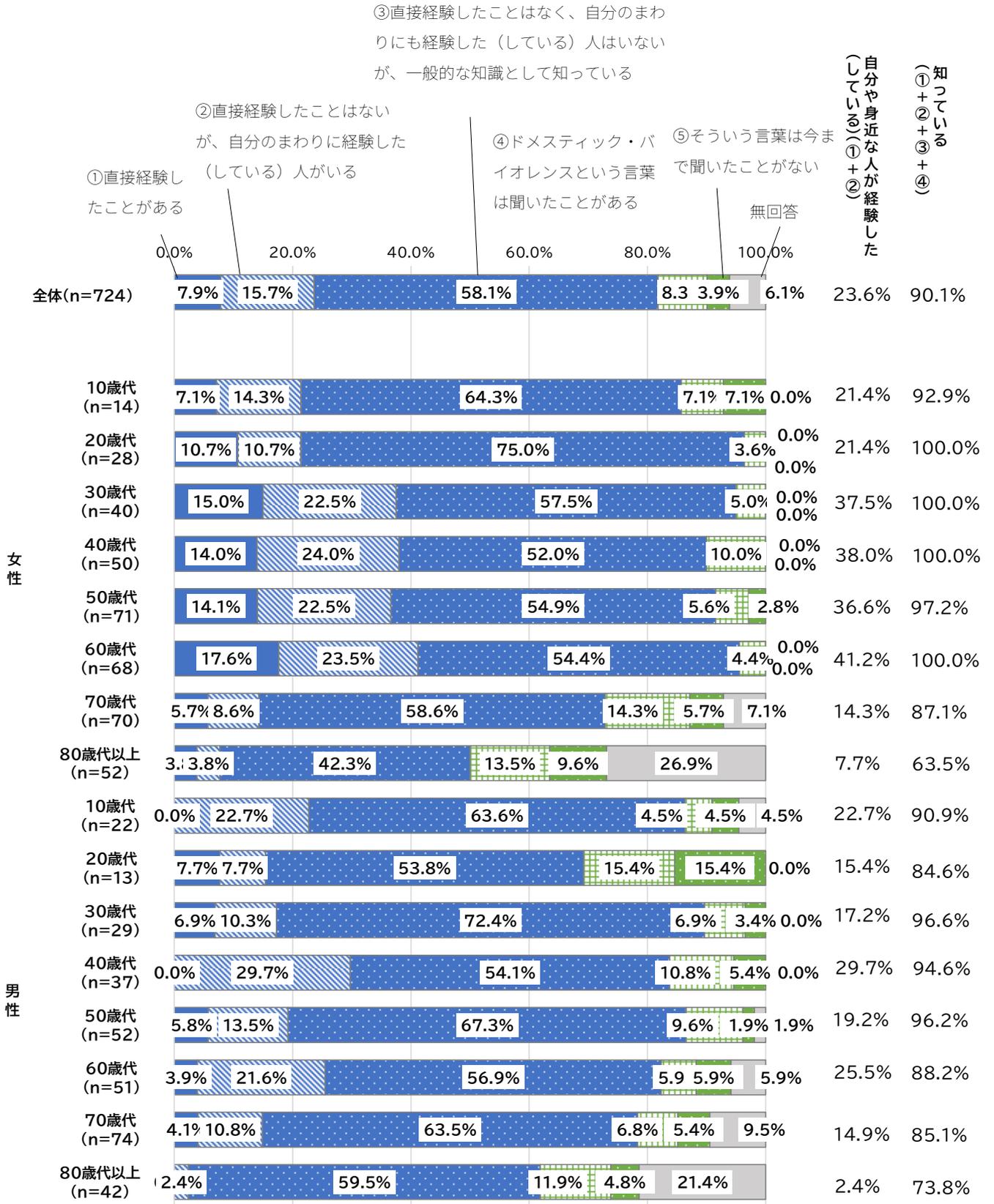
● 「認知している(「直接経験したことがある」、「直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる」、「一般的な知識として知っている」、「ドメスティック・バイオレンス(DV)という言葉は聞いたことはある」の計)」と回答した方(90.1%)について

- ・性別で比較すると、女性(92.1%)、男性(88.4%)で女性のほうが男性より3.7ポイント高い。
- ・男女ともに80歳以上の回答が最も低く、女性(63.5%)、男性(73.8%)であった。70歳代以下はどの年代も8割を超えていた。

【全体・性別】



## 【性別・年代別】





問11 ドメスティック・バイオレンス (DV) は配偶者 (パートナー) 間だけの問題ではなく、恋愛関係にある者の間でも同じような暴力 (デート DV) が起きています。あなたは、デート DV による被害を経験したり見聞きしたことがありますか。

- ・デート DV について「一般的な知識として知っている」(52.1%) が最も高く、次いで「今まで聞いたことがない」(18.8%)、「言葉は聞いたことがある」(11.5%) となっている。
- ・「自分や身近な人が経験した (している) (「直接経験したことがある」、「自分のまわりに経験した (している) 人がいる」の計)」と回答した割合は 11.5% であった。
- ・「自分や身近な人が経験した (している)」と回答した割合は女性 (14.5%)、男性 (8.1%) で女性のほうが男性より 6.4 ポイント高い。

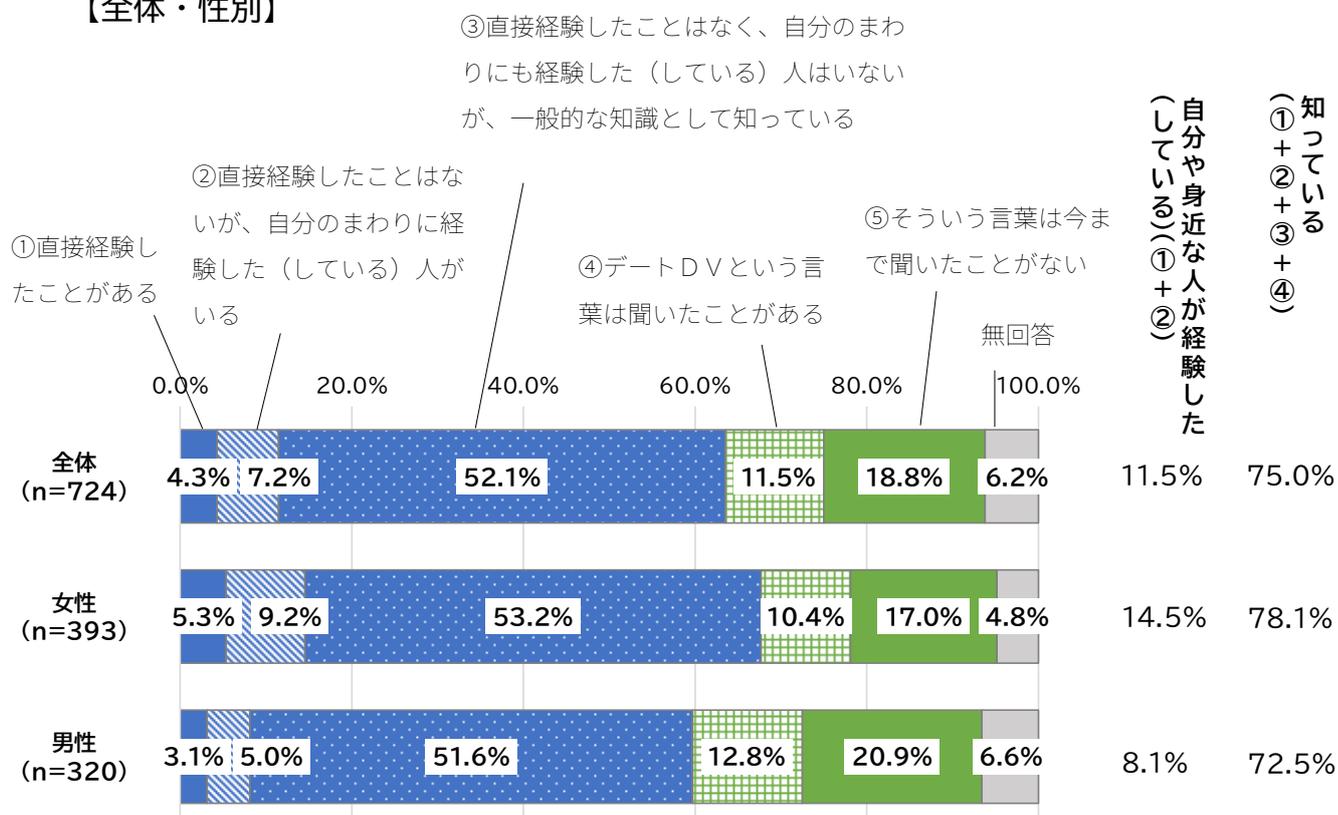
●「直接経験したことがある」と回答した方 (4.3%) について

- ・女性は 20 歳代 (17.9%) からの回答の割合が最も高くなっており、次いで 30 歳代 (10.0%) となっている。

●「認知している (「直接経験したことがある」、「直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した (している) 人がいる」、「一般的な知識として知っている」、「デート DV という言葉は聞いたことはある」の計)」と回答した方 (75.0%) について

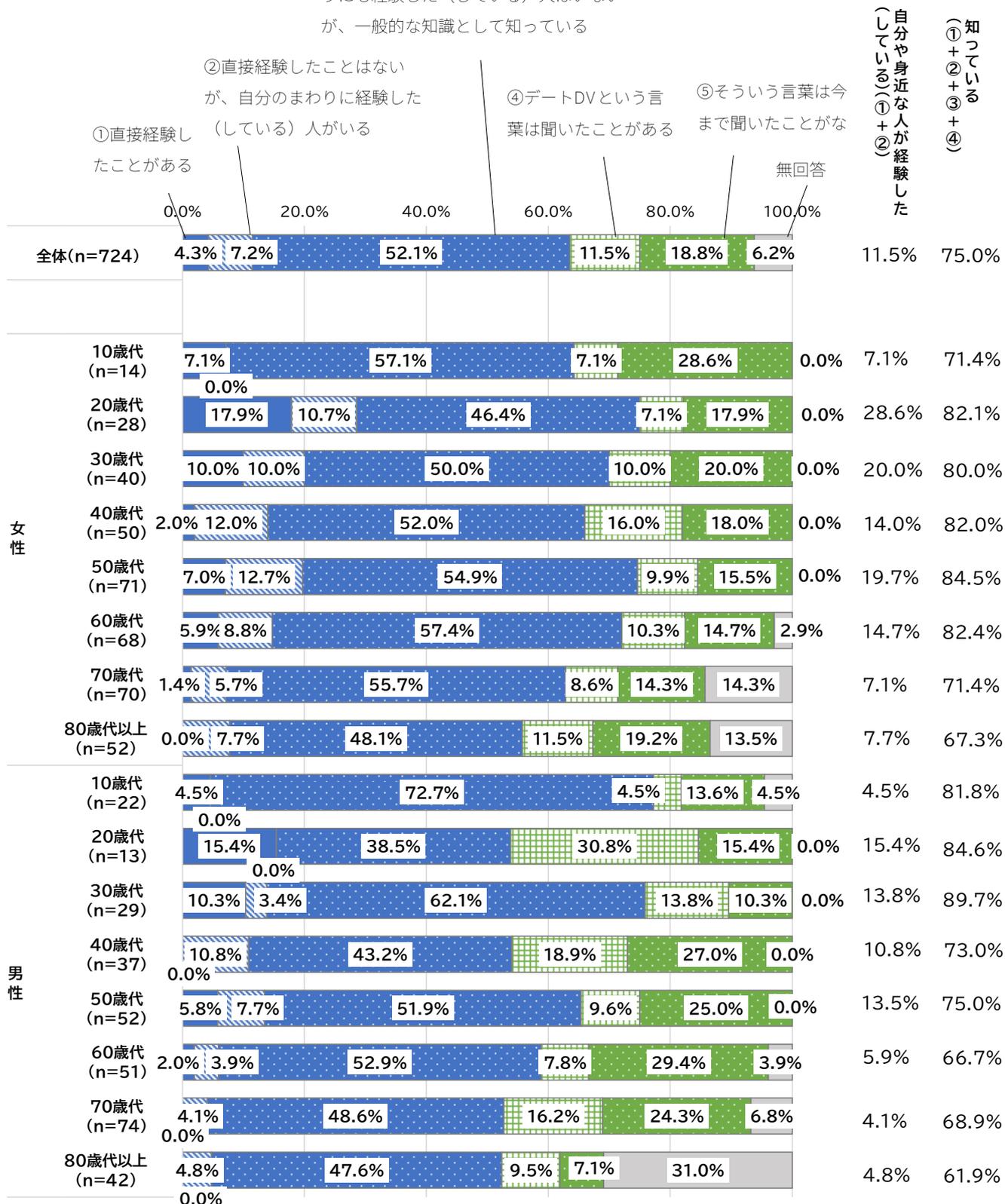
- ・性別で比較すると、女性 (78.1%)、男性 (72.5%) で女性のほうが男性より 5.6 ポイント高い。
- ・男女ともに 80 歳以上の回答割合が最も低く、女性 (67.3%)、男性 (61.9%) であった。次いで女性は 10 歳代、70 歳代がともに 71.4% で低く、男性は 60 歳代 (66.7%)、70 歳代 (68.9%) の順で低くなっている。

【全体・性別】



## 【性別・年代別】

③直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した（している）人はいないが、一般的な知識として知っている



問12 ドメスティック・バイオレンス（DV）やデートDVなどあらゆる暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などについて、知っているものはどれですか。

<複数回答>

・「警察」（43.6%）が最も高く、次いで、「島根県女性相談センター」（25.0%）、「島根県立心と体の相談センター」（14.4%）となっている。

●「松江市男女共同参画センター」を知っていると回答した方（10.6%）について

・女性では50歳代（16.9%）が最も高く、その他の年代でも知っていると回答した割合は1割程度であった。

●DVによる被害経験との関係について

・問10にて、DVを「直接経験したことがある」または「直接経験したことはないが自分のまわりに経験した（している）人がいる」と回答した方が相談窓口として知っていると回答した割合で最も高かったのは「警察」（計79.8%）であった。次いで、「島根県立女性相談センター」（計63.1%）であった。

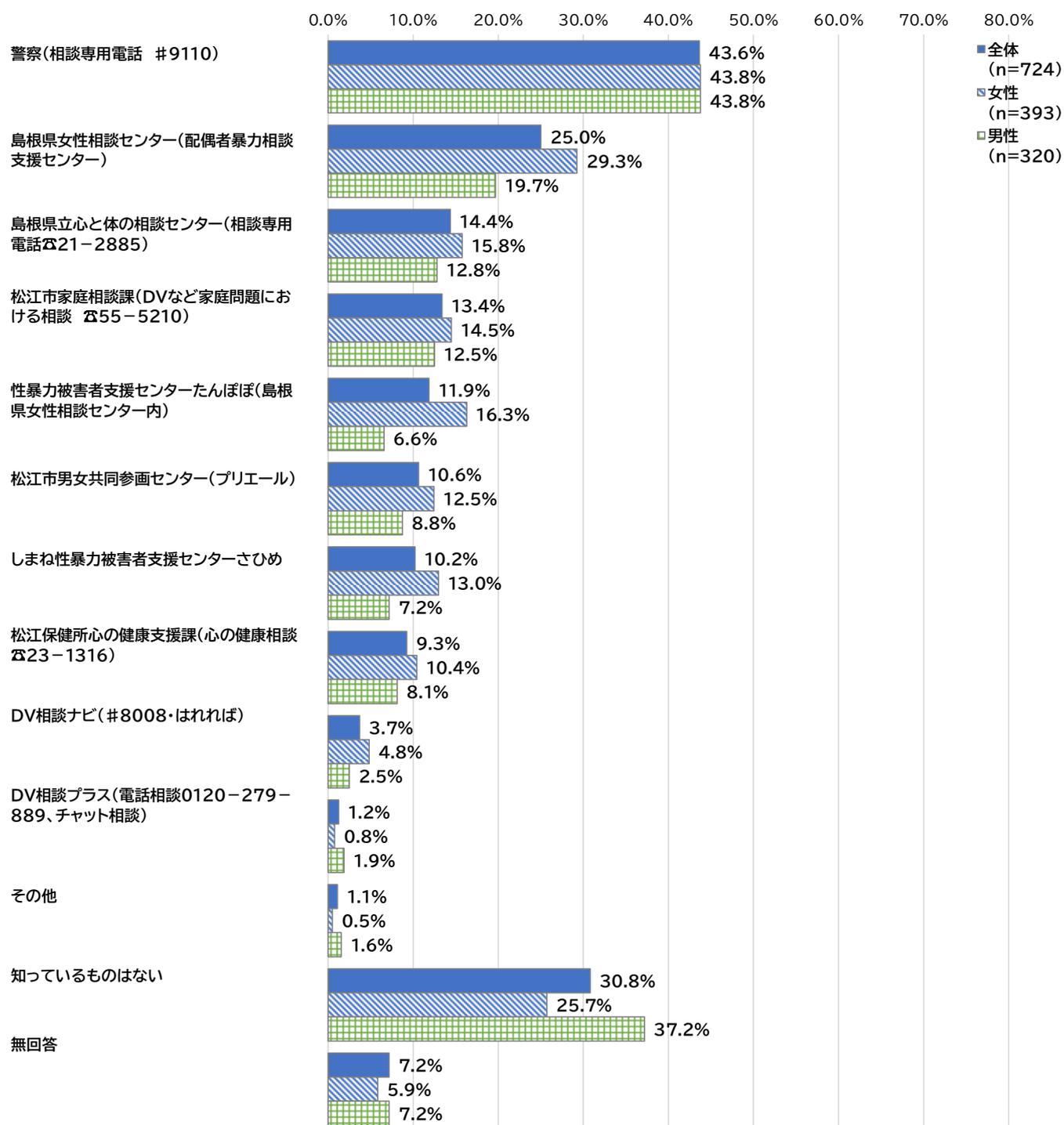
・DVを「直接経験したことがある」または「直接経験したことはないが自分のまわりに経験した（している）人がいる」と回答した方が「知っているものはない」と回答した割合は合計で59.7%であった。

●デートDVによる被害経験との関係について

・問11にて、デートDVを「直接経験したことがある」および「直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した（している）人がいる」と回答した方が相談窓口として知っていると回答した割合で最も高かったのは「警察」（計80.9%）で、次いで、「島根県立女性相談センター」（計72.6%）であった。

・デートDVを「直接経験したことがある」または「直接経験したことはないが自分のまわりに経験した（している）人がいる」と回答した方が「知っているものはない」と回答した割合は合計で45.8%であった。

## 【全体・性別／回答別】



【性別・年代別 クロス集計表】

		DV相談ナビ (#8008・はれば)	DV相談プラス (電話相談012012791889、チャット相談)	島根県女性相談センター(配偶者暴力相談支援センター) (相談専用電話☎2518071)	性暴力被害者支援センターたんぼぼ(島根県女性相談センター内) (相談専用ダイヤル☎2513010)	しまね性暴力被害者支援センターさひめ (相談専用ダイヤル☎2810889)	島根県立心と体の相談センター(相談専用電話☎2112885)	松江市家庭相談課(DVなど家庭問題における相談)☎5515210)	松江保健所心の健康支援課(心の健康相談)☎231316)	松江市男女共同参画センター(プリエール) (女性相談専用電話☎2512602)	警察(相談専用電話 #9110)	その他	知っているものはない	無回答	合計
全体(n=535)		3.7%	1.2%	25.0%	11.9%	10.2%	14.4%	13.4%	9.3%	10.6%	43.6%	1.1%	30.8%	7.2%	100.0%
女性	10歳代(n=8)	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	50.0%	0.0%	35.7%	0.0%	100.0%
	20歳代(n=16)	3.6%	0.0%	35.7%	28.6%	21.4%	28.6%	25.0%	3.6%	10.7%	60.7%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%
	30歳代(n=34)	2.5%	0.0%	30.0%	32.5%	20.0%	10.0%	15.0%	17.5%	12.5%	50.0%	0.0%	17.5%	0.0%	100.0%
	40歳代(n=38)	12.0%	0.0%	32.0%	34.0%	24.0%	24.0%	16.0%	2.0%	12.0%	46.0%	0.0%	26.0%	0.0%	100.0%
	50歳代(n=59)	7.0%	1.4%	33.8%	15.5%	15.5%	18.3%	14.1%	11.3%	16.9%	43.7%	1.4%	23.9%	2.8%	100.0%
	60歳代(n=53)	1.5%	1.5%	32.4%	8.8%	17.6%	19.1%	4.4%	11.8%	10.3%	39.7%	1.5%	29.4%	2.9%	100.0%
	70歳代(n=46)	4.3%	1.4%	22.9%	7.1%	1.4%	11.4%	20.0%	11.4%	11.4%	48.6%	0.0%	27.1%	8.6%	100.0%
	80歳代以上(n=30)	3.8%	0.0%	21.2%	3.8%	1.9%	3.8%	13.5%	11.5%	11.5%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	100.0%
男性	10歳代(n=16)	0.0%	0.0%	27.3%	4.5%	0.0%	22.7%	22.7%	0.0%	13.6%	50.0%	0.0%	36.4%	4.5%	100.0%
	20歳代(n=5)	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%	7.7%	0.0%	30.8%	0.0%	53.8%	0.0%	100.0%
	30歳代(n=20)	3.4%	0.0%	10.3%	0.0%	3.4%	6.9%	17.2%	3.4%	0.0%	51.7%	3.4%	37.9%	0.0%	100.0%
	40歳代(n=26)	0.0%	0.0%	16.2%	10.8%	5.4%	8.1%	8.1%	2.7%	2.7%	48.6%	2.7%	43.2%	0.0%	100.0%
	50歳代(n=37)	1.9%	0.0%	26.9%	7.7%	15.4%	26.9%	11.5%	9.6%	9.6%	50.0%	1.9%	34.6%	0.0%	100.0%
	60歳代(n=43)	5.9%	2.0%	19.6%	3.9%	11.8%	15.7%	11.8%	11.8%	13.7%	41.2%	0.0%	39.2%	5.9%	100.0%
	70歳代(n=62)	1.4%	4.1%	17.6%	5.4%	2.7%	4.1%	10.8%	6.8%	6.8%	39.2%	2.7%	40.5%	9.5%	100.0%
	80歳代以上(n=36)	4.8%	4.8%	21.4%	11.9%	9.5%	9.5%	16.7%	16.7%	16.7%	38.1%	0.0%	21.4%	28.6%	100.0%

【性別・配偶関係別 クロス集計表】

		DV相談ナビ (#8008・はれば)	DV相談プラス (電話相談0120-279-889、チャット相談)	島根県女性相談センター (相談専用電話25-8071)	性暴力被害者支援センターたんぽぽ (相談専用ダイヤル25-3010)	しまね性暴力被害者支援センターさひめ (相談専用ダイヤル28-0889)	島根県立心と体の相談センター (相談専用電話21-2885)	松江市家庭相談課(DVなど家庭問題における相談) (55-5210)	松江保健所心の健康支援課(心の健康相談) (23-1316)	松江市男女共同参画センター(プリエール) (女性相談専用電話25-2602)	警察(相談専用電話 #9110)	その他	知っているものはない	無回答	合計
全体	配偶関係にある(n=968)	3.7%	1.7%	24.7%	11.4%	9.0%	15.0%	12.7%	8.8%	10.5%	43.4%	1.1%	32.7%	6.4%	100.0%
	配偶関係にない(n=353)	3.7%	0.0%	25.9%	13.2%	13.8%	12.7%	15.3%	10.6%	11.1%	44.4%	1.1%	25.4%	9.5%	100.0%
女性	配偶関係にある(n=539)	5.3%	1.1%	28.2%	16.2%	10.9%	17.6%	13.0%	9.5%	11.3%	43.3%	0.4%	27.5%	5.6%	100.0%
	配偶関係にない(n=220)	3.7%	0.0%	32.1%	16.5%	18.3%	11.0%	18.3%	12.8%	15.6%	45.0%	0.9%	21.1%	6.4%	100.0%
男性	配偶関係にある(n=422)	2.0%	2.4%	20.8%	6.1%	6.9%	12.2%	12.7%	8.2%	9.8%	44.1%	2.0%	38.4%	6.5%	100.0%
	配偶関係にない(n=121)	4.0%	0.0%	16.0%	8.0%	8.0%	14.7%	12.0%	8.0%	5.3%	42.7%	0.0%	33.3%	9.3%	100.0%

【性別・問10 DVによる被害経験 クロス集計表】

		DV相談ナビ (#8008・はれれば)	DV相談プラス (電話相談012012791889、チャット相談)	島根県女性相談センター (相談専用電話☎2518071)	性暴力被害者支援センターたんぽぽ (相談専用ダイヤル☎2513010)	しまね性暴力被害者支援センターさひめ (相談専用ダイヤル☎2810889)	島根県立心と体の相談センター (相談専用電話☎212885)	松江市家庭相談課 (DVなど家庭問題における相談☎5515210)	松江保健所心の健康支援課 (心の健康相談 ☎231316)	松江市男女共同参画センター (ブリエール) (女性相談専用電話☎2512602)	警察(相談専用電話 #9110)	その他	知っているものはない	無回答	合計
全体	直接経験したことがある(n=57)	3.5%	1.8%	29.8%	22.8%	17.5%	15.8%	7.0%	12.3%	10.5%	29.8%	0.0%	31.6%	3.5%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる(n=114)	7.9%	0.9%	33.3%	17.5%	14.9%	14.9%	16.7%	11.4%	15.8%	50.0%	1.8%	28.1%	2.6%	100.0%
	直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=421)	3.1%	1.4%	26.1%	11.6%	10.0%	16.6%	14.7%	9.7%	10.0%	48.5%	1.4%	29.2%	4.5%	100.0%
	ドメスティック・バイオレンス(DV)という言葉は聞いたことがある(n=60)	3.3%	0.0%	10.0%	3.3%	3.3%	5.0%	3.3%	3.3%	10.0%	30.0%	0.0%	48.3%	6.7%	100.0%
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=28)	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%	10.7%	21.4%	7.1%	7.1%	35.7%	0.0%	39.3%	7.1%	100.0%
	無回答(n=46)	2.2%	2.2%	13.0%	4.3%	2.2%	4.3%	8.7%	4.3%	6.5%	21.7%	0.0%	21.7%	47.8%	100.0%
女性	直接経験したことがある(n=45)	4.4%	2.2%	28.9%	26.7%	22.2%	17.8%	6.7%	11.1%	13.3%	31.1%	0.0%	26.7%	2.2%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる(n=66)	9.1%	1.5%	40.9%	21.2%	18.2%	21.2%	22.7%	13.6%	18.2%	54.5%	1.5%	21.2%	1.5%	100.0%
	直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=218)	3.7%	0.0%	29.8%	15.6%	12.4%	16.5%	14.2%	10.1%	10.6%	49.5%	0.5%	23.9%	4.1%	100.0%
	ドメスティック・バイオレンス(DV)という言葉は聞いたことがある(n=33)	6.1%	0.0%	15.2%	6.1%	6.1%	6.1%	3.0%	6.1%	15.2%	30.3%	0.0%	42.4%	6.1%	100.0%
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=12)	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	58.3%	8.3%	100.0%
	無回答(n=19)	5.3%	5.3%	21.1%	10.5%	0.0%	5.3%	21.1%	5.3%	10.5%	15.8%	0.0%	10.5%	47.4%	100.0%
男性	直接経験したことがある(n=11)	0.0%	0.0%	36.4%	9.1%	0.0%	9.1%	9.1%	18.2%	0.0%	27.3%	0.0%	54.5%	0.0%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる(n=47)	6.4%	0.0%	23.4%	12.8%	10.6%	6.4%	8.5%	8.5%	12.8%	44.7%	2.1%	38.3%	2.1%	100.0%
	直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=198)	2.5%	3.0%	21.2%	7.1%	7.6%	16.7%	15.7%	9.6%	9.6%	46.5%	2.0%	35.4%	5.1%	100.0%
	ドメスティック・バイオレンス(DV)という言葉は聞いたことがある(n=27)	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	3.7%	0.0%	3.7%	29.6%	0.0%	55.6%	7.4%	100.0%
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=16)	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%	12.5%	12.5%	18.8%	0.0%	6.3%	56.3%	0.0%	25.0%	6.3%	100.0%
	無回答(n=21)	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	4.8%	4.8%	33.3%	0.0%	28.6%	42.9%	100.0%

【性別・問11 デートDVによる被害経験 クロス集計表】

		DV相談ナビ (#8008・はれば)	DV相談プラス (電話相談0120-279-889、チャット相談)	高根県女性相談センター (相談専用電話 ☎25-8071)	性暴力被害者支援センターたんぼほ (相談専用ダイヤル ☎25-3010)	しまね性暴力被害者支援センターさひめ (相談専用ダイヤル ☎28-0889)	島根県立心と体の相談センター (相談専用電話 ☎212885)	松江市家庭相談課 (DVなど家庭問題における相談 ☎55-5210)	松江市保健所の健康支援課 (心の健康相談 ☎231316)	松江市男女共同参画センター (プリアール) (女性相談専用電話 ☎25-2602)	警察 (相談専用電話 #9110)	その他	知っているものはない	無回答	合計
全体	直接経験したことがある(n=57)	3.2%	0.0%	22.6%	25.8%	6.5%	19.4%	9.7%	9.7%	9.7%	29.0%	0.0%	32.3%	3.2%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がある(n=114)	7.7%	1.9%	50.0%	30.8%	21.2%	15.4%	23.1%	13.5%	15.4%	51.9%	3.8%	13.5%	1.9%	100.0%
	直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=421)	4.5%	1.9%	29.4%	11.7%	12.5%	18.6%	16.7%	10.1%	11.9%	51.2%	0.8%	28.1%	2.1%	100.0%
	デートDVという言葉聞いたことがある(n=60)	2.4%	0.0%	16.9%	9.6%	8.4%	6.0%	3.6%	7.2%	4.8%	43.4%	2.4%	37.3%	3.6%	100.0%
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=28)	1.5%	0.0%	14.0%	6.6%	4.4%	10.3%	9.6%	8.1%	9.6%	32.4%	0.7%	47.8%	3.7%	100.0%
	無回答(n=46)	2.1%	2.1%	8.5%	2.1%	2.1%	2.1%	6.4%	4.3%	8.5%	14.9%	0.0%	8.5%	72.3%	100.0%
女性	直接経験したことがある(n=21)	4.4%	2.2%	28.9%	26.7%	22.2%	17.8%	6.7%	11.1%	13.3%	31.1%	0.0%	26.7%	2.2%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がある(n=36)	9.1%	1.5%	40.9%	21.2%	18.2%	21.2%	22.7%	13.6%	18.2%	54.5%	1.5%	21.2%	1.5%	100.0%
	直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=209)	3.7%	0.0%	29.8%	15.6%	12.4%	16.5%	14.2%	10.1%	10.6%	49.5%	0.5%	23.9%	4.1%	100.0%
	デートDVという言葉聞いたことがある(n=41)	6.1%	0.0%	15.2%	6.1%	6.1%	6.1%	3.0%	6.1%	15.2%	30.3%	0.0%	42.4%	6.1%	100.0%
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=67)	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	25.0%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	58.3%	8.3%	100.0%
	無回答(n=19)	5.3%	5.3%	21.1%	10.5%	0.0%	5.3%	21.1%	5.3%	10.5%	15.8%	0.0%	10.5%	47.4%	100.0%
男性	直接経験したことがある(n=10)	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%	40.0%	0.0%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がある(n=16)	12.5%	0.0%	50.0%	25.0%	12.5%	6.3%	6.3%	12.5%	12.5%	50.0%	6.3%	25.0%	0.0%	100.0%
	直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=165)	3.0%	3.6%	22.4%	5.5%	9.7%	18.8%	16.4%	8.5%	9.7%	49.1%	1.2%	36.4%	2.4%	100.0%
	デートDVという言葉聞いたことがある(n=41)	0.0%	0.0%	14.6%	7.3%	7.3%	2.4%	7.3%	4.9%	0.0%	56.1%	4.9%	34.1%	2.4%	100.0%
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=67)	1.5%	0.0%	10.4%	6.0%	3.0%	7.5%	10.4%	9.0%	11.9%	32.8%	0.0%	53.7%	1.5%	100.0%
	無回答(n=21)	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	9.5%	14.3%	0.0%	4.8%	81.0%	100.0%

### 問13 セクシュアル・ハラスメント（性的ないやがらせ）による被害を経験したり見聞きしたことがありますか。

・「一般的な知識として知っている」(51.8%) が最も多く、次いで「セクハラという言葉は聞いたことがある」(14.5%)、「経験したことはないがまわりに経験した(している)人がいる」(13.5%)となっている。

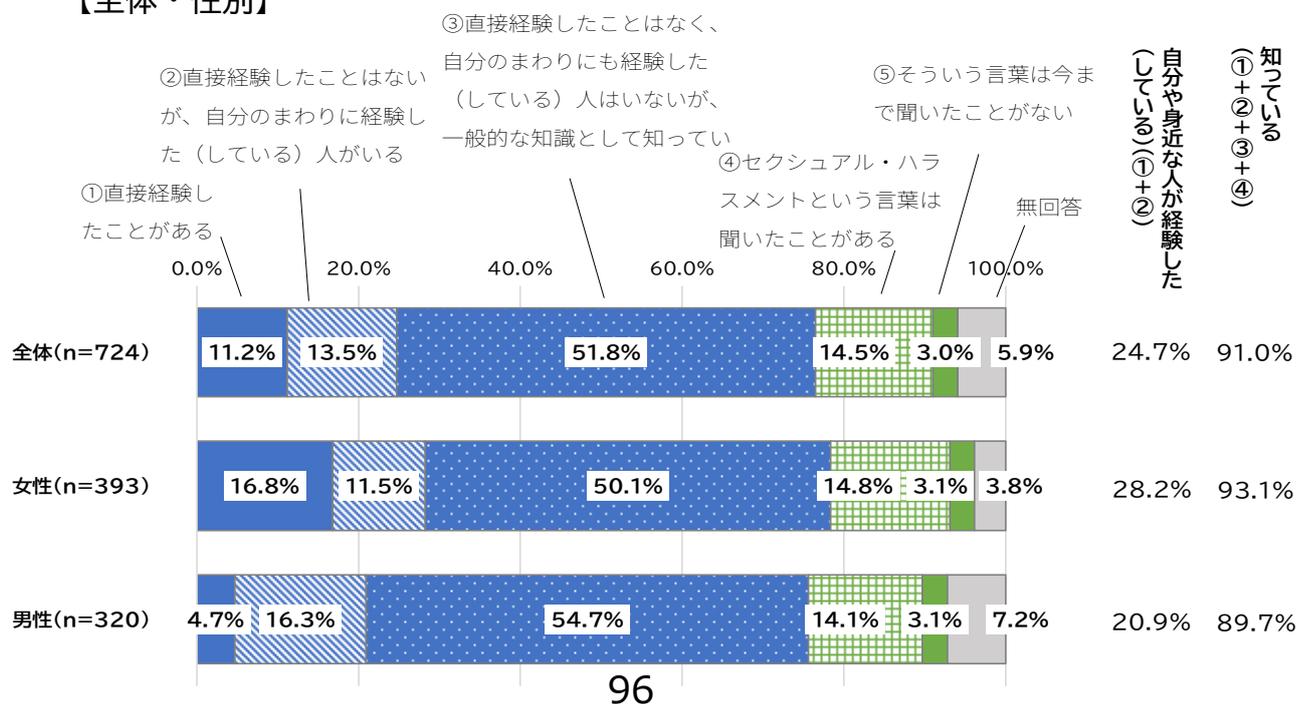
#### ●「直接経験したことがある」と回答した方(11.2%)について

- ・性別で比較すると、女性(16.8%)に対して男性(4.7%)と女性のほうが12.1ポイント高い。
- ・R2松江市調査と比較すると、女性(12.9%(R2年度)→16.8%(今回)、3.9ポイント増)、男性(3.2%→4.7%、1.5ポイント増)ともに上昇傾向にある。
- ・女性は40歳代(26.0%)が最も高くなっており、20歳代~60歳代は2割以上が「直接経験したことがある」と回答している。**男性は20歳代(23.1%)が最も高く、次いで30歳代(13.8%)となっている。**
- ・労働形態別では、男女ともに「パート・アルバイト」(女性25.4%、男性11.1%)が最も多く、次いで「契約社員・派遣社員」(女性22.2%、男性5.9%)「常勤」(女性20.5%、男性5.6%)となっている。
- ・問10のDVの被害経験別に見ると、DV被害の直接経験者はDVを知らない人よりもセクハラ被害の直接経験者割合が高くなっている(DVの直接経験あり36.8%、DVという言葉は聞いたことはある0.0%、そういう言葉は今まで聞いたことはがない3.6%)。
- ・問11のデートDVの被害経験別に見ると、デートDV被害の直接経験者はデートDVを知らない人よりもセクハラ被害の直接経験者割合が高くなっており(デートDVの直接経験あり41.9%、デートDVという言葉聞いたことはある8.4%、そういう言葉を今まで聞いたことはがない7.4%)、DVの経験別と同じ傾向が見られた。

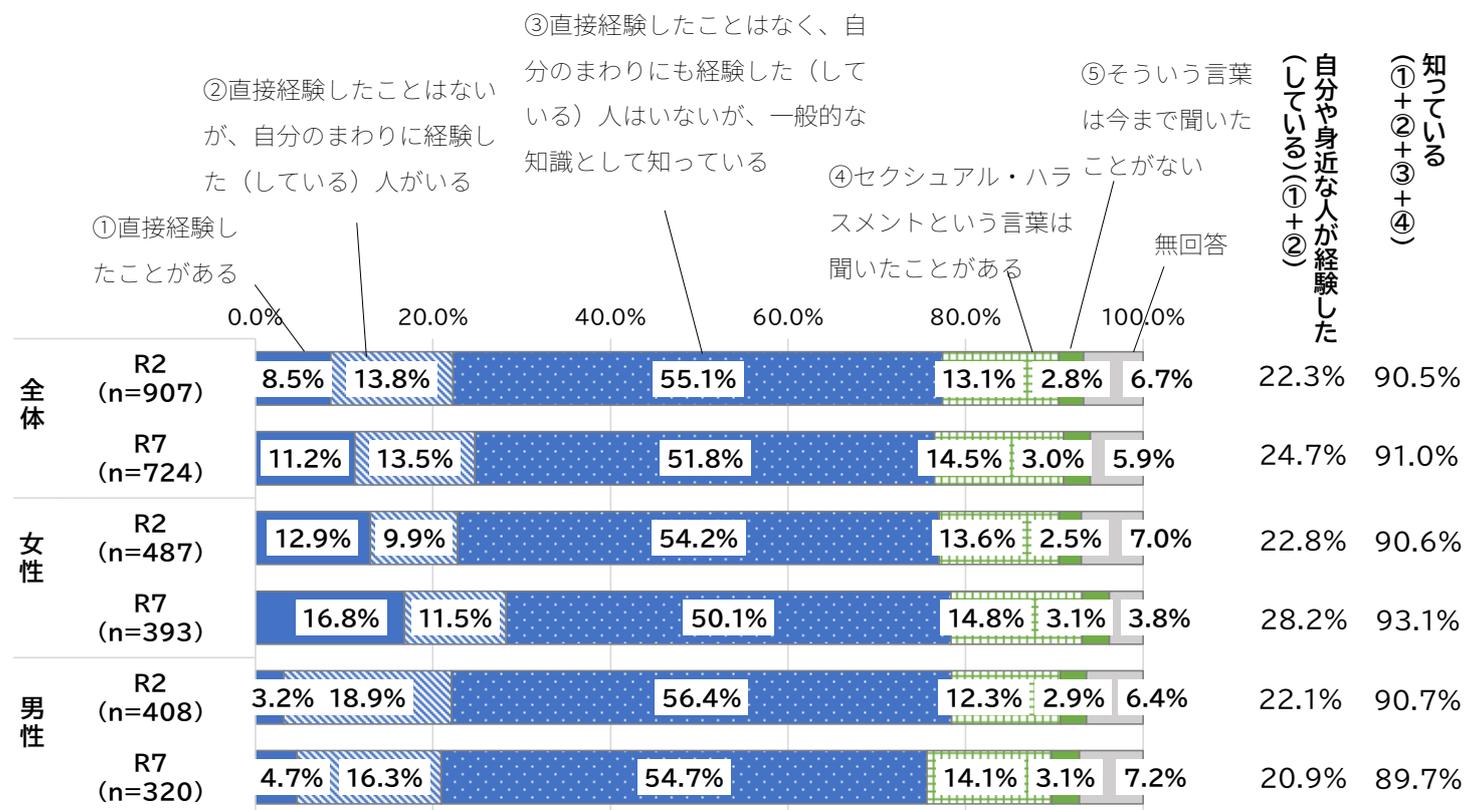
#### ●「一般的な知識として知っている」と回答した方(51.8%)について

- ・性別で比較すると、女性(50.1%)に対して男性(54.7%)と男性のほうが4.6ポイント高い。
- ・女性では80歳以上の(38.5%)が最も低くなっており、男性では20歳代(30.8%)が最も低くなっている。

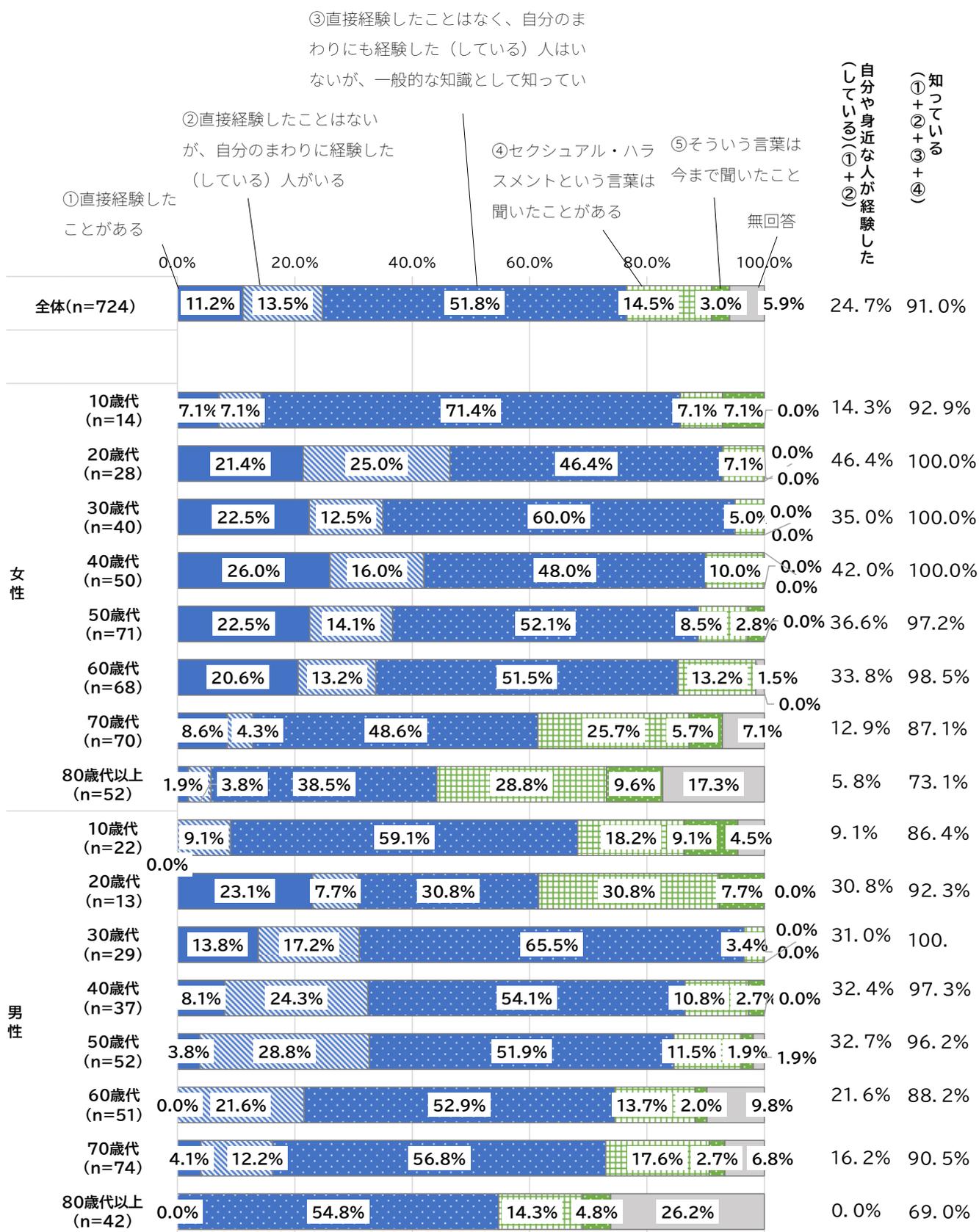
#### 【全体・性別】



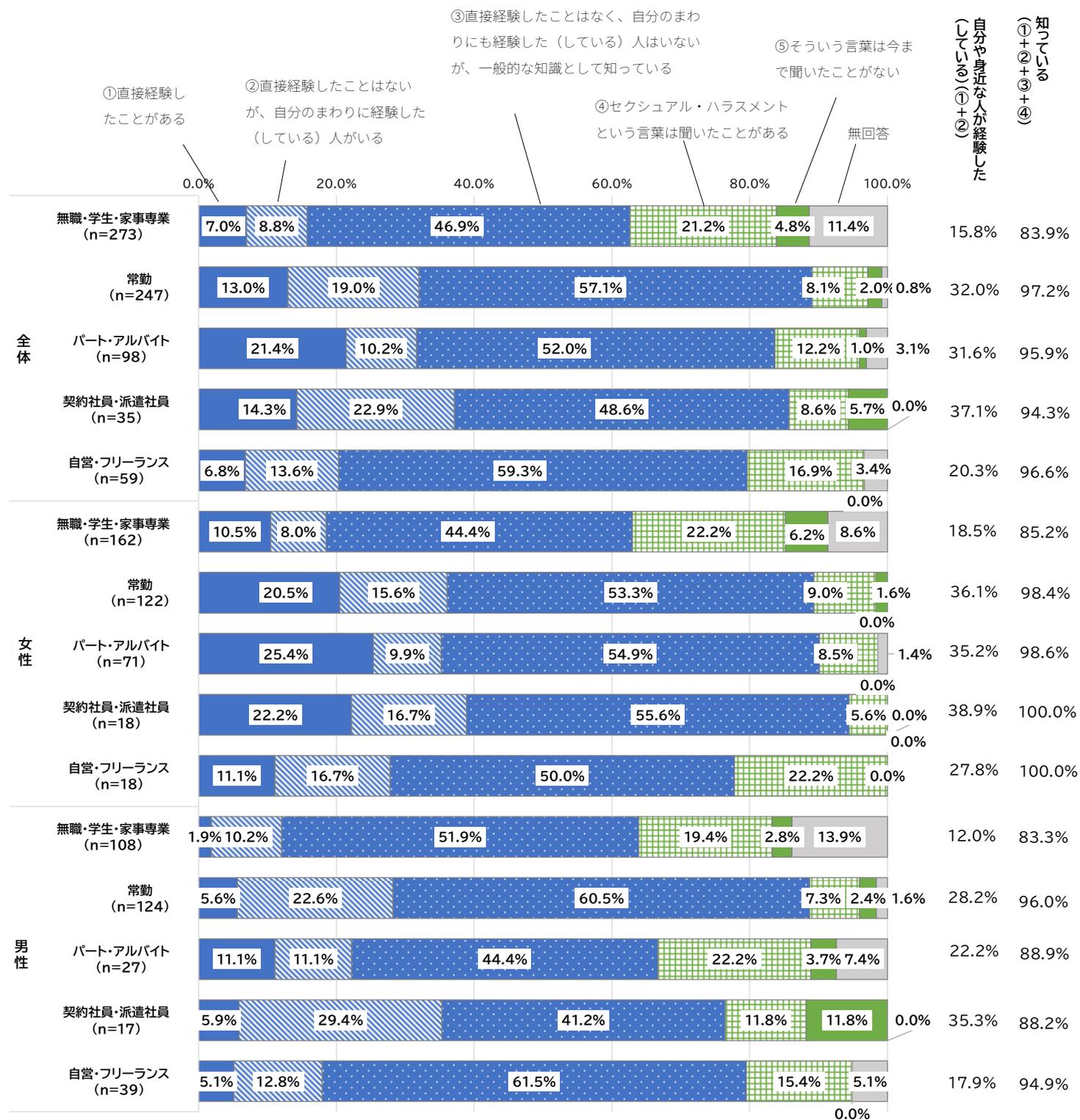
## 【前回比較／全体・性別】



## 【性別・年代別】



## 【性別・労働形態別】



【性別・問10 DVによる被害経験 クロス集計表】

		直接経験したことがある	(直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる)	一般的知識として知っている	直接経験したことはないが、自分のまわりにも経験した(している)人はいるが、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている	ドメスティック・バイオレンス(DV)という言葉は聞いたことがある	そういう言葉は今まで聞いたことがない	無回答	合計
全体	直接経験したことがある(n=81)	36.8%	20.2%	8.6%	0.0%	3.6%	0.0%	100.0%	
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる(n=98)	14.0%	29.8%	12.4%	3.3%	0.0%	4.3%	100.0%	
	直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=375)	35.1%	41.2%	66.7%	21.7%	28.6%	13.0%	100.0%	
	セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)という言葉聞いたことはある(n=105)	8.8%	6.1%	9.5%	65.0%	7.1%	26.1%	100.0%	
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=22)	1.8%	0.9%	0.5%	3.3%	50.0%	4.3%	100.0%	
	無回答(n=43)	3.5%	1.8%	2.4%	6.7%	10.7%	52.2%	100.0%	
女性	直接経験したことがある(n=66)	37.8%	28.8%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる(n=45)	13.3%	27.3%	9.2%	0.0%	0.0%	5.3%	100.0%	
	直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=197)	37.8%	37.9%	64.7%	24.2%	33.3%	10.5%	100.0%	
	セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)という言葉聞いたことはある(n=58)	8.9%	6.1%	10.1%	63.6%	0.0%	36.8%	100.0%	
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=12)	2.2%	0.0%	0.5%	6.1%	58.3%	5.3%	100.0%	
	無回答(n=15)	0.0%	0.0%	1.8%	6.1%	8.3%	42.1%	100.0%	
男性	直接経験したことがある(n=15)	36.4%	8.5%	3.0%	0.0%	6.3%	0.0%	100.0%	
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる(n=52)	18.2%	34.0%	15.7%	7.4%	0.0%	4.8%	100.0%	
	直接経験したことはなく、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=175)	27.3%	46.8%	69.2%	18.5%	25.0%	19.0%	100.0%	
	セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)という言葉聞いたことはある(n=45)	9.1%	6.4%	8.6%	66.7%	12.5%	19.0%	100.0%	
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=10)	0.0%	2.1%	0.5%	0.0%	43.8%	4.8%	100.0%	
	無回答(n=23)	9.1%	2.1%	3.0%	7.4%	12.5%	52.4%	100.0%	

【性別・問11 デートDVによる被害経験 クロス集計表】

		直接経験したことがある	(直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる)	直接経験したことはないが、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている	デートDVという言葉聞いたことがある	そういう言葉は今まで聞いたことがない	無回答	合計
全体	直接経験したことがある(n=81)	41.9%	28.8%	9.3%	8.4%	7.4%	2.1%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる(n=98)	16.1%	36.5%	11.7%	12.0%	14.0%	2.1%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=375)	35.5%	28.8%	67.9%	36.1%	44.1%	6.4%	100.0%
	セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)という言葉聞いたことはある(n=105)	6.5%	5.8%	9.0%	37.3%	20.6%	14.9%	100.0%
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=22)	0.0%	0.0%	0.5%	1.2%	12.5%	4.3%	100.0%
	無回答(n=43)	0.0%	0.0%	1.6%	4.8%	1.5%	70.2%	100.0%
女性	直接経験したことがある(n=66)	38.1%	36.1%	14.4%	17.1%	10.4%	5.3%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる(n=45)	14.3%	30.6%	10.0%	7.3%	9.0%	5.3%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=197)	42.9%	30.6%	62.7%	26.8%	49.3%	10.5%	100.0%
	セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)という言葉聞いたことはある(n=58)	4.8%	2.8%	11.5%	39.0%	16.4%	26.3%	100.0%
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=12)	0.0%	0.0%	0.5%	2.4%	13.4%	5.3%	100.0%
	無回答(n=15)	0.0%	0.0%	1.0%	7.3%	1.5%	47.4%	100.0%
男性	直接経験したことがある(n=15)	50.0%	12.5%	3.0%	0.0%	4.5%	0.0%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりに経験した(している)人がいる(n=52)	20.0%	50.0%	13.9%	17.1%	17.9%	0.0%	100.0%
	直接経験したことはないが、自分のまわりにも経験した(している)人はいないが、一般的な知識として知っている(n=175)	20.0%	25.0%	74.5%	43.9%	40.3%	4.8%	100.0%
	セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)という言葉聞いたことはある(n=45)	10.0%	12.5%	6.1%	36.6%	23.9%	4.8%	100.0%
	そういう言葉は今まで聞いたことがない(n=10)	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	11.9%	4.8%	100.0%
	無回答(n=23)	0.0%	0.0%	1.8%	2.4%	1.5%	85.7%	100.0%

■男女共同参画に関する用語等について

問14 次のような言葉やことごとについて知っていますか。

※「内容をよく知っている」「内容について少しは知っている」「聞いたことはある」と回答した方を「認知している（認知度がある）」として分析を行う。

- ・認知度が最も高い言葉は「男女共同参画」(84.9%)で、次いで「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」(79.6%)であった。
- ・「まったく知らない」と回答した割合が高いのは「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（困難女性支援法）」(62.2%)、次いで「松江市男女共同参画センター（プリエール）」(50.7%)であった。

●「男女共同参画」という用語の認知度について

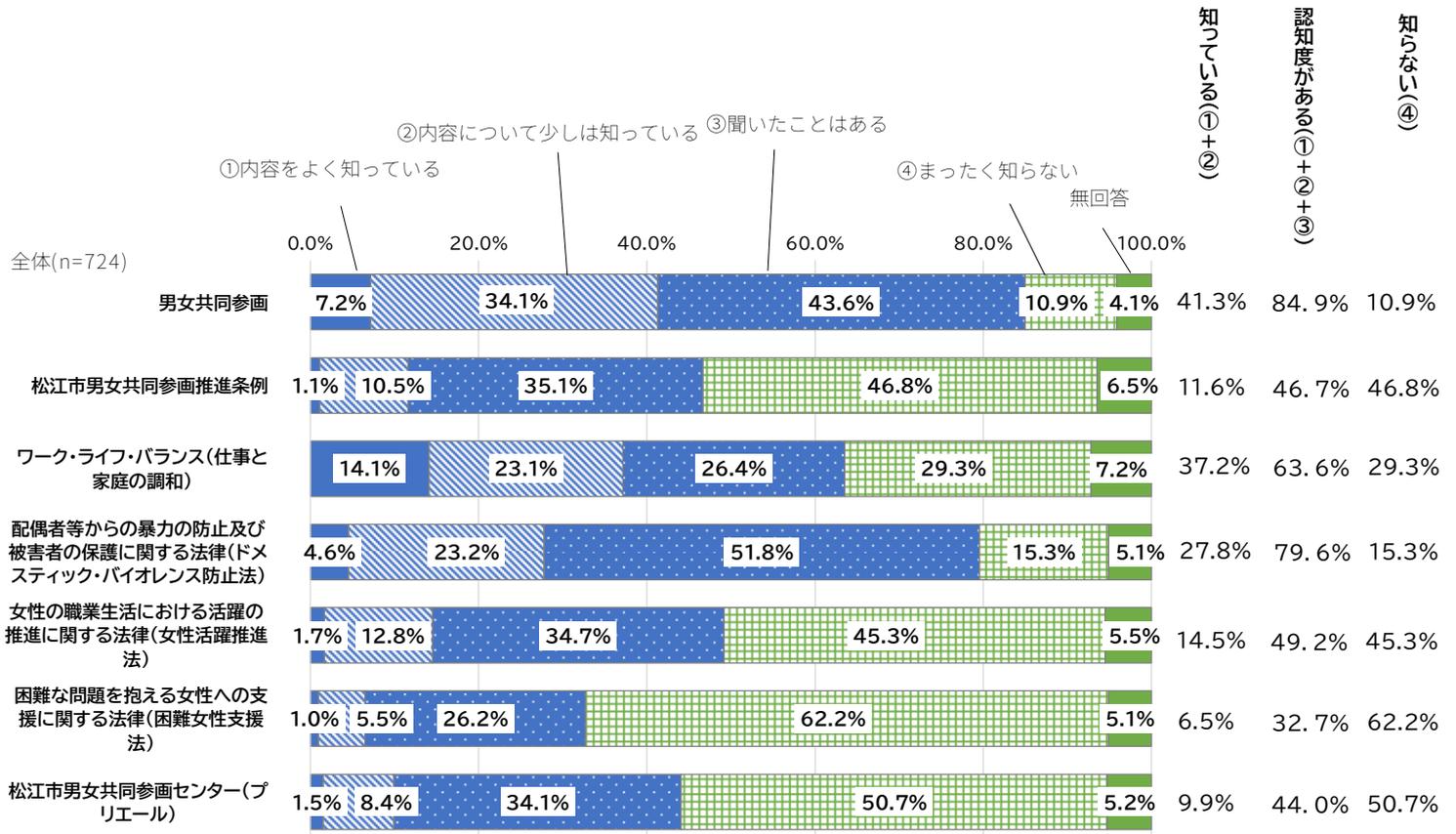
・「男女共同参画」について「認知している」と回答した割合は84.9%であり、第3次松江市男女共同参画計画の目標値(90%)には届かなかった。

●「DV防止法」という用語の認知度について

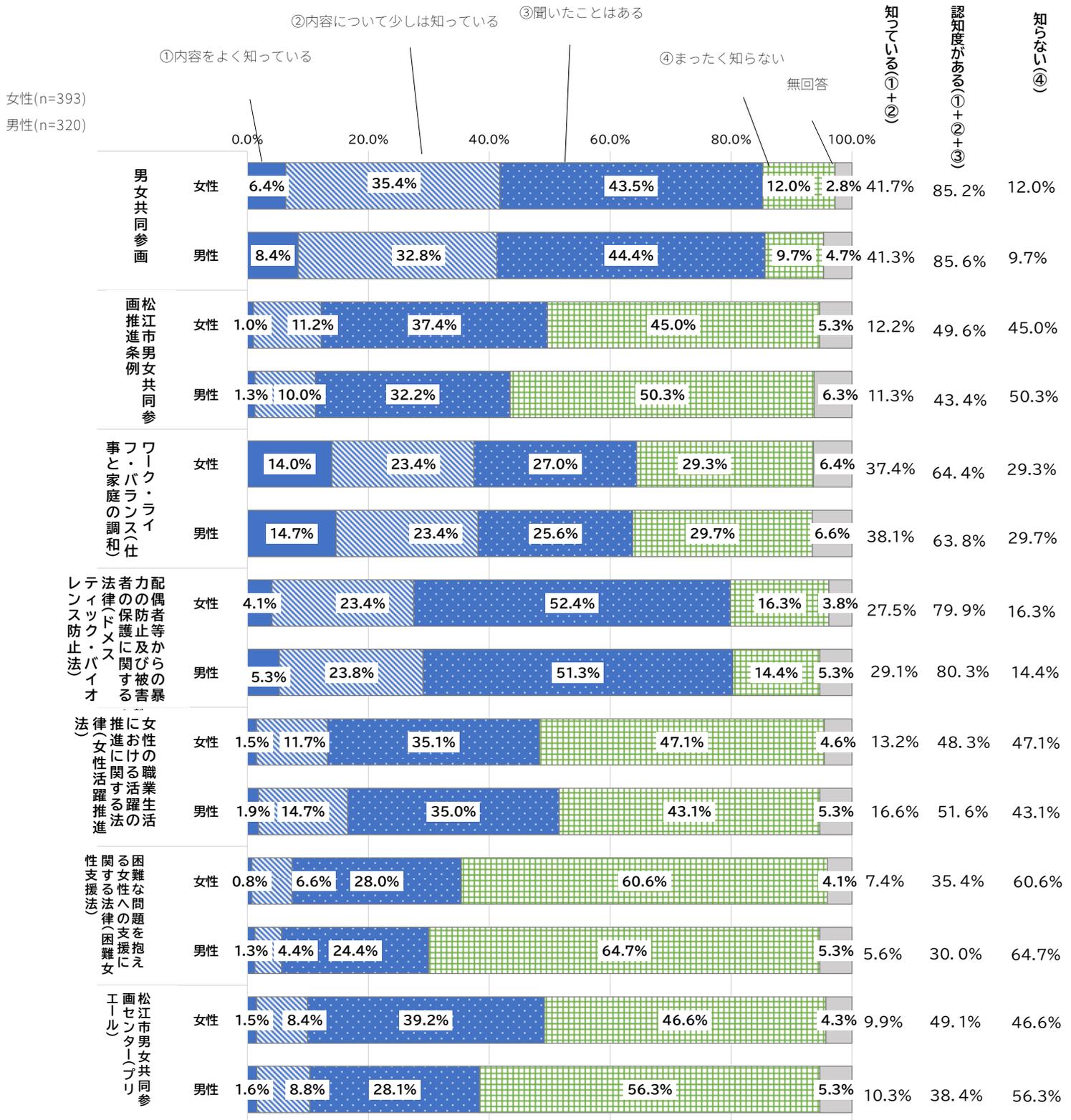
・「DV防止法」について「知っている（「内容を知っている」、「内容について少しは知っている」の計）」と回答した割合は27.8%となっており、第3次松江市男女共同参画計画の目標値(70%)には届かなかった。

・DVを「直接経験したことがある」と回答した方でも「DV防止法」を「知っている」と回答した割合は24.6%と3割以下となっている。

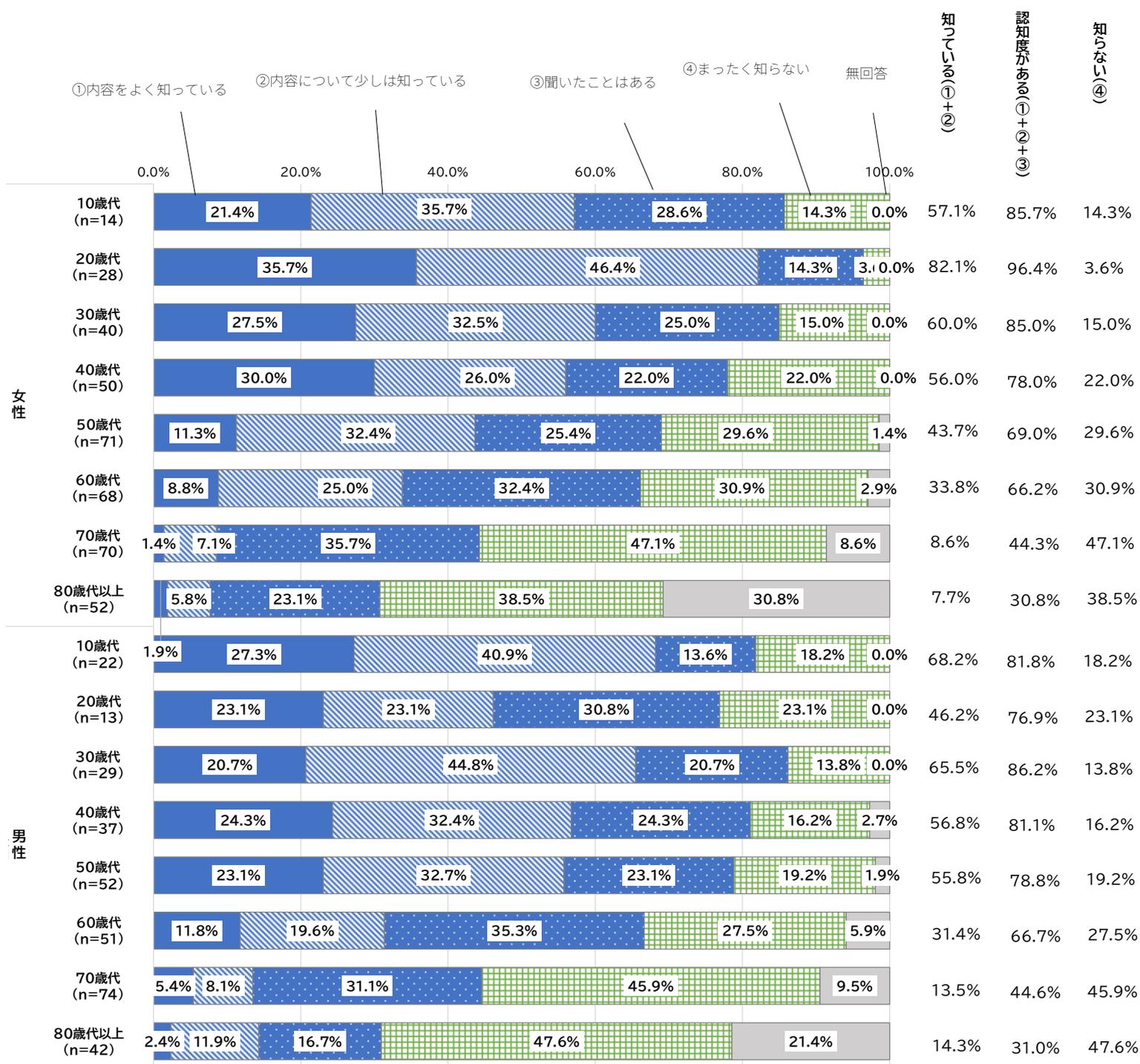
【全体】



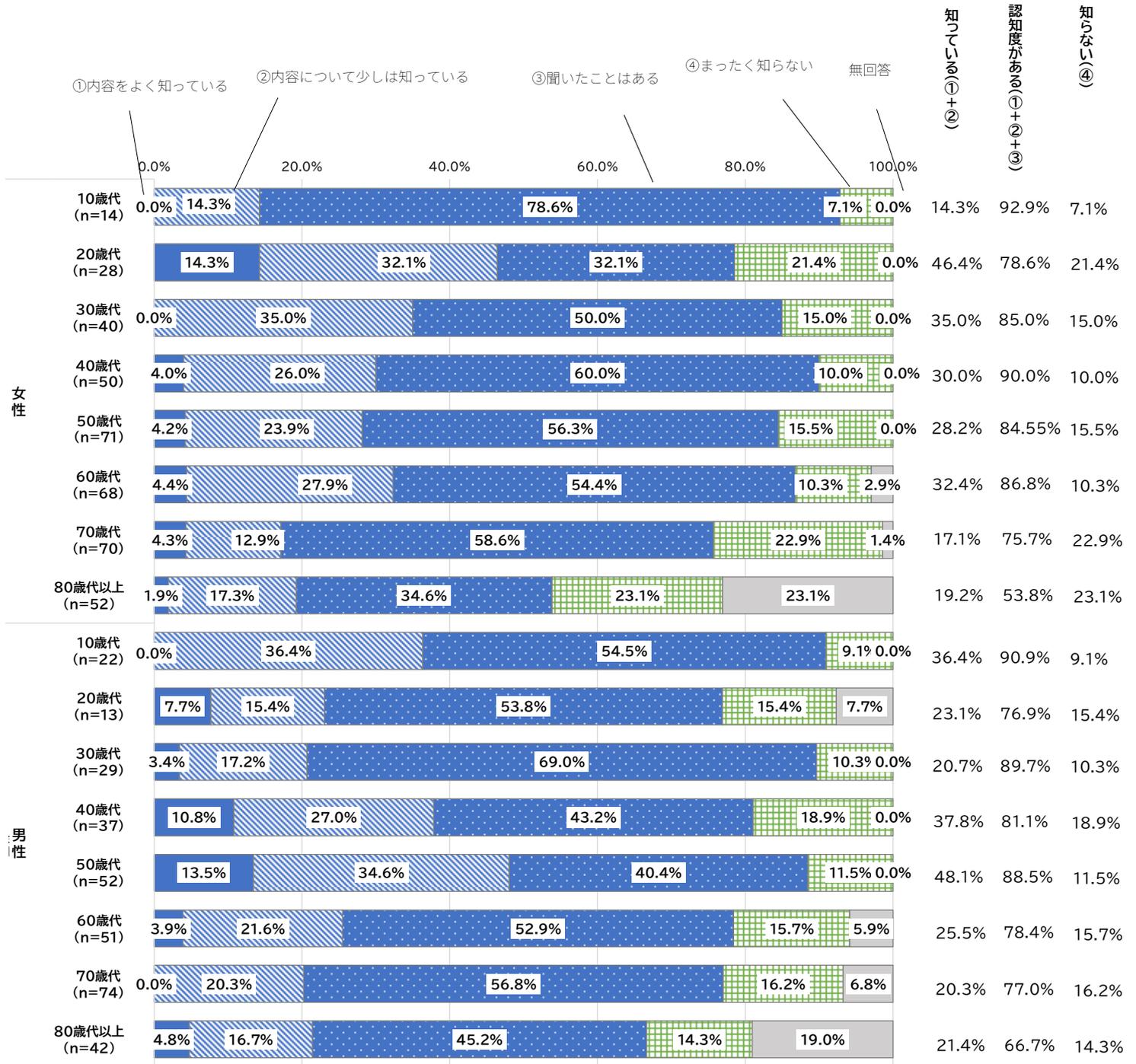
## 【性別・項目別】



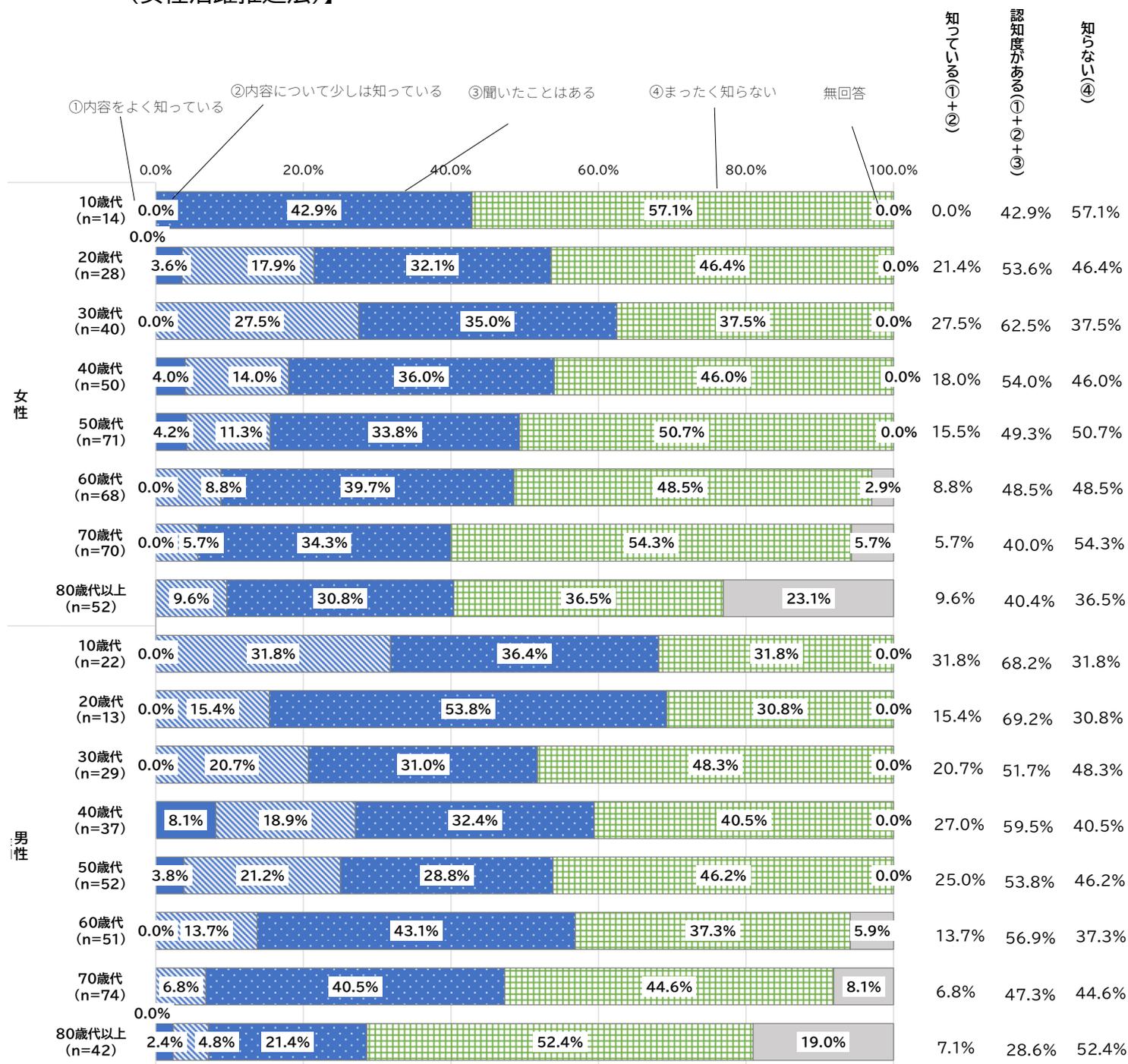
## 【性別・年代別／選択肢(3)ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)】



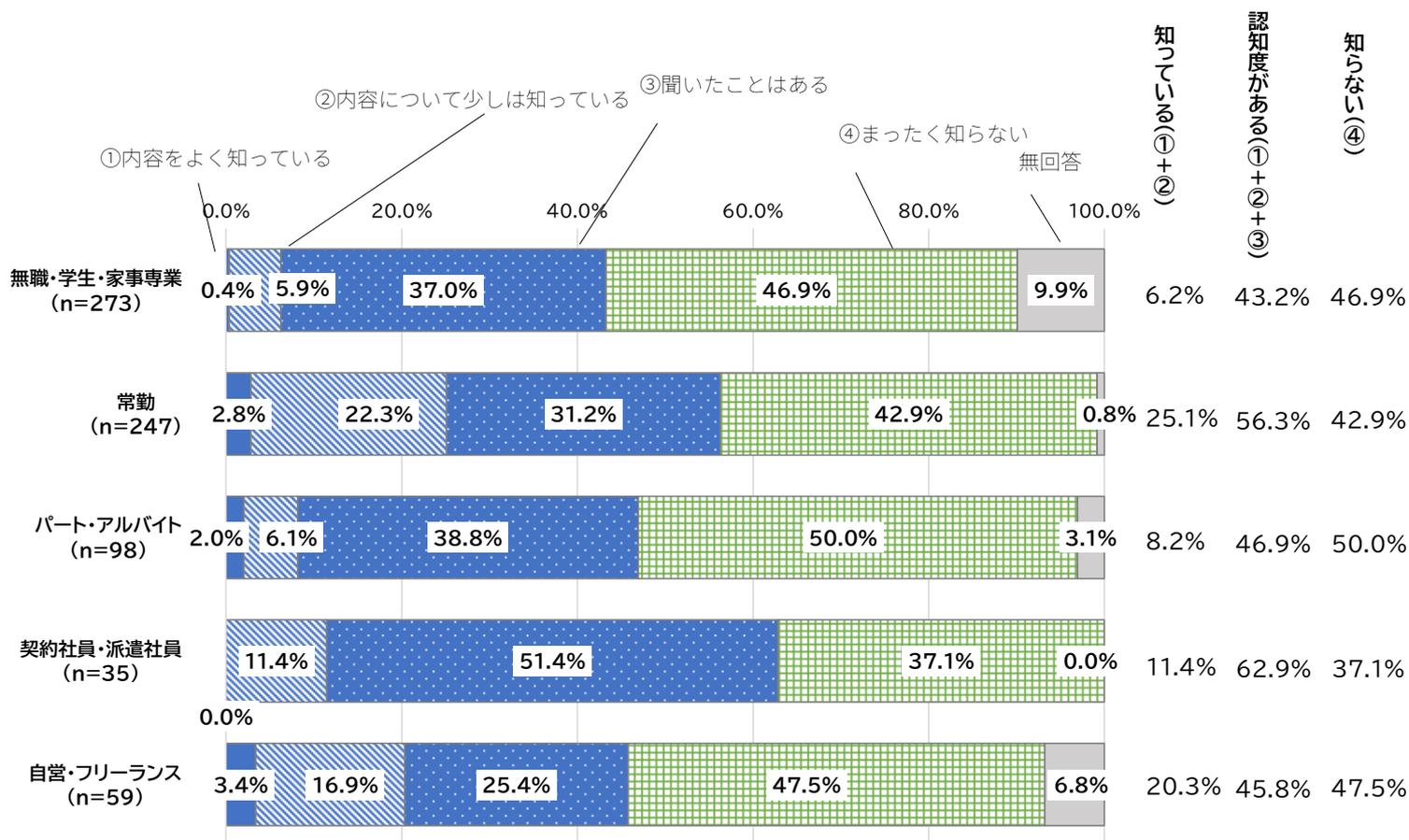
【性別・年代別／選択肢(4)配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(ドメスティック・バイオレンス(DV)防止法)】



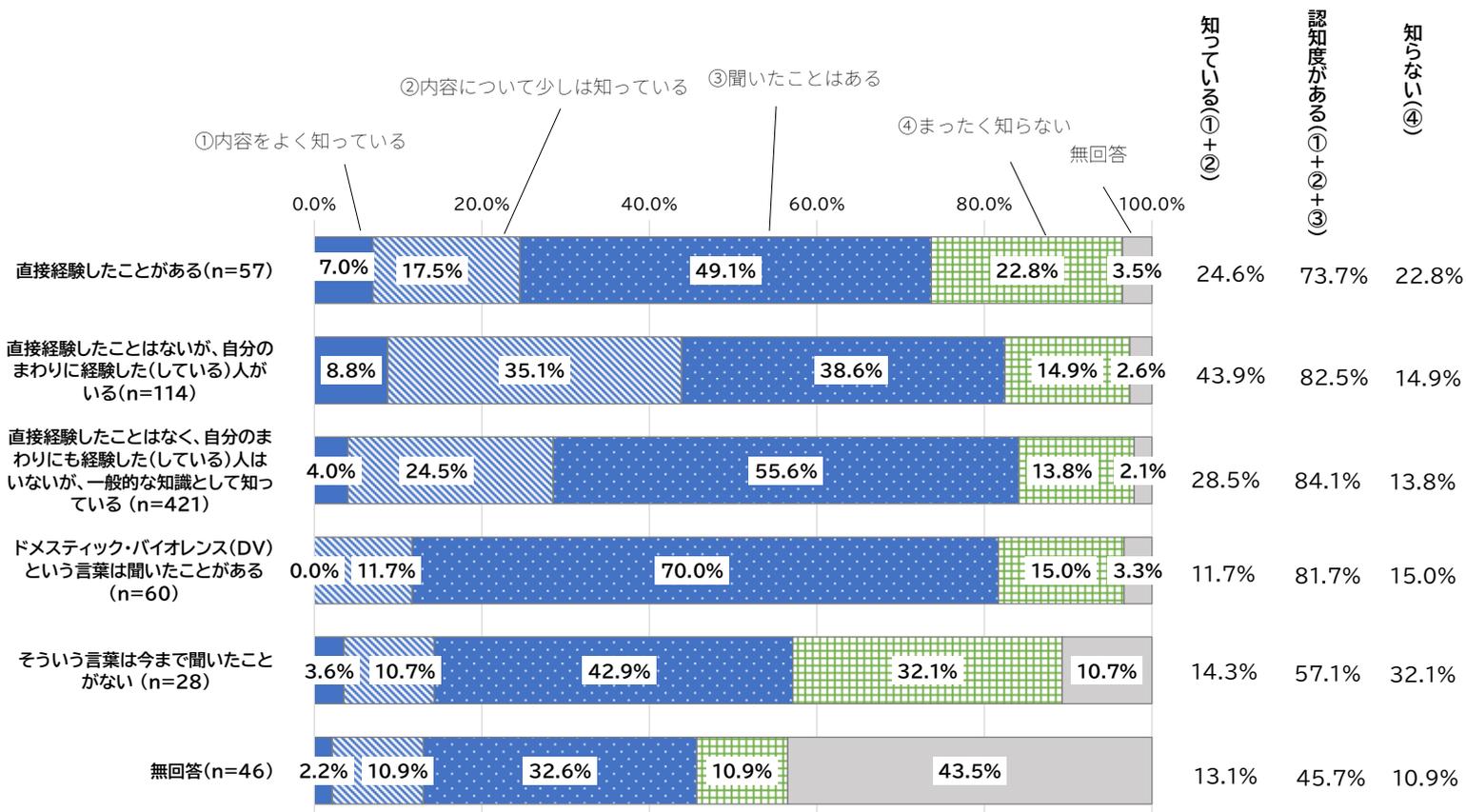
【性別・年代別／選択肢(5)女性の職業生活における活躍の推進に関する法律  
(女性活躍推進法)】



【就労形態別／選択肢(5)女性の職業生活における活躍の推進に関する法律  
(女性活躍推進法)】



【DVによる被害経験(問10)との比較/選択肢(4)配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(ドメスティック・バイオレンス(DV)防止法)】



## ■男女共同参画に関する行政への要望について

問15 「男女共同参画社会」を実現するために、松江市は、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。〈複数回答〉

- ・「高齢や病人の施設や介護サービスの充実」(58.0%)が最も高くなっている。「育児休業制度の充実や労働環境の整備」(54.7%)、「子育てに関する施設やサービスの充実」(53.5%)、「子育てで仕事を退職した人の再就職支援」(50.8%)についてもそれぞれ半数以上が力をいれていくべきと回答している。
- ・介護と子育てに関する項目への回答が多く、回答割合が高かった上位6項目は介護と子育てに関する項目であった。

### ●「介護サービスの充実」と回答した方(58.0%)について

- ・性別で比較すると、女性(61.1%)に対し、男性(54.7%)と女性が6.4ポイント高い。
- ・R2松江市調査から引き続き回答率が最も高い項目(R2年度59.4%)となった。
- ・女性では50歳代以上(50歳代71.8%)、60歳代(66.2%)、70歳代(72.9%)、80歳以上(69.2%)の回答率が6割以上となっているのに対して、男性は10歳代(68.2%)、70歳代(66.2%)の回答率が6割以上となっている。

### ●「育児休業制度の充実や労働環境の整備」と回答した方(54.7%)について

- ・性別で比較すると、女性(55.5%)に対し、男性(54.7%)と女性が0.8ポイント高い。
- ・女性、男性ともに20歳代(女性92.9%、男性61.5%)、30歳代(女性80.0%、男性65.5%)の回答率が高くなった。
- ・同年代で男女の回答を比較すると、20歳代が最も男女差(31.4ポイント)が顕著な年代であった。

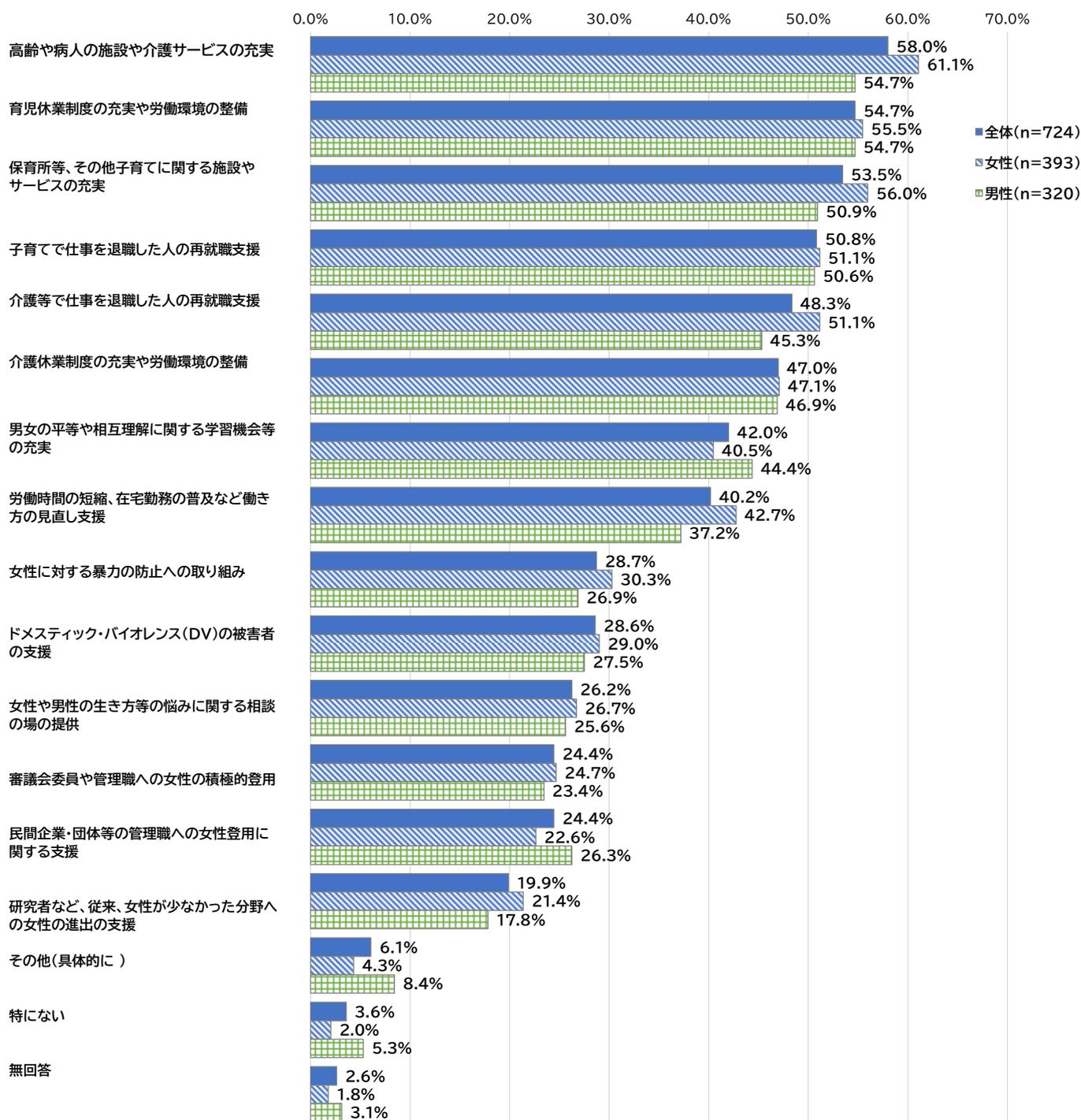
### ●「子育てに関する施設やサービスの充実」と回答した方(53.5%)について

- ・性別で比較すると、女性(56.0%)に対し、男性(50.9%)と女性が5.1ポイント高い。
- ・女性は20歳代(75.0%)、30歳代(70.0%)の回答率が高く、男性は10歳代(72.7%)、40歳代(59.5%)からの回答率が高かった。
- ・同年代で男女の回答を比較すると、20歳代が最も男女差(女性75.0%、男性30.8%、差44.2ポイント)が顕著な年代であった。

### ●「子育てで仕事を退職した人の再就職支援」と回答した方(50.8%)について

- ・性別で比較すると、女性(51.1%)に対し、男性(50.6%)と女性が0.5ポイント高い。
- ・女性は20歳代から80歳以上までの全ての年代で5割程度の回答率となっているのに対して、10歳代では28.6%と3割未満となっている。
- ・男性は10歳代~から60歳代までの全ての年代で5割を超える回答率となっているのに対して、70歳代(41.9%)、80歳以上(45.2%)の回答率が低くなっている。

【全体・性別／回答別】（回答割合が高い順）



### 【経年比較】

	男女の平等や相互理解に関する学習機会等の充実	保育所等、その他子育てに関する施設やサービスの充実	育児休業制度の充実や労働環境の整備	高齢者や病人の施設や介護サービスの充実	介護休業制度の充実や労働環境の整備	労働時間の短縮、在宅勤務の普及など働き方の見直し支援	子育てで仕事を退職した人の再就職支援	介護等で仕事を退職した人の再就職支援	審議会委員や管理職への女性の積極的登用	民間企業・団体等の管理職への女性登用に関する支援	研究者など、従来、女性が少なかった分野への女性の進出の支援	女性や男性の生き方等の悩みに関する相談の場の提供	ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害者の支援	女性に対する暴力の防止への取り組み	その他（具体的に）	特になし	無回答
H27(n=926)	58.5%	92.4%	-	-	-	-	-	68.3%	-	-	-	-	87.6%	88.5%	-	-	-
R2(n=907)	32.4%	55.8%	58.8%	59.4%	47.4%	41.0%	57.3%	50.4%	25.5%	25.6%	23.3%	-	29.4%	29.0%	-	3.6%	3.6%
R7(n=724)	42.0%	53.5%	54.7%	58.0%	47.0%	40.2%	50.8%	48.3%	24.4%	24.4%	19.9%	26.2%	28.6%	28.7%	6.1%	3.6%	2.6%

-は該当なしの項目

### 【性別・年代別】

	男女の平等や相互理解に関する学習機会等の充実	保育所等、その他子育てに関する施設やサービスの充実	育児休業制度の充実や労働環境の整備	高齢者や病人の施設や介護サービスの充実	介護休業制度の充実や労働環境の整備	労働時間の短縮、在宅勤務の普及など働き方の見直し支援	子育てで仕事を退職した人の再就職支援	介護等で仕事を退職した人の再就職支援	審議会委員や管理職への女性の積極的登用	民間企業・団体等の管理職への女性登用に関する支援	研究者など、従来、女性が少なかった分野への女性の進出の支援	女性や男性の生き方等の悩みに関する相談の場の提供	ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害者の支援	女性に対する暴力の防止への取り組み	その他（具体的に）	特になし	無回答
全体(n=724)	42.0%	53.5%	54.7%	58.0%	47.0%	40.2%	50.8%	48.3%	24.4%	24.4%	19.9%	26.2%	28.6%	28.7%	6.1%	3.6%	2.6%
女性																	
10歳代(n=14)	28.6%	64.3%	42.9%	42.9%	35.7%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	7.1%	21.4%	21.4%	14.3%	7.1%	14.3%	0.0%
20歳代(n=28)	46.4%	75.0%	92.9%	39.3%	32.1%	75.0%	53.6%	39.3%	17.9%	21.4%	25.0%	32.1%	32.1%	32.1%	10.7%	0.0%	0.0%
30歳代(n=40)	20.0%	70.0%	80.0%	30.0%	35.0%	70.0%	52.5%	30.0%	12.5%	17.5%	20.0%	27.5%	25.0%	17.5%	2.5%	0.0%	0.0%
40歳代(n=50)	48.0%	64.0%	58.0%	56.0%	54.0%	46.0%	52.0%	50.0%	34.0%	30.0%	28.0%	30.0%	26.0%	28.0%	8.0%	0.0%	0.0%
50歳代(n=71)	42.3%	50.7%	57.7%	71.8%	62.0%	46.5%	56.3%	54.9%	28.2%	22.5%	18.3%	23.9%	26.8%	33.8%	5.6%	0.0%	1.4%
60歳代(n=68)	51.5%	55.9%	51.5%	66.2%	54.4%	47.1%	48.5%	52.9%	29.4%	20.6%	22.1%	25.0%	36.8%	33.8%	5.9%	2.9%	1.5%
70歳代(n=70)	37.1%	45.7%	38.6%	72.9%	38.6%	14.3%	51.4%	61.4%	20.0%	17.1%	18.6%	22.9%	27.1%	27.1%	0.0%	2.9%	1.4%
80歳代以上(n=52)	36.5%	46.2%	42.3%	69.2%	42.3%	32.7%	50.0%	59.6%	26.9%	32.7%	25.0%	32.7%	30.8%	40.4%	0.0%	3.8%	7.7%
男性																	
10歳代(n=22)	27.3%	72.7%	50.0%	68.2%	54.5%	36.4%	54.5%	40.9%	22.7%	27.3%	13.6%	22.7%	22.7%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
20歳代(n=13)	46.2%	30.8%	61.5%	46.2%	38.5%	38.5%	61.5%	38.5%	23.1%	30.8%	15.4%	30.8%	23.1%	23.1%	15.4%	7.7%	0.0%
30歳代(n=29)	20.7%	58.6%	65.5%	51.7%	48.3%	48.3%	55.2%	44.8%	13.8%	13.8%	10.3%	6.9%	27.6%	24.1%	10.3%	13.8%	0.0%
40歳代(n=37)	37.8%	59.5%	48.6%	40.5%	35.1%	24.3%	56.8%	43.2%	5.4%	8.1%	10.8%	18.9%	21.6%	21.6%	16.2%	5.4%	0.0%
50歳代(n=52)	44.2%	57.7%	57.7%	48.1%	51.9%	51.9%	50.0%	50.0%	17.3%	15.4%	9.6%	30.8%	30.8%	28.8%	13.5%	3.8%	0.0%
60歳代(n=51)	51.0%	51.0%	54.9%	58.8%	51.0%	35.3%	56.9%	49.0%	27.5%	31.4%	19.6%	41.2%	25.5%	29.4%	11.8%	2.0%	3.9%
70歳代(n=74)	47.3%	39.2%	56.8%	66.2%	50.0%	33.8%	41.9%	44.6%	31.1%	36.5%	24.3%	24.3%	29.7%	31.1%	4.1%	5.4%	5.4%
80歳代以上(n=42)	61.9%	45.2%	45.2%	47.6%	38.1%	31.0%	45.2%	42.9%	35.7%	38.1%	28.6%	21.4%	31.0%	26.2%	0.0%	7.1%	9.5%